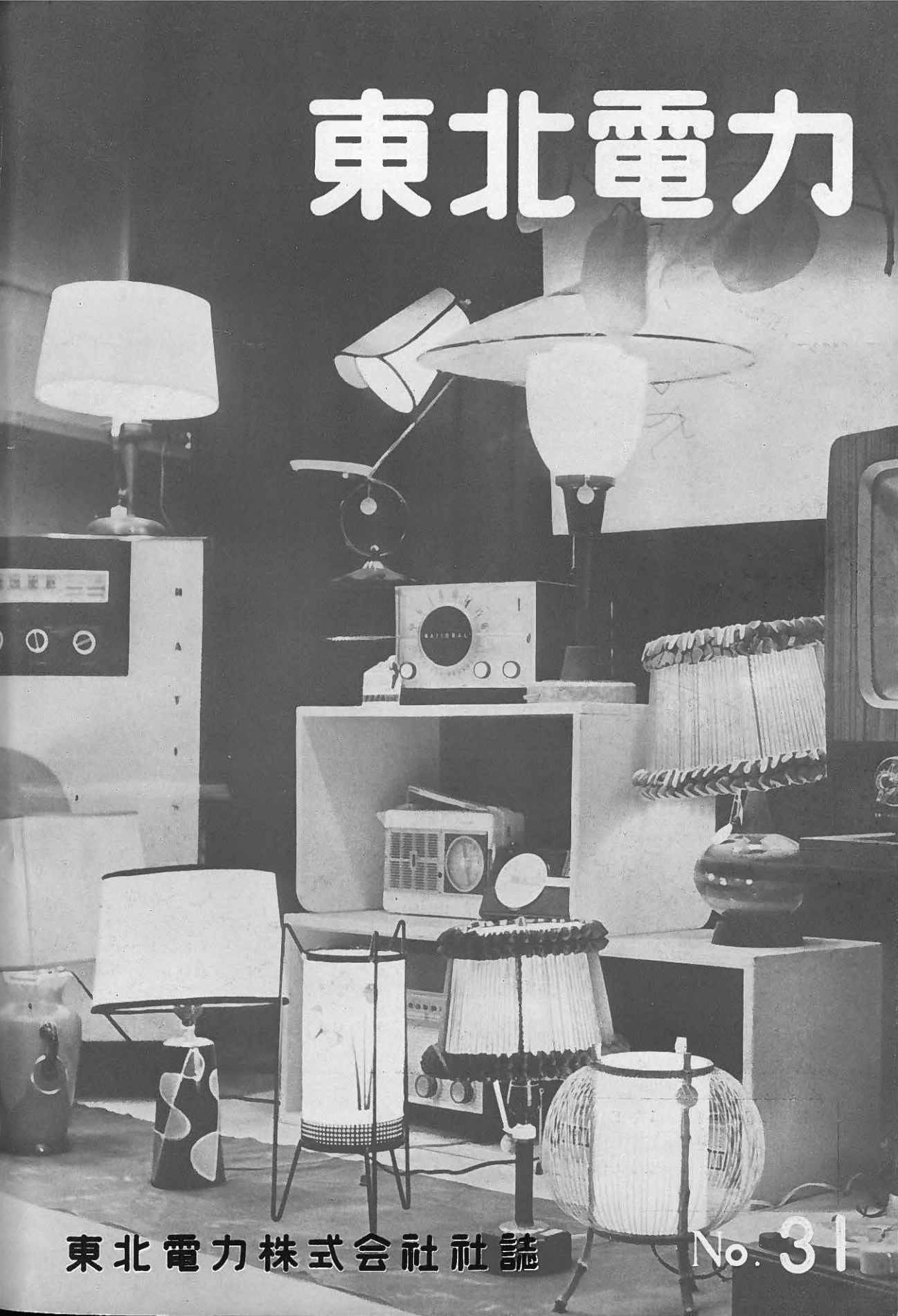
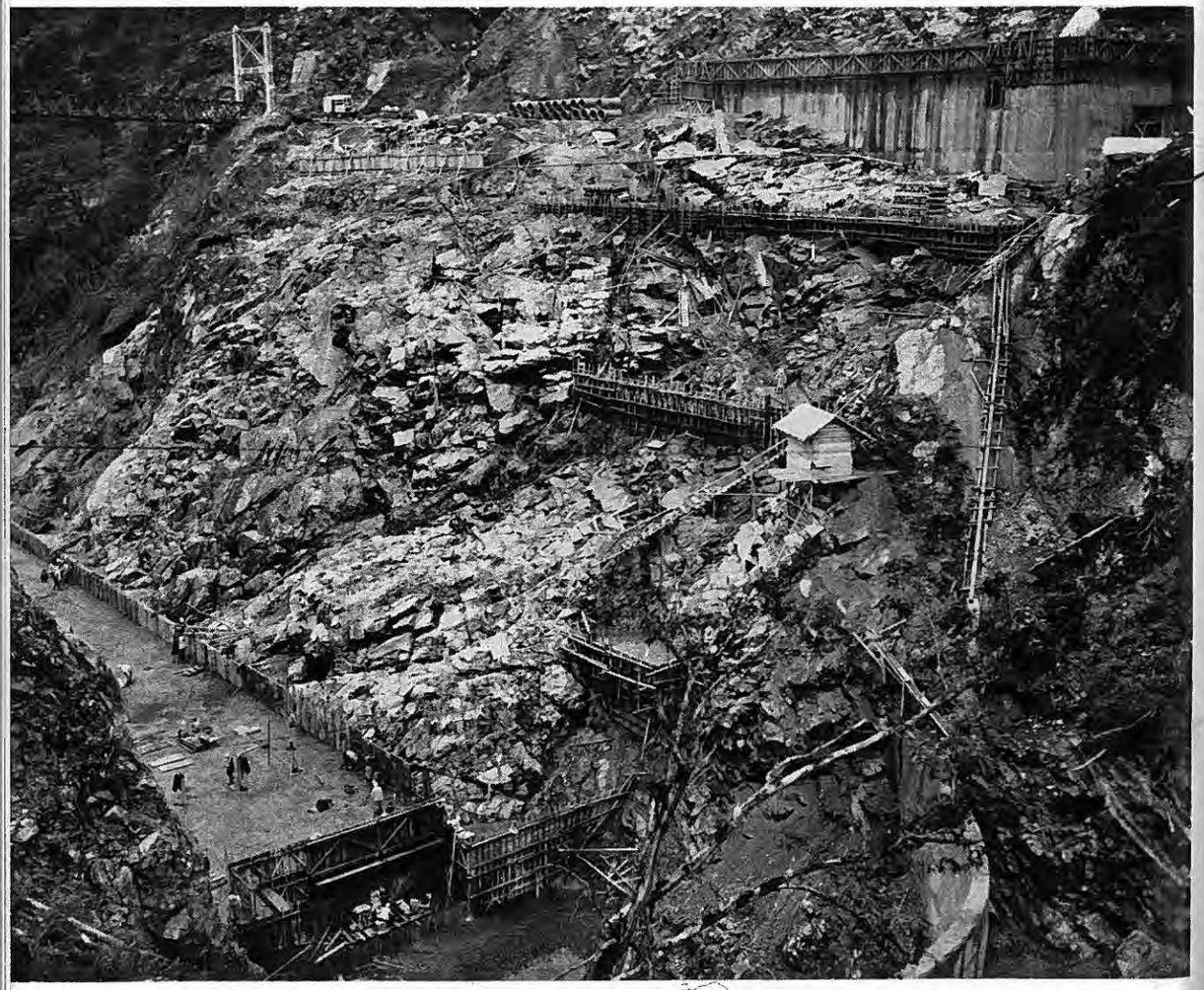
東北電力



東北電力株式会社社誌　No. 31

建設

当社は創立以来，只見系開発第1期計画，青森県西ほか北部地帯各発電所の建設等を完成し，供給力増強に偉大な成果を発揮したが，激増する需用に対応して引続き各地点の建設に着手，晝夜兼行計画達成に努力中である。



八久和発電所（第2期工事）堰堤打設

八久和発電所はその第1期工事を完成し，本年1月9日通水を開始したが，引続き第2期工事に全力を傾注している。



新鳴子発電所の建設は，来春通水の予定で目下着々工事進捗中である。

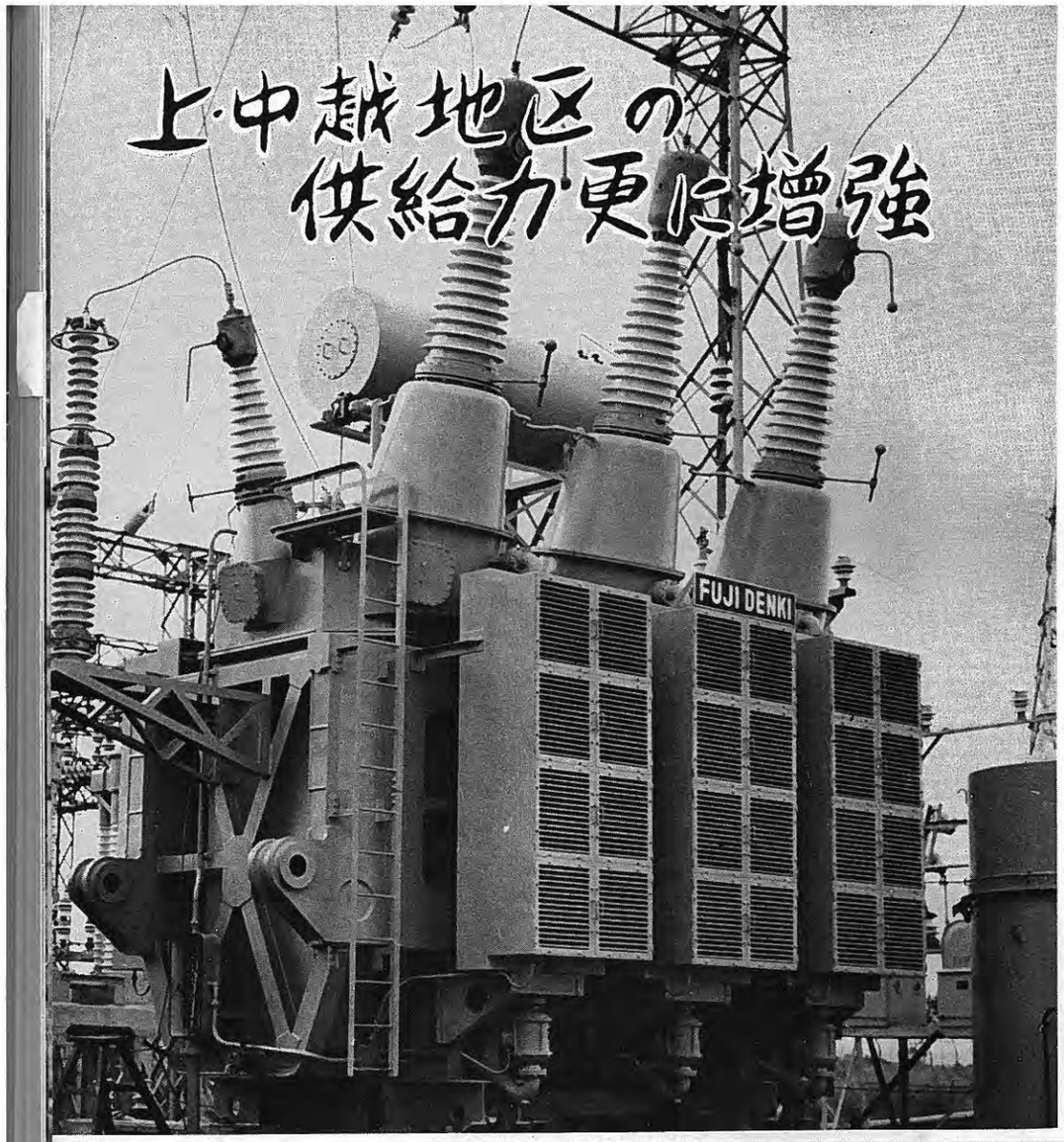
←
取水口附近より鳴子ダム（建設省）を望む。

同じく対岸より取水口工事現場を望む。
↓

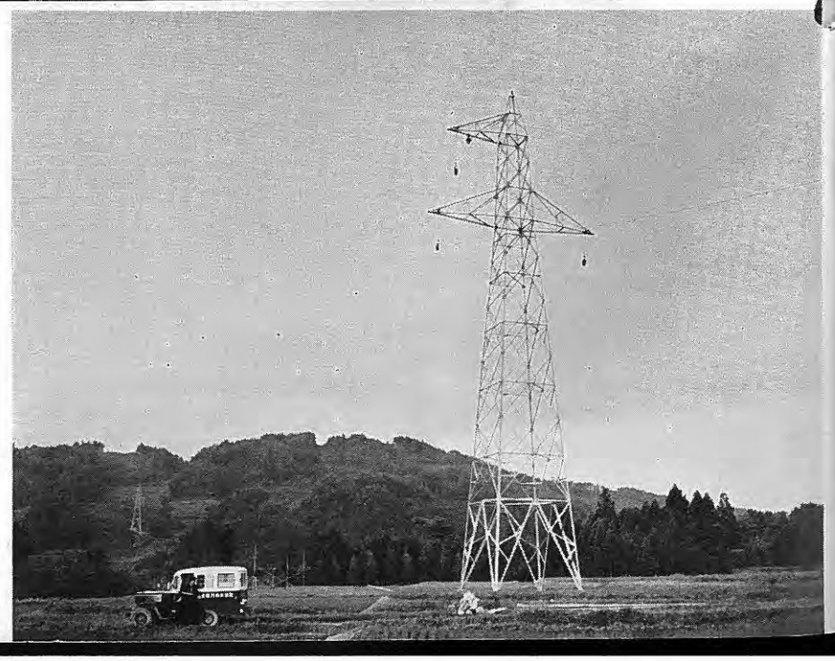


当社ヘリコプターより撮影の
建設地点

当社火力発電所建設のトツプ，八戸火力発電所は早くも準備工事に着手，その建設の槌音は八戸の空にこだましている。



↑ 長岡変電所増設変圧器



→ 電化工業線

東北電力



目　次　第 31

比島訪問から帰つて……

座談会・営業所の実状をきく……

散宿所の皆さんへ……

工業家と技術家のための経済学(II)
……東北大学

河川湖沼用測量艇について……

原子力への案内(I)……

こんな会議を……

法律のしおり・自動車の関係法令……

青森りんご……

増資宣伝用ポスター懸賞募集

入選者きまる

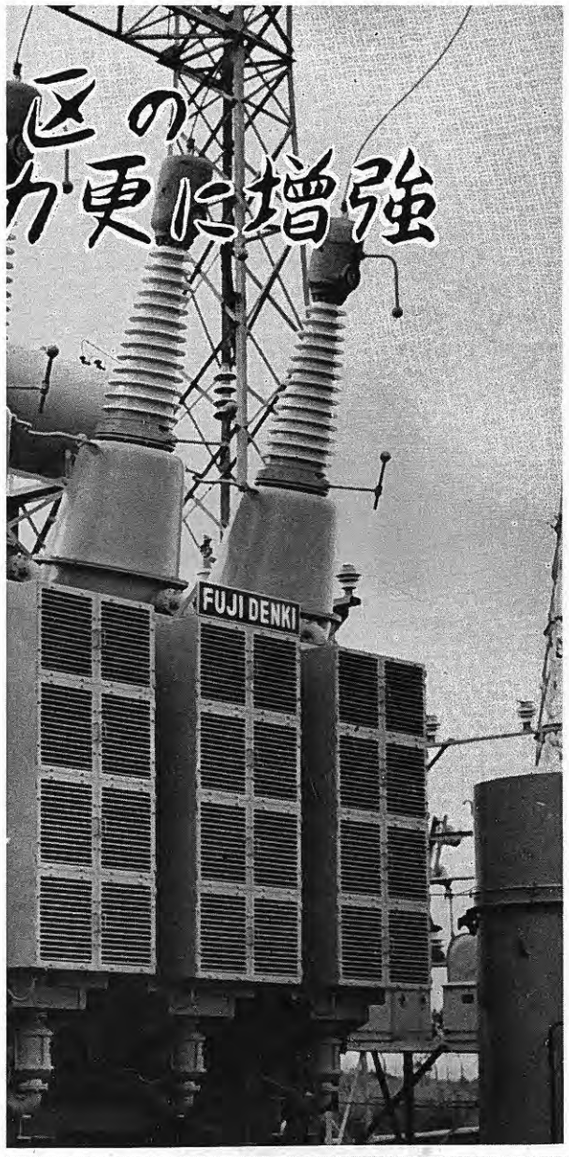
当社は新株400万株発行，資本金を現在の80億より100億に増資することとなり，来る11月8日より12月1日までの間において申込みを受付けることになつたが，これに先だち20億増資完遂のため宣伝用ポスターを製作することとなり，これが図案につき一般従業員より懸賞募集中のところ，締切期限11月15日を以て応募点数100点の多数に達したので，去る11月18日本店において本店増資対策委員会総括班長堀副社長を初め，各推進班長等を審査委員として厳選の結果，下記の諸君が入選と決定，本店営繕課江刺敏雄君応募図案を採用することになつた。

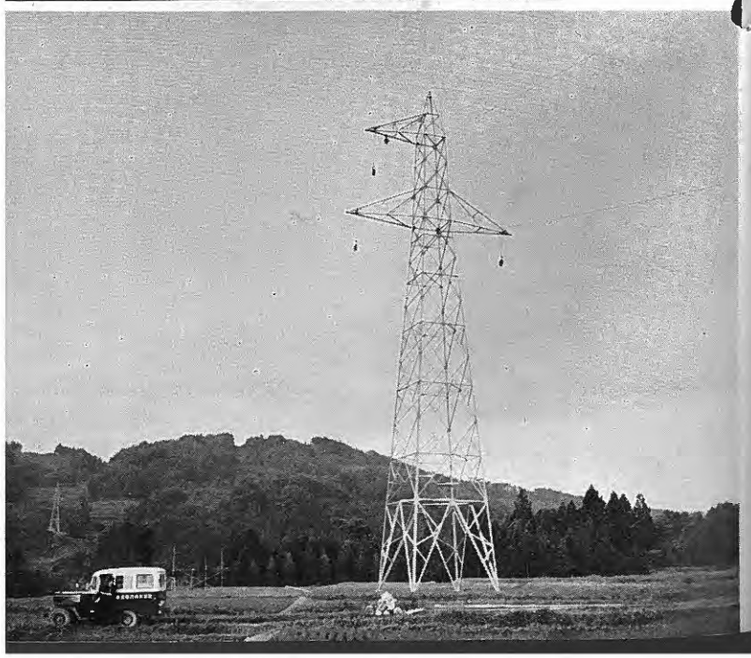
記

1等	なし	
2等	本店営繕課	江刺　敏雄
3等	本店土木建設課	木原　正男
	岩手支店営業課	松井　誠一

選外佳作

山形支店米沢営業所	加藤　武雄
山形支店労務課	熊谷新太郎
新潟支店新潟営業所	佐野　孝止
会津電力事務所鹿瀬発電所	松野　幸三
青森支店弘前営業所	相馬　定雄





東北電力



目　　次　第 31 号

比島訪問から帰つて……内ケ崎社長…(2)

座談会・営業所の実状をきく……(12)

散宿所の皆さんへ……(37)

工業家と技術家のための経済学(II)
……東北大学教授　抜山平一…(38)

河川湖沼用測量艇について……苫米地　勲…(42)

原子力への案内(I)……八島　俊章…(47)

こんな会議を……大河内五郎…(53)

法律のしおり・自動車の関係法令……川又　一雄…(55)

青森りんご……神山太三郎…(61)

営業所だより(青森・大曲・村上)……(64)

支店だより……(75)

東京通信・来るべき国会を想う……(81)

本店ニュース……(84)

【随　筆】

7千メガの旅……堀川　治平…(91)

ありのはなし……連山仁一郎…(96)

秋夜文学談……菅　雄吉…(98)

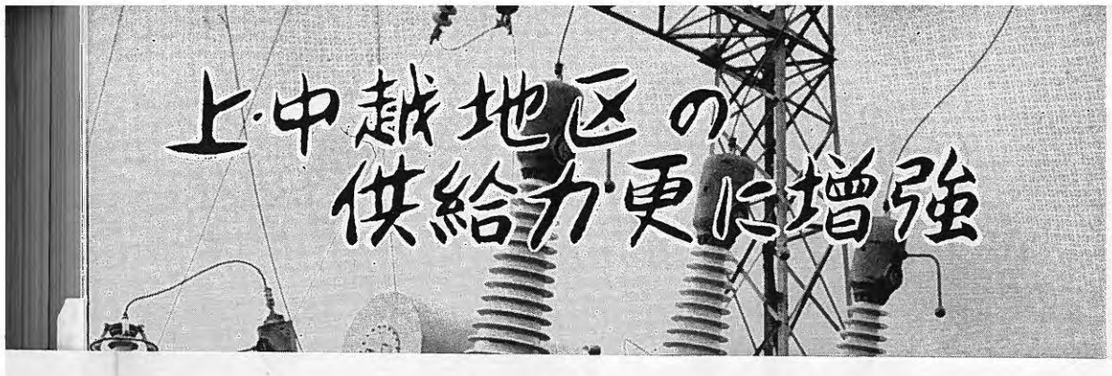
映画「カラコルム」雑感……平　毅…(101)

短歌(扇畑忠雄選)……(106)

俳句(遠藤梧逸選)……(112)

写真(阿部秀陽選)

カット……金沢光策・千葉正



増資について

当社は昭和26年5月発足当時，その発電設備能力は 816,768KW であつたが，その後鋭意電源の開発と供給力の増強に不断の努力をなした結果，現在（昭和31年7月末現在）に於ては 1,230,473KW と大巾の設備の増強拡充を示し，発足以来僅々5ケ年間にその発電能力は 413,705KW の増加を来したのである。

然しながら，最近の経済事情の好転により東北地方に於ける電力の需用増加は著しいものがあり，特に産業用需用は全国一の激増振りを示す状態にあるので，これに対処するため，新たに新鳴子，上野尻，八久和第二期の各水力発電工事並びに北部地域の需用の伸びに対処するための八戸火力発電工事に着工したのであるが，その他送，変，配電等の供給設備の増強も併せてこれを図る必要があり，これが工事所要資金は 152 億円の多額に達するものである。

然して，この資金調達については，勿論各金融機関の協力を得ているが，之に充当すべき資金は長期資金を必要とするものであり，また健全なる事業経営のためにも，一部自己資本充実の必要性が考慮されるので，今回所謂有償増資の決定をみたのである。

即ち，去る9月11日開催の取締役会において，次の内容を以て新株発行の決議が行われたものである。

1. 発行新株数　記名式額面普通株 400万株（20億円）
2. 割当方法　昭和31年9月30日現在の株主に対し，その所有株式4株につき1株の割合をもつて割当てる。割当の結果生じた1株未満の端数は切捨てる。
3. 発行価額　1株につき金 500円
4. 申込証拠金　1株につき金 500 円とし，申込と同時に徴収し，払込期日に新株払込金に振替充当する。申込証拠金には利息をつけない。
5. 申込期間　昭和31年11月8日（木曜日）から
   昭和31年12月1日（土曜日）まで
6. 払込期日　昭和31年12月15日（土曜日）
7. 申込期日までに引受のない株式及び切捨てた端数株式の処理その他この新株発行に必要な事項は，取締役会において決定する。
8. この決議は，証券取引法による届出の効力発生を条件とする。

以上のように，今回の増資は有償一本であるが，配当を前期同様1割2分とすれば，利廻りは年1割5分である。

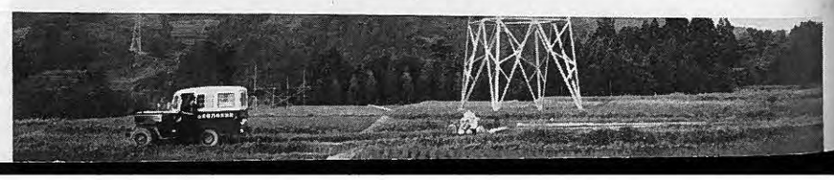
なお今回の増資を行えば，昭和32年3月末予想の当社の資本構成は

資本金（除再評価積立金）		100億円（今回増資20億円）	14%
負債額	社債	110億円	
	長期借入金	521億円	
	短期借入金	0億円	
	計	631億円	86%

であるが，若しこれを行わなければ次の資本構成となる。

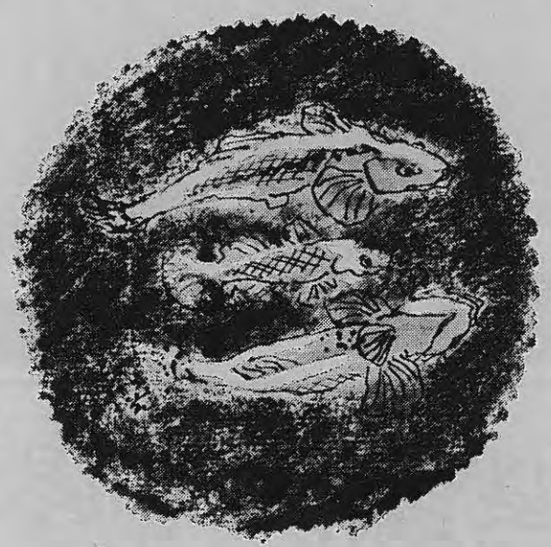
資本金（除再評価積立金）		80億円	11%
負債額	社債	110億円	
	長期借入金	541億円	
	短期借入金	0億円	
	計	651億円	89%

これによつても明らかであるように，今回の有償増資は再評価積立金と相俟つて社債発行の余力が増大し，対外的に信用度を増し今後の資金獲得に利するところが多い。



→ 電化工業線

東北電力



No. 31



増資宣伝用ポスター懸賞募集

入選者きまる

当社は新株400万株発行，資本金を現在の80億より100億に増資することとなり，来る11月8日より12月1日までの間において申込みを受付けることになつたが，これに先だち20億増資完遂のため宣伝用ポスターを製作することとなり，これが図案につき一般従業員より懸賞募集中のところ，締切期限11月15日を以て応募点数100点の多数に達したので，去る11月18日本店において本店増資対策委員会総括班長堀副社長を初め，各推進班長等を審査委員として厳選の結果，下記の諸君が入選と決定，本店営繕課江刺敏雄君応募図案を採用することになつた。

記

1等	なし	
2等	本店営繕課	江刺　敏雄
3等	本店土木建設課	木原　正男
	岩手支店営業課	松井　誠一
選外佳作		
	山形支店米沢営業所	加藤　武雄
	山形支店労務課	熊谷新太郎
	新潟支店新潟営業所	佐野　孝止
	会津電力事務所鹿瀬発電所	松野　幸三
	青森支店弘前営業所	相馬　定雄

増資について

当社は昭和26年5月発足当時，その発電設備能力は816,768KWであつたが，その後鋭意電源の開発と供給力の増強に不断の努力をなした結果，現在（昭和31年7月末現在）に於ては1,230,473KWと大巾の設備の増強拡充を示し，発足以来僅々5ケ年間にその発電能力は413,705KWの増加を来したのである。

然しながら，最近の経済事情の好転により東北地方に於ける電力の需用増加は著しいものがあり，特に産業用需用は全国一の激増振りを示す状態にあるので，これに対処するため，新たに新鳴子，上野尻，八久和第二期の各水力発電工事並びに北部地域の需用の伸びに対処するための八戸火力発電工事に着工したのであるが，その他送，変，配電等の供給設備の増強も併せてこれを図る必要があり，これが工事所要資金は152億円の多額に達するものである。

然して，この資金調達については，勿論各金融機関の協力を得ているが，之に充当すべき資金は長期資金を必要とするものであり，また健全なる事業経営のためにも，一部自己資本充実の必要性が考慮されるので，今回所謂有償増資の決定をみたのである。

即ち，去る9月11日開催の取締役会において，次の内容を以て新株発行の決議が行われたものである。

1. 発行新株数　記名式額面普通株 400万株（20億円）
2. 割当方法　昭和31年9月30日現在の株主に対し，その所有株式4株につき1株の割合をもつて割当てる。割当の結果生じた1株未満の端数は切捨てる。
3. 発行価額　1株につき金 500円
4. 申込証拠金　1株につき金500円とし，申込と同時に徴収し，払込期日に新株払込金に振替充当する。申込証拠金には利息をつけない。
5. 申込期間　昭和31年11月8日（木曜日）から
   昭和31年12月1日（土曜日）まで
6. 払込期日　昭和31年12月15日（土曜日）
7. 申込期日までに引受のない株式及び切捨てた端数株式の処理その他この新株発行に必要な事項は，取締役会において決定する。
8. この決議は，証券取引法による届出の効力発生を条件とする。

以上のように，今回の増資は有償一本であるが，配当を前期同様1割2分とすれば，利廻りは年1割5分である。

なお今回の増資を行えば，昭和32年3月末予想の当社の資本構成は

資本金（除再評価積立金）		100億円（今回増資20億円）	14%
負債額	社債	110億円	
	長期借入金	521億円	
	短期借入金	0億円	
	計	631億円	86%

であるが，若しこれを行わなければ次の資本構成となる。

資本金（除再評価積立金）		80億円	11%
負債額	社債	110億円	
	長期借入金	541億円	
	短期借入金	0億円	
	計	651億円	89%

これによつても明らかであるように，今回の有償増資は再評価積立金と相俟つて社債発行の余力が増大し，対外的に信用度を増し今後の資金獲得に利するところが多い。



→
電化工業線

東北電力



31. 11
社説



比島訪問から帰つて

社長　内ヶ崎贇五郎

本日はこのような会をお催し下さいまして有難うございました。私がフイリツピンに参りましたのは，只今一力さん，井ゲ田さん等からもお話のありましたように，訪比友好経済視察団という名前で，マニラに行つて発表した名前はジヤパン・エコノミツク・ミツシヨンという名称ですが，28人の団員と事務局長をやりました人と，それから２～３人の日商の職員，それに日本交通公社から１人専属に世話をやく為に行つて貰つた人の合計32～３名で参つたような訳であります。

それで，向うに参りました目的でありますが，この目的は羽田を発ちました時に，藤山団

長から声明書と申しますようなものを発表しましたので，それを読みあげますと非常に明瞭でありますから，これを一寸読みあげます。

「訪比友好経済視察団，只今羽田出発に当り御あいさつ申しあげます。

私達フイリツピン訪問経済視察団の一行は，正常国交の回復，賠償協定の成立を機として，両国経済関係の緊密化に資するため，フイリツピンの実業家諸君と会合懇談を行い，相互の理解と信頼とを深める事を使命として，渡比の途につく訳であります。特に賠償問題につきましては，日本の実業界は，誠意をもつてその実施に当るべき事は勿論でありますが，受入側として，フイリツピン実業界の好意的な協力にまつところも多大であります。かように考えまする時，使命は重く達成は容易でありません。私達は御見送りを戴きました事を感謝すると共に，今後共一層の御後援を願う次第であります。」

こういう声明をした訳でありまして，今読みあげましたように，ちようど国交の回復も平和条約がサンフランシスコで調印されたのでありますが，フイリツピンだけは批准がすまなかつたんで，正常の国交が回復しなかつた。と申しますのは，賠償の問題が一向にすゝまなかつたという為に，向うでも批准がやり難かつたという事であります。幸にして賠償協定も，幾多の波瀾を経て漸くまとまつた事は御承知の通りでありますが，あれを機会に賠償協定の批准と平和条約の批准とが同時になされて，国交の正常回復がなされた，こういう事なんでありまして，それを機会に是非とも，フイリツピンと親善関係を結ぶ第一歩をひとつつくろうというのが目的でございます。たゞ未だ通商協定といつたようなものが締結されておりませんので，従つて永い事逗留する事が出来ない。

いわゆる在留邦人といつたものがないという状態で，奥さんを連れて行つておる日本人は外交官だけで，他の人はみんなチヨンガで行つておる(笑)。テンポラリービジターという旅券しか貰つていかれないので，従つて１年たゝないうちに帰らなければならない。大概の人は７～８ケ月で帰つて来る。そしてまた必要とあれば，また出直すんだ，という状態を繰返しておる，というような訳であつたのであります。

それでこれに参るには，主として商工会議所が中心になつた訳でありますが，それというのも，大体賠償協定については，藤山愛一郎氏が非常に奔走したというような事もあつたでありましよう。先方の商業会議所，先方では商工会議所と工業会議所の二つに分れておりまして，日本のような商工会議所でなく，商業会議所という事になつておりますが，そこの会頭から藤山会頭あてに，ひとつ賠償協定も出来たから，日本の関係のみなさんと我々でお話をしたいから是非とも来てほしい，といつたような招請状が来まして，それを機会と致した訳でありますから，大体商工会議所を中心に話が進んだという訳で，それで28人の団員が出来たのでありますが，これは会議所関係の人と日本の代表産業の代表者をもつて構成された訳

であります。それで商工会議所からは藤山団長，大阪の杉会頭，京都の中野会頭，横浜の半井会頭，名古屋の笹部副会頭，この方は松坂屋の副会長をやつておる人でありますが，それから私と広島の副会頭をやつておる川村さん，この人は何か機械工業をやつている人です。それに日商の岡松専務理事，この８人が商工会議所から行つた。それから貿易商社が何としても今後の大きな役割を果すのでありますから，第一物産と三菱商事，こゝは会長と副社長，それからいわゆる五綿と申しますか，東洋綿花，江商，伊藤忠，日綿実業，丸紅，それに三井と三菱の７人，それと中小企業代表という事で名古屋の鉄鋼関係をやつておる人と東京の商工会議所副会頭の大塚さん，それに味の素，花王石鹸の社長，そういつたようなところ。それから，各産業の代表としてはマイニングの方から日鉱の岡部社長，富士製鉄の永野社長，銀行の代表としては山際輸出入銀行の総裁，この方と杉道助さんとの２人が副団長，それから台湾銀行の寺尾頭取，それから大日本紡の原社長が紡績関係，電気事業関係からは私が東北ブロツクの会議所の関係と両方兼ねて行つた，というような事になつておる。それから土建の方はこの仙台ビルを作つた安藤組の安藤社長，そういつたような顔ぶれで，28名の一行がこれだけの顔を揃えて行けば向うでも大低の話は出来るだろうという事で参つた訳であります。

それで日程は13日４時半頃羽田を出まして，夜中の12時頃に着き，時差が１時間ありますので時計を11時に直す，そしてその晩はマニラホテルに泊つた訳でありますが，明くる14日には公式訪問，儀礼的な訪問をやつた。それで向うで最初に会つたのは，副大統領兼外務大臣をやつております大野ガルシヤ協定で有名なガルシヤに会いまして，その会つた時の写真がありますから御覧願いますが，藤山会頭は皆さんお判りだが，その隣りの机の真中の所に立つているのがガルシヤ，それからラヌーサという企画審議会の丁度日本の企画審議庁といつたような所でありますが，そこで総ての計画を立案してやつていく，そこのラヌーサという長官，それから農林大臣，商工大臣，そういつたような連中に30分か１時間位づつ会つて話をしそれから15～６の２日間に亘つて会議をやつた。その会議はゼネラルミーテングとグループミーテングに分けてやりました。それでゼネラルミーテングでは言いたい事をしやべる訳ですが，日本側からも６人の代表が出て，日本の各々の状況を説明した。それからフイリツピン側からも６人出て話をした。このミーテングについて私等行く前に注意されたのでありますが，フイリツピン人というのは非常におしやべりが上手だ，しやべらしておいたら何時間でもたてつゞけにしやべるから，こつちも成可く多くおしやべりするようにしろ，英語でなくとも通訳がおるんで日本語でやつても一向かまわんからという事でありましたが，然しゼネラルミーテングは，自分達のおしやべりしたい事だけをしやべるのでありますから関係はなかつたのでありますが，グループミーテングになりましてからは，お互いに討論をやる訳でありますから，いろいろな話が出た訳でありますが，例えば製鉄関係の鉄鉱石の輸入は，現在，話を聞いてみますと，大企業の方から主として品物を買つているらしい。富士製鉄にしても日本鋼管或いは八幡にしましても，大口の企業者から買つている。これは当然なんでありましよう

が，それに対して，商業会議所のメンバーというのは，殆んど，どつちかと申しますと，中小企業者の団体であります。大企業は入つておらん，それですから会議には大企業の方は出て来ない。いわゆる財閥と称せられる方はそういうものには参加せずに，自分等が直接やるという建前でやつておりますので，こういうのには出て来ないし，それから商業会議所の招待のような所にも余り顔を出さんで，その代り直接自分らでもつて我々を宴会に招待するというような事をやつておる。そういう事で商業会議所のメンバーには大口は入つておりませんで，殆んどが中小企業なもんですから，そういう方から一体製鋼原料等も大口の企業からだけ買わんで，我々の側からも買つて貰えないかというような話をやつておりました。それに対して永野社長は，富士製鉄ばかりでなく，八幡でも何でも日本の製鉄業者から私等全権を一任されて来てお話する訳なんだけれども，品物が良くて値段が安くて，間違いなしに品物が約束通り入るという事であれば，何も大企業からのみ買う必要はないので，皆さんの方からも幾らでも買いたいのだが，然し現状はなかなかそうぢやないでしようという。それに対して向うの中小企業者はそういう事を言われると，そりやその通りだけれども，我々の方もこれから大いにやろうと思うから，一体どれだけの口料があつたら事業は成立つか教えてくれ，というような細い話も大分やつておりました。それでも結局小鉱山という事になると，その鉱山まで日本が買いに行けば良いんですが，それを汽車に積んで埠頭へ持つて来て，埠頭設備をかけた施設，金をかけた施設でもつて船に積むんですから，船まで持つて来て貰わなければ買わないから，それだけの施設をするというと小企業ぢやなかなかいかん，結局は大企業が施設したものを借りて，運搬も埠頭設備も借用に及んでやるんだというのが実情でありますので，結局は大企業と適当にあんた方が相談したら良いぢやないですか，といつたような事で話は切れたようでありましたが，我々も大いに埠頭設備なんかも自分でも金をかけようと思うから，何とかして欲しいというような話をいろいろやつておつたようであります。



羽　田　出　発

それからマグサイサイ大統領，彼には確か16日でしたかに会つております。その時の写真がこれですが，マグサイサイは若い男で44～５才位と思いますが，立つておる白い服を着た大きな男です。この部屋の後の方にマグサイサイ夫人の大きい額を掲げており，この肖

像がなかなかの別嬪で，マグサイサイが出て来るまでその部屋で待つておつた訳でありますが，顔をみておるとなかなか悪い気持のせん程の奇麗な女でした。（笑） 人柄も非常に良いとかいうので，フイリツピン人は男でも女でもおしやべりで出しやばりやですが，彼女は極めて淑かで出しやばらない，それに奇麗だという事で評判が良いそうでありますが，然も彼女はマグサイサイが偉くなつてから貰つた嫁さんでなくして，糟糠の妻なそうで，マグサイサイは戦争中ゲリラ隊の隊長をやつておつた男で，その前は旋盤工をやつておつた。丁度西尾末広君のような経歴だと思つて聞いたんですが，この妻君は旋盤工時代の妻君なそうですので，益々そういう点は光つておるようであります。それに会いまして，それから20日の日にバギオから帰つて来た時に，上院議長，下院議長に会つて，大体その間に財閥の連中やなんかの招待を受けるといつたような事で，政財界の主なる者には殆んと会つて話をして来たのであります。

それでこの会議の模様は只今申しあげたような状況でありますが，グループミーテングで問題になつたのは，製鉄の原料の問題，それから他のマイニング関係，ニツケル鋼或いはいろいろな地下資源の関係，それからランバー(材木)，砂糖，コプラ，そういつたようなものが主なる話題にのぼつたようであります。それで私も電気事業の話もしたのでありますが，何分そういう人達の集りで，電気事業の首脳者が出て来た訳でもないというので，私は日本の大体の電気事業の話をして，それから東北の事情等も一寸話したんですが，たゞ聞きつ放しで反響も何にもないという事だつたんでありますが，まあ，電気事業の代表という肩書を持つて行つたんだから少しは向うの実情も聞いて来ましたが，これは後から申しあげる事にし会議の席上では主としてそういつたような商売の話で終始した。こういう事でございます。

それから会議がハネると昼食，晩食には毎日招待されるという，非常な大歓迎でありまして，それこそ朝野をあげての歓迎といつたような風で，農林大臣なんかは，朝食会をやるから是非とも来てくれ,昼,晩はみんなふさがつておるから，朝食会を催すというような事で非常な歓迎してくれております。出かける前には，何せまだ危ないような事も無きにしもあらずだから，良く気をつけて行こうというような話で行つたのでありますが，大体半年位前から非常に空気は変つておるそうであります。それ迄は始めの方も危なかつたのでありますが，賠償協定がやつと軌道にのりかけて来た頃から，それを転機として対日感情は非常に良くなつておる。我々はそういう事で，表面は非常な大歓迎を受けまして，どこに行つても会議ばかりでなく，他の方面におきましても，非常に好感をもつて迎えられたような気が致します。たゞ内面的には,なかなか日本人は警戒せんけりやいかんぞという空気は非常に濃厚である。と申しますのは，日本人それ自体は，まあ戦争で相当な事をやつた訳でありますから，恨み骨髄に徹すという点は無論ある訳でありますが，然しフイリツピンとしては，いよいよ独立国になつた，それにつけても経済的の独立という事が前提であらねばならん，従つていろいろな話合はするにしても，外人と共同で事業の経営をやるにしても，主導権を握られてはい

かん。4分6分で，自分は六分もつて，残りの4分は他人に持たせよといつた事でやる。これは当然な事でありましようが，そういう事をやつてもなおかつ不安でならない。というのは，フイリツピン自体は，なにせ今迄永年の間，スペインから3百年も統治され，またアメリカにも長年月に亘つて支配を受けたというような関係から，いろいろ企業の面においても,その他の能力においても,アメリカや日本や華僑にはとても太刀打出来ないのだ，というような頭が先入観となつているため，1対1でやつたんではとても主導権をとられて終うから,何か他の方法を考えなけりやいかんという事で,6対4という事を考えておるようでありますが，その6のうちから買収をされて，また外人側にまわるのがあるから，それでも安心してはいかん，といつたような事を考えている。それ程にお互いの猜疑心というものは非常に強い。殊に大企業と小企業の方では，そういう感情の対立が非常にあるそうであります。それで我々がグループミーテングや何かで話をするには，大企業が出席しないというと，そういう点を非常に気にかけて来る。所がまた小企業の方は，我々とあゝいう話はしたけれども今度大企業の連中と別途に会つているというような事を新聞がまたすつぱぬいて書く。といつたような事から，お互いフイリツピン人同士でもつて猪疑心を燃やしておる，といつたような面も相当にあるようであります。

それから外人に対して共同経営をやるにしても，いまのような心配があるから，何とか自分等でもつて主導権を握るような方法というような事について，大いに心胆をくだいておる，というような状態であります。所がそうされたんでは，相手の方は主導権を完全にとられるという事では，誰も金は出していかない。然も確実で儲かるというのならば，投資だけをして経営はやらして利潤だけ貰うという事もあるようでありますが，然しそういう余り能力のない人に任したんでは，自分の資本どころか元金もなくなつて終うというような心配から投資する人もない，そういつたような事で，なかなか商談はうまく進行しておらない，というのが現状のようであります。

私共参つた目的は先程申しあげた通りで，全般的の友好関係をまず樹立しよう，然る後個々の話をやり得るよう，その素地を作ろうという事で，今回は個々の問題には絶対に触れない，といつたような事で参つたのでありますから，そういう商談なんか成立したものはなかつたのですが，たゞ親善関係を樹立する上には，相当に役に立つたんぢやないかというような気が致しております。

商社の方やなんかは，いろいろ折衝をやつておつたようで，造船関係も，長崎造船所の副社長が，それから横浜の三菱からも常務かなんかが行つておりますので，そういつたような話も出ておつたようであります。

そういう事で徐々にこの方の問題は進行するだろうと思つておりますが，我々の方の視察団は，これでまあ，使命を果した訳であります。然しそういつたような事でありますから，当分はミツシヨンは解散せず存続しておこう，そして今後いろいろな個々の折渉が始つた際

応援をするような事をやつたらどうだといつたような事から，当分このミツシヨンは解散せずにおいて，マニラ会という名前にして存続して，いろいろお世話をするような団体に変つていこうぢやないか，という話になつておつたのであります。

所がそういう事で進むだろうと思つて参つたのでありますが，今朝の日経をみますと，フイリツピンでは上院は通つたんだけれども下院の方がそれを阻止した，というような記事が出ておりました。つまり向うから賠償を実行する為に，駐日賠償視察団ですか，これがラヌーサという，さつき申しあげた経済審議庁の長官，これが団長になつてくるという事で，それと日本の実業家との間で契約を結んで，それを日本政府が承知すれば進むといつたような形になつており，それで話がまとまらんけりや合同委員会という，日比両方から委員を出した合同委員会で善処する，というのが賠償協定の内容なそうでありますが，それでフイリツピンから駐日賠償視察団と合同委員会のメンバーと，これだけ決めておかんけりやならんので，その法律案が出たのでありますが，丁度私共行つた時には議会に提案されておりましたが，それが今回上院は可決されたが下院では否決された，とこういう記事であります。従つてそういうものが来ないというと，何か除外例がありますので，日本政府とフイリツピン政府が直接交渉すればやり得るような事が残つているようで，その為ラヌーサが最近来るんぢやないかという事でありますが，何しろフイリツピンは先程申し上げた通り，お互に猜疑心を持つておりますので，誰が賠償視察団になるか，合同委員会のメンバーが誰であるか，といつたような事がやかましいらしい。そういつたような事で上院は通つても下院は自分等の代表が出そうもないから否決するとかいうようなものだろうと思いますが，国内事情がそれ程まだ歩調を合わして進んで行くというような事まで，行つておらんという状態ぢやないかと私は推定する訳であります。丁度みた所が，伊藤，山県内閣といつたような所で，大いに日本はこれからやろうという矢先であるけれども，遺憾ながら国内蓄積がない，どうしても外国から金でも借りなければやれないというような状態，それで丁度時あたかも日本の賠償問題が片づいたから，それを種にフイリツピンの建設をやろうという意気に燃えている事は非常にはつきりみえておりますが，然し，但しあれにうまい事させちやいかん，お互いに，東北等にも大いにその嫌いが強いようでありますが，俺が俺がという空気が相当濃厚だ，といつたような為に，進むものも進まん，というような状態も見受けられております。

大体の情勢はそんな事でありますが，それから私は主としてマニラへ行つて，こゝに全部おつた訳でありますが，バギオに参りまして，それは会議もハネたんでそこを18日に発ちまして，19日の晩も泊りまして，20日の午前中に飛行機でマニラに帰り，こゝは1時間で帰れます，行きには汽車に乗りまして，リンガエン湾附近から自動車で行つた訳でありますが，6時間位かかりましたが，帰りは飛行機で1時間で帰つて来ております。それで私はここここを見ただけでありますが，なおこの附近に景色の良いタカイタイという所がありますが，湖がありまして，海も傍に見えておる，そのタカイタイに半日ばかり遊びに行つて，丁度三

菱商事の副社長と，どうしても君と碁をやらなけりやいかん，という事にされて来たから，是非とも打とうという事で，碁をうつて来ましたが，向うは5段で私は2段という事で，2目でいこう（笑）という事でしたが，どうしても3目おけという事で，3目おいて勝つて来たから（笑）……その点は面目を施して来ましたが。それからもう一つ，2泊でバギオに参つた訳でありますが，その時の車窓風景でありますが，タカイタイの方に参つた時には南の方へ下つた訳でありますが，道路は非常に良くなつて，鋪装してあり，1時間10分で60粁位の所を行きます。それで沿道から眺めますと椰子がどつさりある。それから芭蕉があり，またパパイヤが今盛んになつており，毎朝の食卓にはパパイヤが必ずあつた，というような状態で，またマンゴーの木なんかあり，うまいから是非食つて来いという事でありましたが，遺憾ながら旬はづれでない。セブ島あたりは採れるそうで，そのセブ島から持つて来て冷蔵しておるのがあるそうだという事ですので，尋ねて貰いましたが，遺憾ながらそれにはぶつからずに終りました。それから我々小学校時代に見た南洋土人の家の建て方，柱が立つてその上2階のようなものがあつて，2階だけを使い，下はただ柱だけがあつて，そこに梯子をかけて上つていくといつたような家がどつさり立並んでおります。それが水の上にもありますし，陸の上にもあるといつたような状態の農村風景。それから田植もやつておりましたが，それは日本のように整然としておらんで，雑然とした形で，陸稲も水稲も両方あつたようでありますが，そういう風景で日本の方と大分変つておるな，というような感じで見て来たんですが，バギオに行く時には，汽車の中から，この汽車は日本の特二のような車で，然も冷房装置を持つている。これは日本の製品であつたようでありますが，それに乗つて，食事なんかも座席の間にテーブルを持つて来ておけるような施設がついておる。そういう汽車に乗つてみて参つたのでありますが，こつちの農法は日本と同じように整然とした植付をやつておりました。おそらく日本の兵隊さんが行つて日本の農法を教えたんぢやないかという気が致しましたが，日本の農村風景と殆んど変りないような形でやつております。

それでバギオに2晩泊つた訳でありますが，丁度日本の軽井沢のような所で，松林がありまして，6千尺位の高い所でありますから，自動車道路が，丁度箱根の道路のような感じのする道をずつと登つて行つた訳でありますが，段々上の方へ行くというと，椰子や芭蕉とかパパイヤ等がなくなつて，松の木だけ，丁度松林で日本の風景とそつくりのような形になつて，そこは人口2万5千位おるそうでありますが，メンシヨンハウスとかいつて，大統領官舎もあるしアメリカ大使の別荘，それからチヤペル，学校の施設，そういつたようなものが相当あつて，政財界の名士の別荘がたち並んでおる。ゴルフ場もありますが，ここはワンラウンド18ホールで3千6百ヤード，普通の所の9ホールの距離しかない，それでスコアーも45とか47で，私もやつた訳でありますが，シヨートホールしかない。つまり場所が狭いもんだから，みんなシヨートホールの連続で，長い所で3百4～50ヤードしかないというようなところ，それでも18ホールが出ておるといつたような所でありますが，そこの松の木は日本と

違つて，日本のやつは，枯れて落つるも２人連れで２本松か五葉の松とかありますが，向うは３本松，子供１人を抱えておる。日本と非常な変りはないといつたような，非常に気持が良い所で，夜なんか寒い位で，暑いフイリツピンに行つたのに拘わらず，避暑旅行に行つたような気持でありました。

それで時間もありませんので，最後に私が引受けた電気事業の方ですが，フイリツピンには余り大きな電力会社はない。一番大きいのはマニラの地域を管理しておる，メラルコといつておりますが，マニラ・エレクトリツク・カンパニイにナシヨナル・エレクトリツク・コーポレーシヨン，これは公社です。日本の電源開発会社を公社にしたようなものでありますが，それが開発を担当しておる。おそらく今後の日本の賠償金の大きな部分はこのナシヨナル，エレクトリツク，コーポレーシヨンが使つていくんぢやないかと思いますが，この２つの会社が主なるもので，会社の数は非常に多いそうでありますが，いずれも小さな会社のようです。出力としてはいまのメラルコの持つているのが約20万キロワツト，そのうち火力が15万キロ，水力は５万位しかないというような状態であります。その他に22～３万キロありますが，その43～４万キロの内訳を申しますと，デーゼルプラント，デーゼルエンヂンでやつておるのが，これが約300位あつて15万，火力プラントは最近建設をやつている２万７千キロのマニラ周辺のやつを入れて16万キロ，水力が12万キロ位でありますが，そのうちには今まさに建設を終らんとしておる発電所，これはバギオの近くの，自動車で２時間位かかる所にありますが，それから15万４千ボルト位の送電線が延びており，まだ使つておらんようでありますが，それが７万５千，これが水力で最も大きいもので，今後こういう開発が進むんぢやないかと思いますが，これはまだ運転は開始しておらんようであります。ロツクヒルとアースとまぜたような工法でやつておるそうですが，水が漏つて困つておるというような噂をしてた人もあり，未だに発電は開始しておりませんが，いずれは間もなく発電開始する，そういうものを入れてそんなような程度であります。キロワツトアワーは，年間で約６億２～３千万キロワツトアワー，メラルコでやつておる。丁度東北電力は月に５億位ですから，１月半分位の程度である。それから収入が４千万ペーソといつておりますが，これは１ペーソが180円位ですから72億，そうすると我々の方は大体20億平均ですから，我々の方の収入の３月分位の収入になる，電力料金も大体平均12円位，11円5～60戔という所ですので，我々の方は平均４円ですから約３倍位です。即ち我が社の月のキロワツトアワーでは1．２～３ケ月分，収入は３倍位，単価が高いですから，丁度３倍位になりますので，収入としては大体３～４ケ月分の収入をあげておるというのがフイリツピン第１の大会社であります。

それから需用の構成でありますが，約７割位が一般家庭用と商店街用，工業用というのが２割位，それから公共用と称するものが，丁度私，支那へ昭和11年に行つた時，官庁が無料で電気を使つておりましたが，それと違うかも知れませんが，この公共用が１割位，こういう構成になつておるようであります。つまりフイリツピンはまだ農業国である，工業国には

程遠いという状態，これはアメリカがさような政策をとつて来て，なるべく自分の品物を売付ける為に，工業は興さんという政策をとつて来たからでありましようが，独立フイリツピンとしては，そういう事では絶対にいかんという事で，先程申し上げたように，血を湧かして，大いにこれから建設し，工業国にするような方向にもつていこうという事で，一生懸命に熱をあげておるような状態であります。

大体時間になりましたので，これで終りに致したいと思いますが，なお丁度バギオに上つていく時に，相当立派な鋪装道路を通つた，いまケノン道路という，前の大統領の名前をとつておるようでありますが，それを作つた時の話を途中案内してくれた人は，それは昔アメリカの少佐とかが隊長になつて，バギオの別荘地帯を開拓しようとして道路を作つたが，なかなかうまくいかん，労働者が働かん，それでフイリツピンの労働者ぢや駄目だという事で，支那の苦力をつれて来てやつたけれどもなかなかうまくいかん，予算も最初７万ドルであつたのが，仕上つたのが４百万ドルと，それ程の狂いを生じてやつたようでありますが，最後にどうしてもだめだという事で，日本の労働者は非常に勤勉だという話を聞くから，是非とも日本の労働者に来てやつて貰おう，という事でもつて１年間で日本人がつくつた。

この道路が残つたという事であり，然も日本の労働者３千人がマニラの港に着いたのは，丁度日露戦争の宣戦布告をした日なそうであります。そして１年間に仕上げて，但し犠牲者が８百人出ましたが，残りの２千２百人も日本へ帰らず，その附近にみんな定着して，その子孫が非常に繁栄しておる。相当の有力者になつている人も随分あるというような事を言つておりました。それでさつきの８百人の犠牲者の慰霊塔がバギオにたつておつたのでありますが，そこにお詣りして来た訳であります。大正11年，時の総理大臣兼陸軍大臣梅原大将ですか，一寸名前を忘れましたが，総理大臣兼陸軍大臣これを建つ，とかいう字が横の方に書いてありましたが，あのバギオの町は，御承知の通り山下奉文大将があそこに行つて，更にあそこにおられなくなつて，だんだん北の方へ逃げて行つた。それで10万人がおつたのが１万人しか残らなかつたそうでありますから，９万人がいずれにしてもこの辺で戦歿しておるという所で，私共それを聞いたんで，そこで冥福を祈つて来ました。僕等の知つている人も３人程ありまして，そこでお詣りをし，それから安藤社長の息子さんがバギオの附近で亡くなつたそうでありますが，安藤社長は土建の代表で，余り来る積りはなかつたが，清水組の社長から，僕はこの前行つて来たから，と言われて来た訳なんだけれども，それには自分の子供がここで戦歿したんで，そこを葬いたいという気持もあるので来た，という事を申しておられましたが，そういつた様な事で，私共行つた時には快適な程に思つて見て来ましたが，そういつたような，非常に日本人としては忘れられない所になつておるようであります。

甚だつまらん事を申しあげましたが，丁度12時になりましたので，これで失礼致します。有難う御座いました。（拍手）　　（東北経済倶楽部における口述）（速記江川泰）

福島支店管内

営業所の実状をきく

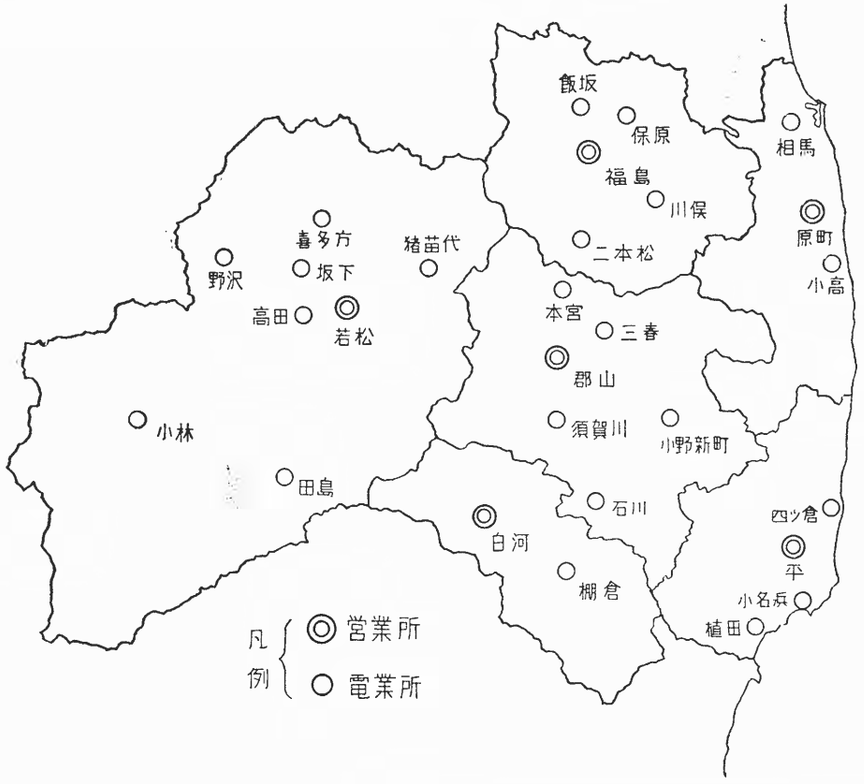
職場座談会 その3

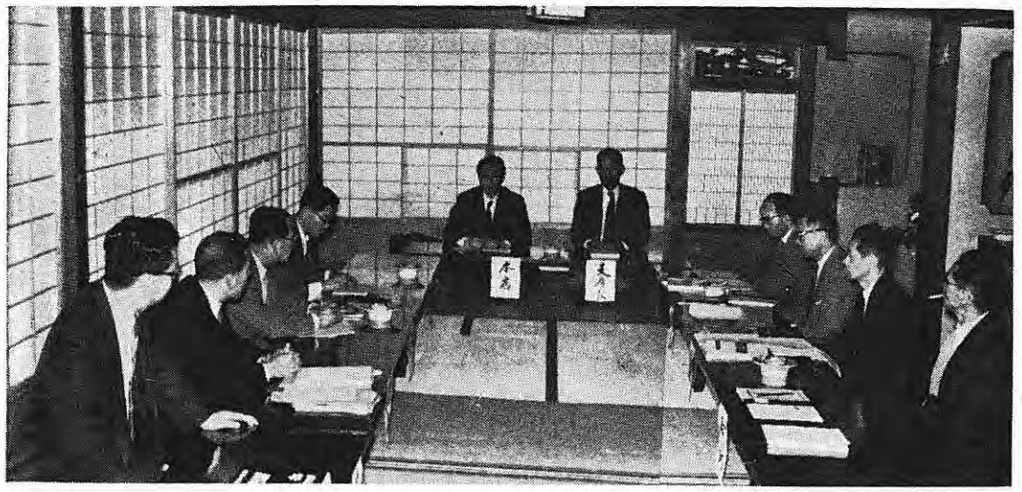
と き 昭和31年10月9日

ところ 郡山市

出席者

福島営業所長	小林治三郎		若松営業所長	磯部 登	
郡山 〃	作地幸一		福島支店長	菅野義三	
白河 〃	中目義直		福島支店社誌編集委員	浜島 崇	
原町 〃	加藤壽男				
平 〃	神山孝義	司会	本店総務課長	鈴木秀俊	





前号の古川営業所管内各散宿所の皆さんの座談会に引続いて，今号では福島支店管内各営業所長さんにいろいろお話をお願いすることゝした。

営業所長さんの座談会は，前々号の岩手支店管内各営業所長さん方に次いで2度目ではあるが，支店によつてその様子もいろいろ相違することゝ思われるので，重複する点もあろうがその実状を御伺いした訳である。

いずれにしても，当社の第一線にあつて業務の改善に，需用家に対するサービスに全力を揮つておられる営業所の実態が，軽いユーモアのうちにも滲み出てその御苦労がしのばれるというものである。

管内概況

支店長 本日は，皆さんから社誌編集委員としし営業所の実態をお伺いし，それを社誌に掲載したいⅦという事で，本店から鈴木総務課長さんが見えられてこの会を催した訳でありますが，平生皆さんが現場で困つておられることや，こうもやりたい，あゝもやりたいというような御意見がありましたならば，司会者の鈴木さんから話題が出されます都度，それにつれて腹臓なくどしどし申上げて頂きたいということをまずお願い申上げて，簡単に御挨拶に代えます。

司会 大部分の方とはお知合いですが，初めての方もございますので……。私本店総務課の鈴木でございます。本日は大変御多忙のところ社誌編さんのために，支店長初め各営業所長さん，その他の方々に御出席頂きまして，本当に恐縮に堪えない次第でございます。社誌の編さんについてですが，土本前総務課長さんは，大分前から各支店長さん方との電話対談をおやりになり，また，岩手支店の営業所長さん方との座談会もおやりになりまして，私が引継ぎましたときには，これから各支店の営業所長さん，或いは散宿所の方々，それから発電所とか集金とか，そういう方々と座談会を持つようにとの事でありました。それで，これから私にとりましては古川営業所に次いで第2回目の座談会ということになる訳であります。

どうも横に支店長さんがおられると，司会者があがつてしまいそうですが(笑)，ひとつ皆様がふだん

営業所におられて，いろいろお考えになつておられることや，こうしたいということもございましょうから，遠慮なく御発言のほどをお願いいたします。結局営業所長さんの方々にしやべつて頂かなければ記事にならないわけですから，(笑)どうぞ腹臓なく建設的な御意見を御発表のほどお願いしたいと存じます。それから，司会を勤めます私は，営業所の方の仕事については全く何の知識もございませんです。けれども,考えてみますと司会者というものは，そのことについて余りに良く知つている者ではかえつて，皆さんも発表しにくくなることと存じますので，私などは皆様にとつて丁度具合がよいのではないかと思いますが，(笑)全く何も知りませんですから，自由果敢に御発言のほどお願い申しあげます。

では本論に入る前に，社誌を読まれる方の予備知識という事もございましようから，皆さん方の御担当になつておる区域の特色とでも言いましようか，外の区域に余り類例のないようなことなら何でも結構ですから，お知らせ願いたいと存じます。ではまず，福島の小林さんから簡単にどうぞ……。

福島　福島営業所管内は御存知のように，西の方には吾妻山連峰，東の方には阿武隈山脈という，山々に囲まれました盆地になつており，日本でも有数の暑い地帯で昨夏には39度8分と云う日もあつた位で,夏の作業などは非常に辛い所でございます。本年はそういうことを考えまして，7月20日から8月20日までの夏の期間には引込線改修工事を優先的にやつて，いわゆる重労働を避けて人事事故を防ごうという事に重点を置いた訳であります。それで福島営業所管内の面積は1,935km²でして，ちよつと小じんまりしておりますが，その中に世帯数が10万戸位で，うち農家数は3万5千戸というような割合で，特に見るべきものもございませんが，産物としては果実がよくでき，その耕作面積も約7千7百町歩ほどで，東北では青森県に次ぐ果実園を所有しております。それから管内の配電線の亘長は地域面積に比して長い距離を持つております。従つて電柱1本当りの灯数は8.8灯と，支店管内平均8.2灯を上廻つております……。

支店長　果実の種類を言つたら……。

福島　果実の種類の多いのが日本一となつております。桜桃，桃，林檎，梨，柿などができ，特に桃はその味，食通のフランス人が褒めております。それから日本でも有名なものに川俣の軽目羽二重がありまして，現在盛んにドル稼ぎをやつております。それから東北電力としては特別の供給方式を持つている山木屋という地区がございますが，こゝでは200V配線をやつておりまして，資材のないときにやつたもので，現在はそれをどうもつて行くかという批判の時期に来ており，目下これについては検討中でございます。

司会　そこの需用家数はどの位ですか。

福島　電柱数にして850本，負荷はほとんど電灯で40KW需用家数は376戸という所でございますが。

支店長　飯坂，霊山とか土湯のことも……。

福島　当管内の観光資源として名の聞えているのは飯坂温泉で，湯の質も相当良く，春秋のシーズンには日本全国から観光客が踵をつらねて参つている次第でございまして,そのシーズンの土曜,日曜はだいたい客止めというようにいんしんを極めております。また阿武隈山脈には北畠顕家が立籠つたといわれる霊山があり，こゝの秋の紅葉は特に立派でございまして，皆様方も是非一度杖をついて御光来をお願いしたい所と思つております。それから最近火災後復興しました土湯温泉がございます。こゝは裏磐梯の高原公園に連つており，裏磐梯に行く場合，この土湯温泉を通過し，土湯峠を通りまして東西の雄大な景色を眺めながら裏磐梯に入ることができる観光道路もございまして，最近はこの観光道路を利用される方が非常に多くなつております。それから本年の10月に入り，高湯温泉にゴルフ場が落成いたしました。そんなような状態で観光と果実，輸出向きの羽二重，こんなものが取立てて申されるものかと存じます。

司会　では次に郡山営業所長さん。

郡山　郡山営業所は皆さん御承知のように，お集りの各営業所と皆お隣りづきあいをしなければならない県の中央にございますので相当雑費もかゝります。

(笑)

司会　支店長さんの方から多く貰つて下さい。(笑)

郡山　それでは電力方面のことだけを申上げますと，だいたい郡山市は商工業都市と云われている通り，電気も大部分は電力方面に使われておりその伸び方も35年迄に希望されているKW数は現在の2・3倍になりそうです。電灯においては過去5ケ年間にだいたい20%増加です。それから需用構成となりますと，KWでは電灯21%，電力79%，KWHになりますと電灯は11%，電力が89%，料金においては電灯が32%，電力が68%となつております。需用構成の比率を改善するという努力は当然なさなければなりませんが,小口需用の開発に幾ら努力しても,吾々の望まれるような点まではとても行きません。こういう点が郡山の特色と申上げられるかとも思います。

司会　安積疏水のことをひとつ……。

郡山　安積疏水の歴史ですか，

司会　えゝ，電気に関係が多いですから……。

郡山　郡山は電力開発面から言うと，日本の電気発祥の地と言つても過言ではないような性格を持つている。昔，郡山絹糸紡績会社というのがありまして，猪苗代湖から安積平野の灌漑用水に取水しておる安積疎水路の上流に明治32年に沼上発電所を造り，ここから，郡山市まで発電電圧1万Vを直接に引張つた。これが日本で特高遠距離送電の最初です。これは電気の歴史の本には必ず書いてあることです。

支店長　電気界の元老渋沢元治さんも学生時代に実習に来られて，1万V送電線の下では体がスクムとか鳥も飛べないだろう等の話しもあつたとか……。

司会　安積疏水の開さくに骨を折つたのは中央では松方正義さんでしたか。

支店長　中央では松方さん，地方では橋本万右エ門，根本裕太郎さんなどですね。

司会　では次に白河の中目さん，ひとつ……。

白河　私の方は御承知の通り，東北電力の南端に位しておりまして，東北電力の入口とも言うべき場所にあるわけです。

支店長　白河の関ですね。

白河　白河の名は平安朝の頃から奥州の関門として歴史上に現われており，今支店長から発言されたように白河の関所の所在地でありまして，東北として最も早く拓けた土地のようであります。平安朝から鎌倉時代を通じて，奥州を治めるために白河が鎮台として，重要な人物が配され，東北を治める昔からの政治的要衝であつたようであります。特に白河が歴史上有名なのは南北朝の頃，忠臣結城宗広公が白河城に籠つて勤王に勤めたということで，これなどは歴史によく出てくるところです。その後特に白河が発展しましたのは，徳川時代に松平定信，楽翁公が白河の城主となられまして，善政を残されたわけであります。後に楽翁公は幕府の老中として徳川の黄金時代を築かれた名君であつただけ，楽翁公の業績は白河の今日の発展に非常に大きな功績を残していると思われるわけです。また楽翁公の遺蹟として知られておる南湖公園は，日本の公園の元祖であるとも言われております。楽翁公は非常に民主的な方と言いましようか，官と民が同じく楽める遊園地に，人工的に眺めのよい池も作りまして，その池を灌漑用水にも使うという一石二鳥の善政を残されたもので，そういう意味で南湖公園は有名なところであります。

白河は那須連峯の麓にありまして東京から最も近い避暑地として，又観光都市として発展しているわけであります。このように非常に古い歴史を持つており，町制を施行したのも福島県で一番古いのだそうでありますが，遅々として発展せず，人口も昔のまゝで増加が認められない。私の方の区域はほとんどが農家で，白河市はその農家を相手にしている商業，消費都市であります。そういう関係上工業に見るべきものがない時代おくれのために，発展しないようであります。

白河営業所の区域は電柱1本当りの電灯数が7.4灯,動力は電柱1本当り馬力数が0.48位であります。そのような構成でして，だいたい需用口数は2万5千軒あり，その中1万5千5百軒位が農家であります。農業地帯ということゝ，山間にあるので林業方面の仕事がある，こういう土地柄です。従つて工業として見るべきものは林業を対照とした白河パルプ

工場が大口需用家として1件あるのみです。それ以外は小口需用という状態です。

司会　次ぎに原町の加藤さん……。

原町　原町営業所と言いますと，相馬野馬追と無用の長物化しております無線塔ですが，古事来歴は営業所便りにつぶさにのせてありますから，今日はひとつ原町営業所の恵まれない電気事情，ネツクになつているところをお話したいと思います。原町地区は阿武隈山脈を隔てまして県の東南に位し，海岸線に沿つて70粁余りにわたる帯状の地域になつております。系統としましては石神外3発電所，原町外4変電所より成りまして，中央南線6万Vによつて小野新町経由日和田電源，木戸川経由平電源に連絡しておりますけれども，原町地区は系統の終端にあるために電力不足に悩んでいるわけであります。また中央南北線は山間の難所を経過しているのでその保守が意の如くならない。そのうえ中央北線は22スケアー，30スケアー線が使われておりまして，送電容量僅少の上線路も弱体で現状維持の保守にまず困難を来たしている状況であります。一方海岸線は相次いで大口需用の申込がありますけれども実現に至らない現況であります。このように大口負荷を抑制しているため，ほとんど全部が一般負荷で最大8,600KW，自然増が年間720KWになつております。また，南部の富岡方面におきましては，一般負荷においても抑制せざるを得ないのであります。農事用電力その他抑制電力は360KWに達しておりますために，その方面に変電所設置の計画があるのでありますが，これは一日も早くその実現を期待している次第であります。いろいろと勘案しますれば近き将来常磐線に沿いまして木戸変電所，原町変電所，中村変電所間65粁を6万で結び，高瀬川変電所，浪江変電所も12粁を6万で連絡して，常磐線の電化が進み，大口負荷が増加しますれば海岸線を2回線に強化し，中央南北線を撤去する等の対策を樹てなければならないと思つているわけであります。さればこそ原町営業所の仕上り単価は7円4戔になつております。福島支店綜合の単価が2円66戔位になつているはずです。そうでありますから需用構成におきましても電灯が40%，電力が60%になつている。次に需用増加の推移でございますが，従量電灯需用家1ケ年の増は1,706戸です。定額電灯が減少981戸，差引従量需用家が725の増加になつております。小口電力50KW未満の伸びでありますが，最近1ケ年の需用家数が345戸，契約が450KW，そのうち農事用電力が755需用家，760KWになつている。大口を抑制しているというのがよその営業所に比べまして電力収入が恵まれない特色になつております。

支店長　製塩の話は。

原町　只今相馬の原釜で，中野友礼さんが相馬塩業の設備を利用して中野式真空冷凍式ということで製塩をやつており，只今試験の段階で月産20屯位を作つているが，あれが成功しますれば製塩界の革命になります。これは現在行われている加圧式製塩一屯当り電力消費量2千KWHに対し，屯当りの電力が400～500KWH位ですむのではないかと言われてます。

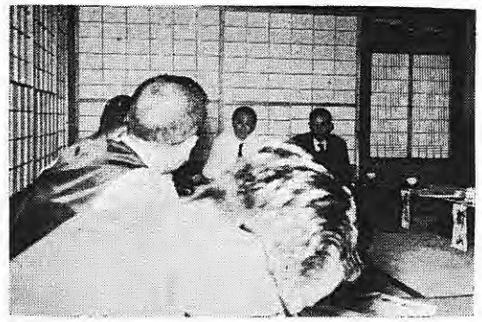
司会　有難うございました。次に平の神山さん，簡単にひとつ……。

平　私の方の供給区域は東北の最南端に位置しております。勿来の関を境としまして茨城県に接しております。当区域として特記すべきことは，石炭の埋蔵量8億5千万屯と云われております常磐炭田と1万屯岸壁の完成した小名浜港を持つているということであります。石炭と港があつて，それに気候が非常によく冬はほとんど積雪を見ることがありませんで，鉱工業地帯として立地条件に非常に恵まれている。それで常磐綜合開発調査指定区域になつておりまして，この計画の進展に伴つて当区域は一大工業地帯，いわゆる第二の京浜地帯と言われるほど発展することが期待されております。綜合開発の一貫をなす常磐共同火力発電所，7万KW，これは既に着工されておりまして，32年の11月運転開始を目標に鋭意工事を進められておりますけれども，目下は甚だ残念ながら電力と工業用水不足のため開発も行悩んでいるという状態でございます。需用構成の特色としましては，大口工場，炭鉱，製氷冷凍需用が他営業所と比較して非常に多いということであります。その構成をKWHで申しますと，大口が90%，小口が6%，電灯が4%になつております。料金収入面で言いますと大口が70%，小口が15%，電灯が15%位になつております。平均単価は大口の多い関係で非常に安く2円18戔位になつております。なおこれは参考までございますけれども，全社に比較した場合どうなつているかと言いますと，30年のでKWHが全社の1/10，料金収入は1/16位になつており，この数字は山形支店の8割位になつております。次に供給設備関係で見ますと，当区域は大日本電力，日立電力，上田水力，平電力等の電力会社の統合された地域でありまして，系統が非常に複雑しており，統合以来整理も相当行つて来たのでありますが，未だすつきりした系統になつておりません。サイクルは50，60両方あり，電圧においては2千V，3千V，6千V，2万V，3万V，6万V，15万Vとあるというような具合で，これは特約需用家の常磐炭鉱，火力約2万KW，日本水素15万KW，古河炭鉱6千KWという火力が併合されておつて，渇水時には委託発電をして貰つているという具合いで，非常に系統が複雑しております。なおサイクル変更については2～3年前から着々実施しておりましたが，菅野支店長さんがお出でになつてから急速に進んでます。

支店長　おだてんなよ。(笑)

司会　では若松さん。

若松　若松の特徴を申しあげますと，私の方の区域は，太平洋に流れる水の区域は全部よそ様の営業所で，日本海に流れるのが私の方という事になつております。たゞ一つ福島の野地温泉，こゝは太平洋ですが，こゝには供給しております。それで区域は非常に広うございまして，地図でみますと福島県の1/3位あり，これは広いのを一寸も得意にしておりません，寧ろ困つております。(笑)私の方の名物は，山が沢山あること，従つて木があること，大きな川があること，米がよく出来ること，水が多いということ——これは多すぎて洪水，水害をおこします——それから女が良いこと，観光地があること，酒も良いこと，従いまして，朝よし昼よし晩よしという小原庄助さんの住むには非常に都合良いところという事になつております。(笑)どうぞ皆さん，せいぜい



お出でになつて下さい。(笑)それから電源関係で一番たまげておりますことは，東北電力で一番小さい発電所，こゝは大志発電所と申しまして，年間45KWを百%フルに出しております。

郡山　大志は60だろう，桧枝岐がもつと小さいだろう。

若松　桧枝岐は60KWですよ。それでこの小さいのに対し6万4千2百の宮下，日本一の田子倉の38万KWが建設中で，このように私の区域には東京電力の約30万KW，東北電力が約50何万KW，電発が40万KW，只見関係の2百万の包蔵水力のうち半分以上開発されておりますが，あと未開発が随分残されておつて問題を盛んに生み出しております。例えば立替木柱1本に5万円という補償が出ておりますし，それから奥只見で支線1本に3万円出せという事で未亡人に泣込まれ，私も泡をふいており，そういう補償問題，電源関係では頭を痛めております。余り考えますと神経衰弱になりますので，時々小原庄助の真似をしております。(笑)それから供給関係では，会津電源の約5%を地元で消化しているだけでありまして，他は他県，他地方に移出しているような状況であります。今，会津の産業のネツクは輸送力の薄弱さ，それから地元資本の貧弱さ，会津人の，何というか，他所の系統の資本が会津に来て盛んに仕事をしているような関係で，会津の産業の将来はどういう事になるか，経験の浅い私にはまだ見通しがつきません。以上のように何でも広く多いところでございますが，困つておるのは車がないこと，人手がないこと，金がないこと，以上であります。(笑)

支店長　ないないづくしのようだが鉱物は沢山あるだ

ろう。

若松　多いです。八総鉱山が発展して，四国の別子鉱山にかわる銅鉱山として注目されており，それから北の与内畑にも良い鉱脈が出，金，銀，銅，亜鉛，鉛……。

郡山　日本鉱業のやつもあるだろう。

若松　田代，横田等と，鉱物資源は最近盛んに試堀されておりますが，今のところ一寸発展しそうなのは八総，与内畑，田代，横田，この位のように記憶しております。

小口需用の開拓

司会　どうもありがとうございました。では営業所の概況はこれで終りに致しまして，これから本題に入りたいと思いますが，まず最初に大分論ぜられている事ではありますが，いわゆる「小口需用の開拓」について，特殊な需用とか，将来こういう方面の小口需用を開拓していきたいとか，または開拓についての御経験談等でもお話し願いたいと思いますが。

福島　器具の販売については，現在は会社の方では積極的に扱わず，業者に任せて，これを会社が側面から援助するという方向でやつておりますが，今，会社では農事用モーター，井戸ポンプをやつております。それで私，この農事用電力という事についていろいろ考えておるんですが，これには問題があると思う。例えば30年度にやりました電床苗代，これなんかも実は私も実際良いもんだと思い，一生懸命それと取組んで普及しようとかゝつた。ところがよく考えてみると，えらいネツクが出て来た。それはいわゆる，お百姓さんは大まかな物は扱えるが科学的なものはむづかしくて扱い難いというのが一つ。それから会社としても，では全面的に電床苗代にかえた場合どういう設備をしなければならないかというと，まず線路と変圧器，これが大体苗代2坪について1Kの設備を要するという事になつている。それで2坪位では農村の経済単位にはあたらないので20坪，40坪となり，こんな風にいきますと，短期間使用するものに対しまして，大きな電力の設備が必要になつて来て，これが非常に農村に対して負担が大きい。こんな関係で今年やつた人がまた翌月もやるというふうには限らず，却つて去年やつた人は今年はやめるというような事で，それを防止するのに非常に困難がある。従つて小口需用の開発については農村を対象とするよりは，やはり重点を家庭電化におかなければならないのぢやないか，家庭電化ですと大体100Vの線路からもつていける。電気洗濯機とかあるいは家庭井戸ポンプとか，毎日使うものに重点をおく。電熱器も当然第一番にあげなければならんのですが，電熱器は非常に熱効率が悪く早業がきかない。きかせるためには設備に金が掛る。大体はガスとか石油コンロというふうになつて終うので，これよりもやはり電気洗濯器とか，あるいは今後増えるところのテレビとか，あゝというものに重点を置いていかなければ需用開発が難しいんぢやないか，そんなふうに考えております。最初自分としては，農村が電気を使う時と電力の豊富な時がマツチするので，これを撚り合わして太い線にしていけば，相当需用が伸びるんぢやないかと考えたんですが，そこに誤りがあつたというように自分としては考えております。

平　私の管内の農事用モーターの導入については，平方面は，大体農家3戸に1台位の割合で入つておりますが，今後の伸びは余り期待出来ない。残つておる農家も，大体耕作反別が5反歩程度の零細農家で，これらの人に農事用モーターを普及さすにつきましては，農事用モーターや電熱温床と井戸ポンプ等を切替使用出来るという方向にもつていかなければならないと考えております。また家庭電気器具とか電気井戸ポンプ，これは将来これからの普及宣伝によつて益々伸びるでありましようけれども，これは特に平の海岸地帯としてローカル的な問題ですが，これから述べますような事が只今研究過程にある訳です。それは秋刀魚の加工，これを加工して花カツオを作る。その作り方は，秋刀魚を圧縮して，それを天日乾燥して，これを静岡方面に送つて花カツオを作る訳ですが，その乾燥が天候に左右されてうまくいかないので，何か良い方法で乾燥する法はないかという事で，昨年暮からいろいろ研究しておつたんですが，最近に至つて漸く1メーター位の鉄板一昔のパン焼のような恰好のもの——を電極にして，その間に秋刀魚を入れて電気乾燥しながらこれを圧縮する。そう致しますと，エキス分もその圧縮の際秋刀魚の中に吸収される。今迄は滋養分が全部外に流れ出て終つたんですが，乾燥しながら圧縮するので，栄養が流失しないで吸収される。この方法で60%位乾燥が出来，それから天日で乾燥する。これを今年2ケ月程前から4,5軒の需用家で実験的にやつておりますが，大変成績が良くて製品の値段も高い。「これなら電力料金を幾ら払つても差支えない」と言われる程ですが，これももう少し設備を改善して，良いものが出来た場合にはよその支店の海岸通り全部に普及するんぢやないかと考えております。

郡山　私は小林さんと同じ見解ですが，農電の方でいゝますと，需用家数，県を百にした場合，需用戸数が23.9%の割合ですが，モーターはそれに対して約20%入つており，このように農事電化は着々功を奏して，相当の効果が上つてるんですが，これがKWHという事になると努力した程恵まれない。それで小林さんの言うように，家庭電化の普及という事に自然考えが行く訳なんですね。私は1軒の需用家が百KWH位使うように推奨していく。田舎でも，一つの部落に新しいものを好む人が必ず1人や2人おるので，そういう人を中心にして器具の斡旋について面倒をみてやり，そしてそういう家庭には，現在会社で配つておるようなカレンダーより良いもの，100円か200円するようなのでも結構だから「この家は健康にして文化的な楽しい農業をやつているんだ」というような看板，標識を取付けてあげる。こういう事で1人の目標と云うか模範をこしらえますと，「あの人があゝいう楽しい生活をやつておるんなら俺もやりたい」という事になつて，ドンドン100KWH使う需用家が増えて来る。この100KWHという目標は，現在の消費状況をみて100KWHというふうに言つてるんですが，そんなような方式をとれば，小口需用も比較的楽な方法で開拓出来るんぢやないかと思いますが……。

福島　私の方は養蚕地帯ですが，そして稚蚕飼育は土室式というのでやつており，これが信達平野に691基ある。これに目をつけて，こいつを電化してやれ，今迄の土室式というのは炭火で蚕の温度をとつて飼育する方法ですが，大体30日位で稚蚕は壮蚕に変りますが，今年はそれに重点を入れまして，691基のうち200基を電床でやるようにし，284KW出ましたが，この691基を全部3ケ年計画でやつちやおうと考えており，今年は大体所期の目的を達成しております。蚕絲試験所でも，ガスが出ない，そのため蚕が非常に丈夫に育つ，そして出来た繭は，親繭がオシヤリというか，死ぬのが少ない。また等級においては上級を占める。というお墨付を戴きましたので，この方面に向つて信達平野の全養蚕家を電熱温床にしたいというように考えており，これが今着々成功しておるようです。そしてまたこれを壮蚕にも使う——まだそこまでいつておりませんが——そこまでやつて目方を増やしていこうというようにと考えております。まあ，成功したとみる可きものは稚蚕飼育ですね。

郡山　私の方はみんな成功しておりますよ。(笑)

白河　去年は県の農産課でも，電熱温床による稚蚕飼育を奨励して，大分成績が良かつたようですね。私の方も大体今年の春は357軒位需用がありまして，相当の成績をあげており，需用家も喜んでおりますので，来年度はなお増えるだろうと思います。

福島　これにゴム線とビニール線がありますが，ビニール温床線は非常に臭気が出るので，かえつて有害だというような判定が最初出されたんですが，これは有害でないという事になりましたので，県の方ではこれを推奨しておるようです。

若松　私の方は先程申しあげましたように米どころなもんですから，いわゆる会津盆地といわれる坂下，喜多方というような平坦地には農事用モーターを宣伝しており，去年は600台近く，今年は大体300台出ようとしております。それで今年あらわれた特徴というものは，営業の人達も驚いておりましたが，300台のうち1割位は古いモーターを新しい性能の良いモーターに切替えたというお客さんで，そういう点を今後どういうようにやつていくか。それからガソリンエンヂンでやるやつは評判が悪いので，こ

れが徐々に電動機に変りつゝありますので，これの方に力を入れていくことゝ，それから私の方は他地方に比べて，遅く春が来て早く冬が来るという土地でございますので，電熱温床ということ，それから蚕室の温度調整というような点，もう一つ，煙草の乾燥とか，そういう点についてもいろいろ研究しておりますが，煙草については，何か専売局の役人の方が，どうも電気に好意を持つておらないという現場の声を聞きますが，どんなもんでしようね。

福島　モーターをもつと普及させるにはどうしたら良いか，という事についてゞすが，農村の電力は負荷率が非常に低くて困るのでいろいろ考えておりますが，料金率かなんかを変えて，農村に対しては普通の農事モーターと井戸の切替を認めて戴ければ，年から年中，通年契約になつて，臨時とか何とかいうものも問題がなくなるんぢやないか。然もいま郡山さんがおつしやつたように，負荷率が上昇して，あるいは150KWH 位も使うかも知れない。こうなりや農村の一大福音だと思うね。

郡山　これは当然しなければならないね。

福島　これをやつて戴ければ農村は大したもんですよ。

郡山　今日我々需用開発に何を狙うかというと，年寄よりも若い青年，婦人層を狙わなければならない。それから井戸ポンプと農事用モーターの切替なんていうのは出来ないんだという事，これは本店の方式，規則からみると確かにそうなつておるかも知れないけれども，それぢや親切だとかサービスなどゝいつても，真に需用家の身を考えているという事にはなりませんね。

白河　動力もメーターのように，リミツター式に契約電力をオーバーしなければ切替えて使う……。

福島　切替えられるようになれば農村にとつては大福音だと思う。

白河　私の方は農事電力はまだ農家5戸について1台位しか入つておりませんが，私の方は山間地帯で耕作面積が少なく，1戸平均7反歩位なんで，1万5千戸の農家のうち3千戸だけしかついていない。それから発動機が2千2百台入つておりますから，両方で5千台，即ち農家の3分の1が電動機か発動機を使つている。それで私の方で発動機と競争して負けるのは，工事負担金の面で負けるんです。発動機は持つていつたゞけで使えるが，電動機の方はモーターを買つて，その他に工事負担金1万円とか，1万5千円払わなければならない。そういう事になりますと，どうしても競争的に発動機に押され気味なんですね。然も私の方の区域は先程申しました通り1戸平均7反歩で，大体現在モーターを取付けておる家は1町歩以上の人でありますが，それを引いてみますと，大体現在のところ5反歩位の農家しか残つていないと思いますが，これを開発するにはどうしても工事負担金をもつと安くする，或いは昔のように無料でやるというような方法でゝもやらなければ，零細農家まで電動機をつけるという事は，なかなか困難ぢやないかと思いますね。

福島　だから今は5戸に1台というような所でも，今後井戸ポンプと切替で使われるようになれば，零細農家にでもドンドン普及されると思うね。

白河　私は負担金を無料でやつても，月々，1KWHも使わないでもD.Cが195円入るんだから，投下資本の利息としては良いんだから(笑)……。

郡山　需用開発で私の言つたモデル需用家をこしらえる場合.これは全部無料ではできないけれど，コンセント取付位の800円余りは無料でやつてやる。投資だと思つてやるんですね。これを経費と考えないで，もつと割切つて，ひとつ500円でつけてやつてもいゝから，電気を沢山使つて下さいという訳です。これは経済的に回収できる線がどこかにあると思うんです。それを800円工料がかゝるから800円貰わなければならないということを云う，本店の方は……。小林さんも今まではそうでしたが今はそうでない。(笑)

原町　農事用電力は今迄はほとんど通年契約やつているんですが，その消費量を見てびつくりしたのですが，年120KWH 位平均になつているんです。これはどうしても多角的に利用しなければならない。いろいろ苦心しているんですが，なかなか思うように行かない。何とかうまい方法がないでしようかね……。

福島　その打開策は切替使用のみにある。

郡山　供給規定が使わせないような形にしておくからですよ。

福島　私の方は年に35KWH 位しか使わない……。

原町　私の方は120KWH 位です。それに高い工事費をかけてゞすね。

平　これは私の方の特色だと思うのですが，単相モーターが多い。電灯併用で1HP使いたいというお客さんが多い。いろいろ事情を聞いてみますと，単相モーターを電灯併用で使つた場合負担金は会社負担が多く，お客さんの負担が少い。それで需用家はモーターの方は高くとも自分の財産だから我慢する。しかし会社に負担金を多く納めるということは，どうもたゞ金を投げるような気持があるらしいんです。それで通年契約で電灯併用で使つて行きたいというお客さんが相当あるんですね。

支店長　一般電灯料金で貰えるのかどうか。

平　一般電灯料金で高くとも払いますというんです。

支店長　やつたらいゝでしよう。

平　それはいけないということで……。

福島　技術的に見るとたしかに損なんですね，電灯料金では間に合わないらしいのだね。

支店長　コンデンサーをつければ……。

福島　それでも悪くなるらしいですね。

平　単相三線式200V 供給になるわけですが。

福島　単三の200V ならば話がわかるのではないかな。コンデンサーさえつければ……。

平　その辺，割切つて貰えばね。

支店長　支店だけでも割切つてやつたら…。(笑)供給規定を直せばよいのか。

原町　海岸通りはテレビですね。支店の方でも取上げて斡旋して貰えば……。

支店長　そういうところは支店に相談しなくともよい。営業所でどんどんやつてもらいたい。

原町　どんどん私の方もやつております。

郡山　支店長の許可を貰わない方が，どうしたどうしたとウルサクなくてやり易いですよ。(笑)

原町　3年ばかり前だと思いますが，原町で井戸ポンプが75台出た。ところが勧誘がなかなか難しいもので，やる場合にどうしてやつたら普及するかということを検討した結果，生活程度を推定して需用家をＡＢＣクラスに分けて，中産階級のＢをねらつたんです。ところがＡクラスと見ておつた人が自然とついちやつて75台一辺に出た経験がある。

P.R 映画への希望

司会　小口需用の開発は皆さん専門家で，これだけでもう全部埋まつてしまうようですから，これで一応打切りまして次に進ませて頂きます。

先日秋田の石黒支店次長にお会いしたら，今会社で作つている映画，「新しい米作り」とか「粟野村」とか，あゝいう映画を見て感じたんだが，農事の専門家であつても電気の専門家であつても，見たものが成程と感心するものでなければならない。あの映画を見ていると，肝心の最も見たいところになると映画がとぎれてしまう。それからあの屋内配線でも不良工事がある。あゝいうことはひとつ直したらどうかということを言われておりました。あの映画は非常に優秀なことは絶対的なのですが，さらによいものをつくるため，あの映画に対する御希望とか御意見とかございますか。

支店長　不良器具を使つてボヤを出すというようなものもうまくとり入れておけばいゝね。(笑)

郡山　あの映画を見るとちつとも面白くない。ぜんぜん面白くないですよ。

司会　手きびしいですね。興味が湧かないのですか。

郡山　もつと真剣になつて見れば湧くのかもしれないですが……。あれでPR 宣伝になるのかという気がします。

平　私余りその映画を見る機会がなかつたのですが，昨日「この雪の下」にを半分位見ましたが，あの映画を見て私が摑んだのは，山形というとこは雪がずいぶん降るところで，山から炭出しするに随分苦労するだろうという事と，それから農村で水汲みに非常に苦労している，こつちの部落の方では電気井戸ポンプを使つて非常に文化的な生活しているのに，というような事を感じたのですが，あれだけではどうもPR になるかどうかピンと来なかつた。電気井戸ポンプを使つているところは，なかなか旨く使つ

ているわいということだけで，使うまでのひとつの過程というか，お客さんがどうしても欲しくなるという気分が少し薄いのではないかと思います。

支店長　出る俳優も，電気を使う方がきれいな人で，電気を使わない方はめごくない者が出ると心理的にもいゝ。(笑)

郡山　何か打たれるものがなかつたらだめですよ。私には打たれるものがない。

司会　良い点も非常にあるでしようが，今は極めて少いどうかと思う点だけお聞きしているわけですね。(笑)

郡山　悪い点だけ言つてくださいと言われたようだから申上げたわけです。(笑)

集金率の改善

司会　次に福島支店の最近の集金状態を見ると昨年1昨年あたり悪かつたが，最近めきめき良くなつてきて各支店比較で2番とか3番とかという良い成績になつた。こう急激に良くなつたのは何か秘伝があるのではないか。営業所長の座談会を開催するそうだがこれを聞いて欲しいと他の支店から頼まれたのですが，どういうわけであれほど向上したかということをお聞かせ願いたい。

原町　あれは平営業所の成績が良くなつたからあがつたのです。

平　福島支店の成績は平が左右しているようなものです。一番平の集金成績が悪かつたのは30年の5月，90%でした。悪くなつたというのは，炭鉱の景気が非常に悪くなつて次々と倒れて行く。勤労者が失業するということで，炭鉱自体の集金も悪くなるし，勤労者の集金も悪くなるということで，非常に未収が増えたわけです。増えた最高では1,200万円，5月はだいたい原町さん，白河さんの1ケ月分位の収入の未収ができちやつた。その後いろいろ問題がありましたけれども，これじや何ともしようがない，支店ともいろいろ相談しまして，炭鉱の送停すべきものは送停するということでやりまして，非常にトラブルもありましたし，新聞の3面記事をも大いに賑わして…。それでそれ以後着々整理期に入り，炭鉱の景気も最近良くなりましたのでこのようにあがつてきたわけなんです。それまでは支店の毎期集金員の表彰式に或る一定の%以上を表彰されるのだが，平にはその%以下だけで表彰者が出ない。非常に苦労していて表彰されるものがいないというのは困るということを所長会議等でも問題になり，支店長さんも心配されまして，表彰は各地区毎でやれということになり，支店長さんも平に来られまして，集金員の方々と一緒にいろいろ話をされました。そういうこともありまして，どうしても集金成績をあげなければならないという決意をもつようになり，集金員の士気が非常にあがつたということですね。

司会　最近ですか。

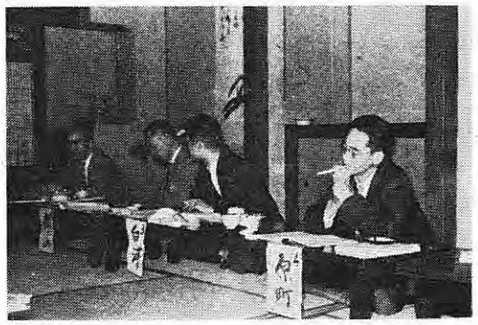
平　先期ですね，大いにあがつたのは。それから徐々に成績があがりました。一方石炭関係の景気も良くなつて来たので……。

支店長　それから散宿所と集金員がバラバラに動いているやつを協力させたということだな。

平　そうです。それから集金成績は98.72%まで現在は向上し，平営業所始まつて以来の成績をあげたわけです。金額99.33%，枚数98.11%です。それから，集金員の回収できない面倒なものは電業所主任が自分で集金をやつた。これは大変効果があつた。

司会　福島支店区域の大部分は平が左右し，平のあがつた理由は炭鉱の景気が良くなつたこと，散宿所と集金員の協力態勢ができたこと，会社の各員が非常に苦労なされたことでしようが，他に何か特別の御苦心談はありませんか。どこかの炭鉱をとつちめたというようなことないですか。

平　一番苦労したのは○○炭鉱です。未収がだいたい



300万円位あつたですね。2カ月たまつて3月目の場合切ると言つたら，向うでは炭鉱主が手を挙げてしまい，山を離すという。それでは困るので，そこの労組が山を引取つて，組合で山を管理するということになつた。その場合非常に困つたのは，組合で管理して金は組合で払うと言う事になつたのですが，それには炭労が入り，県会議員の方々も入つて，山を潰されたんでは500名の労働者が路頭に迷つてしまうようになるから潰さないでくれ，飽迄電気を送つて貰いたいという。このような問題でその当時は毎日新聞紙の3面記事に●●炭鉱何日迄送停さるとか，される予定とか，しよつ中出まして，3ケ月位かゝりました。私の方で最後の手として生産用の電気は送らないで保安用の電気だけ，山を潰さない程度を送ることゝしておりました。

支店長　その間の保安用電気料金は別様式で貰つておつた。

平　労働組合の方でも自分の方の資産を売つたり，ストツクの石炭を売つたり，労働金融金庫から借り入れたりして未収の電気料を一部払つて供給することになつたのですが，同一経営者の山が3つあつたが1つは潰れてしまつた。それに続いて次ぎ次ぎと山も不況になつていつた。使う手は送停より以外にないですね。けれども炭鉱は全停すると湧水のため山が潰れるので，一部は送つておかなければならない。そうすると経営者は安心しているわけです。山が潰れないから苦しむのは勤労者です。こんなわけで回収するのに非常に難かしいですね。たちの悪い山なんかにはボス的な者がいて，営業所にまで高い声でどなり散らす。「貴様ら，月夜の晩ばかりあるんぢやないぞ」(笑)こういう連中もあるんですね。とにかく去年はひどい目に会つたですよ。

司会　段々料金を納めていつたわけですね。

平　潰されるものは潰れる。他のものは何ケ月かの契約してその間どんどん納めて来た……。

支店長　月賦制だな。

平　月賦制もしました。

司会　月賦というのは企業の状態を見て夫々適当に決めたということですね。

平　未収については向うから担保を取つて，何日まで払うという約束をして一応棚上げする。その後使つたものについては全部払つて貰う。

支店長　それから今までは県あたりから支店に申し入れがあると仕方なく送つていた。今度は金を頂かなければ送らないと強力に突張つた。

司会　県に対してね。

平　○○炭鉱の場合は炭労が入りまして，東京から電話かけてよこす，4～5日したら炭労で立替えて払うからと……。

今回は営業所で突張つたのに支店がそれ以上強行方策を打出したのも成功の一要素をなしたものでしよう。今までは営業所に頑張らせて支店に行くと軟かくなる……。

司会　要は腹をぎつしり据えて毅然とした態度で御整理なさつたということですね。

郡山　集金制度の合理化について申上げたい。こういう話を聞いたのですが，或る集金人が集金に行つたら今日はとりこんでいるから又来てくれとことわられた。丁度そこにハワイから来た人がおつて，「何ということだ，使つた電気料をわざわざ集めに来てくれたのに払わないというのはどういうことだ。アメリカでは使つた電気の代金は会社へ持つて行つて払うようになつている。わざわざ来て呉れたのに追返すとはわからない考えだね，日本人は」と言うような事で，需用家が納得して悪かつたということで払つたという事なんです。それで集金はいま委託集金に移していますけど，委託集金は集金料が安いから値上げしてくれといつておるので，現在の段階でもテストとしてそういう仕組の集金制度を考えてモデルを作つてみたらどうかということです。これによつて日本全体がずつと合理化される，日本人の考え方が合理化されると思うのです。

支店長　ハワイの人というのは……。

郡山　お葬式か何かあつてハワイの息子を呼びよせたという関係だろうと思います。

支店長　葬式に参列した全員に聞かして貰いたかつたな。(笑)

司会　地割日割ということをやつておりますね。あの

制度に移行する場合に，ほんの一部でしようが，一寸骨を折つたところもあつたと聞いておりますが，こゝの区域では別段何の差しさわりもなかつたですか。

郡山　投書だとか不平だとか，一方的に決めることは納得行かない，という人もいろいろ出てくるでしよう。これは当方の都合だから穏かに説明して諒解して貰うしかない。

司会　そうしてやつたわけですか。

原町　まだ，今月から始まつたばかりですから。

若松　日割地割について私の方は雪が深い地方で然も全部委託集金なんです。そうしますと500枚から1,000枚の人たちは日割地割実施によつて，従来より相当程度深く時間的に身柄を拘束されることになる。そうするとそこにいろいろな身分保証をもう少しやつてくれとか，健康保険組合を作つてくれとか，病気になつたときの手当を考えてくれという苦情が出る。

そこでこの間営業所長会議のとき支店の営業課長さん，支店長さんにもお願いしたのですが，地割日割に転換した際に，身分保証的な保証給，固定給というのですか，名前はよくわかりませんが，そういうものを若干加味した考え方をして頂きたいと思います。

司会　という希望ですね。

若松　寧ろ近代的な経営では，より多く労力を求めた場合はより多くの報酬をやる，というビジネスチツクな形式にいかないと，今は景気の良さが田舎まで滲透していないから良いですが，景気がもつと良くなると委託集金人なんてばからしい，という事でやらなくなることを心配しておる。

原町　地割日割というけど，これは取越苦労で言つてるんぢやないですかね。やつていくうち，ケース・バイケースでいけば良いだろうと思うね。まあ，やつてみて悪い所があれば直すという事ですね。それから集金の事について一寸申しあげますが，小営業所即ち第二類営業所にも料金係がほしいですね。実際営業課長1人では手がまわらない。営業課という所はやれば幾らでも仕事がある。だから料金係を設けてもう少し料金のスムースに入る方法を考えていかなけりやならない。もう少し商売気のある機構に改革をしたら良いんぢやないですかね。それから営業所から支店をみた場合，本店のことは判らないが——支店にも料金係があつた方が良いんぢやないか。そして，磯部さん，統計係長をやつておられた人で，あなたには悪いけど，あれを営業係に吸収して廃止しても良いぢやないか。そしてその代り料金係をつくる，そうした方が良いと思いますね。

早期料金化

司会　ありがとうございました。次は需用家が工事申込みをしてから料金化するまでの日数についてお伺いしますが，需用の申込みが散宿所に来る，それが営業所の営業係に来て，そこから工務にまわり，また営業にもどつて承認され，材料を必要とするものはその方にまわされ，請負なら請負会社に行つて工事が行われ，竣功検査を経て異動票が出され料金化する，というような段階になつておると思いますが，この申込から料金化される迄の期間が割合長いんぢやないかというような事を，私1昨日岩手支店に行つた時も営業課長さんから聞きましたし，同じような事を宮城支店の営業課長さんがおつしやつておりましたが，まあ工事にもいろいろ種類がありましようが，大体引込線以下の場合で，申込から料金化されるのが5日位，長いのはメーターを伴つたりするのは半月位かゝるじやないかといつておりましたが，こゝの営業所の状態は如何でしようか。

若松　私の方は特に大した事はないですね。大体いまおつしやつたような程度ですね。

平　私の方は早期料金化という事で，負担金工事の促進委員会をつくり，どうしたらこれを短縮出来るかという事で，各電業所から散宿所末端まで調査して遅れる理由を調べさせ，それによつて最短期間でやる方法を研究し実行しておりますが，期間は非常に短かくなつたと思います。それでこれの遅くなる障害は，受付事務取扱手続が複雑で，負担金工事程複雑な系路をたどるものはないですね。それでたまたま担当者が留守しているという事になると他のものではよく判らないので遅れる。担当者1人のような場合には遅れるに決まつてるんですね。然し，私統計表をたまに見るんですが，受付から竣功まで長いのは，工事業者が結局まだ家が出来ないうちに，仕事を他所の業者にとられちや困るというので，まだ土台も出来ないうちから申込をとつて会社に申込むんです。そういうのは設計も出来ないで，その儘になつてずつとある訳で，そういうのが非常に多いんですね。それを受付簿だけでみると大分遅れているように見えるんですね。

司会　それは一般の工事の場合もですか。

平　そうです。

支店長　結局業者が多いという事ですね。これが又競争で不良品を使う一つの原因ともなる。又営業事務にかゝわらず担当者が不在で事が運ばないでは困る，担当事務は担当のプロツク誰に聞いても判るように，事務を取扱つて貰いたいと常々申しておるが，実行しておらんようだね。(笑)

白河　そういう点が支店，本店の監査をうけますと，営業元帳だけをみると，2～3ケ月というのが相当ある。今言つた通り，請負業者は競争ですから，地ならし初めた頃行つて申込をとつて来て，会社の営業元帳に受付けて貰う，そうなればもう他の業者に侵かされない。そうでないと折角とつたのが，そこに他の業者が来て3千円のとこを2千円というような工合で，品質を落してとられて了うおそれがある。だから家を建てる予定だなんていう時期から申込をとつて会社に受付登録して置く。そんなのは2～3カ月たつてからでないとやれない。だから私の方なんかでは，会社の事務手続の為に供給が遅れるなんていうのは，殆んどないと思いますね。

司会　白河さんの方では，散宿所で1～2灯の増設の申込を受けた場合，その書類は営業所へまわすんですか，それとも散宿所だけですか。

白河　営業所に来ます。

司会　それが返つて来る間の時間はかゝりますね。そういうのは散宿所だけで出来ませんか。

白河　増設は引込を伴わなければ散宿所で工事をやり，そして異動票によつて料金化してから営業所に廻つて来ます。

司会　そうすると散宿所にメーターとかボツクスなんかは置いとくんですか。

それから，私は営業のことは全然知りませんが，早期に料金化というのは家の土台も出来ないのに申込を受けたときを起点とするのではなく，内部手続を早くして供給するというのであつて，先程申しあげた5日とか半カ月というのはこういう意味と考えます。

白河　メーターは定数制で置いております。

原町　内部整理は早くなつてきましたが，請負の方の仕事が遅れておるんですね。そこで私の方は前期から相当制限して，お客さんに，受付は直接会社にして下さい，という事でやつて，そして早く熱心に良心的にやつてくれる業者にそれをまわしてやる。そして業者同志競争してやるように仕向けている。そういう法をつかつております。これを前期からやつておりますが，割合早くなつておりますね。

司会　他に御意見やら，何かありませんか。

福島　その他に資材の点がありますね。それは電柱と電線なんですが，電柱は皆さん御存知のように，田んぼなんかの場合は植付の前のような時期，或いは山などでしたら荒天の日より晴天の日を選んでやる，という工合にやつておりますが，大体今の電柱の入荷状況はというと，4～1半期分のものは4月20日頃になりますので，この時期になりますと田植とか雨季等にぶつかつて，結局次の期にもつていくような状況になるんで，これは資金の関係があるかも知れませんが，1カ月繰上げて3月20日頃までに入れて戴けば，その1カ月間で充分仕事が出来る，という事になるんですがね。それから4～3半期も10月20日頃に入りますが，9月20日頃に入れて戴けば，非常に作業の能率が上るんぢやないか。この点は是非配給の方にお願いしたいと思います。現在の儘ぢや資材を遊ばせることになつてもつたいない……。

司会　20～30Kの変圧器なんかはどうです。

福島　いまのところ変圧器の不足という事は聞いておりません。

機動化について

司会　そうですか，そりや結構です。では一つ題目をかえまして，今度は機動化という事に参りたいと思いますが，これには事務の方と技術の方の機械化がありますが，事務の方から参りますと，うちの会社では料金調定にレミントンランドの機械を使つてやつておりますが，――福島支店はまだそこまでいかないそうでございますが，――調定事務の機械化を除いて，一般の事務面でも，まあ同じ仕事を反復していくというのが機械化の対象になりましようが，――何かそういう面でおやりになつた事がございましたならば一つ……。

福島　福島営業所は支店のモデルケースという事になつて，何でも新しい試みはやらされておりますが，技術の方は後に話しますが，事務の機械化をやつているのは，積算電力計のアンペア別の年度別，あの統計をとらなければならない。それから事業報告も出さなければならない。あれを1枚1枚めくつてやつておつた。これをうちの支店の方で計画して，孔を穿けてずつとやるやつです，多孔式カード集計機というんですか，あれを1週間ばかり前からやつてみたんですが，非常に良さそうです。これは出来上つたら発表しようと思つておりましたが，全く良いものですよ。

支店長　最初人事の方で社員の入社の年度別とかあるいは年令別，卒業年度別とかの分類をやるのに3人位で2日位かゝつてやつておつたんだがね。それを何とか改良しろと言つていたんです。そして溝を付けて，下から火バシで持上げてやつてみろといつたら，何かそういうもので出来たものがあるというので，それでやつたら1人で2時間位で支店全部のものが出来る。2千4～5百人位のがね。それで自信を得たもんだから……。

福島　これでやつたら，今迄2人で15日位かゝつたものが2日か3日で出来るようになつた。この次には何が来るやら支店長は突ピな事をやり出すから。(笑)

支店長　そんなにかゝらんだろう。

司会　そうですか。では次に技術関係の方の機械化に移りますが，御存知のように仙台営業所がモデルケースになつてやつておりますが，福島の方は如何ですか。

福島　福島はこの10月からやる予定でしたが，承認が遅れてこれから初まります。その前にこの間本店さんから営業所を対象にしてバイクの配給があつた訳ですが，私の方の支店に16台配給になり，それを営業所に配属したんです。ところが私考えるに，この東北電力の営業所の規模は大から小までありまして，当福島支店の一番小さい白河営業所でさえ全社的にみれば真中位に位している。こういうようなバラバラの営業所形態において，単に営業所という名称だけによつてこれを配給の対象にするという事は考えなければならない事だと思う。例えば私の方の電業所は，大体管内に1万6千位の電柱を持つている。ところが，福島支店以外よその営業所をみますと，矢張り同じ位の3万本位なのがざらにあるんです。そうすれば福島支店などについては，電業所単位にこれを考えて配給すべきであると思う。それから物の考え方ですが，本店さんの方はデカイ方をまず考えて，その後に末端の業務機関を機動化していく，という方針のようであるが，これで果して真のサービスと言われるかどうか……。

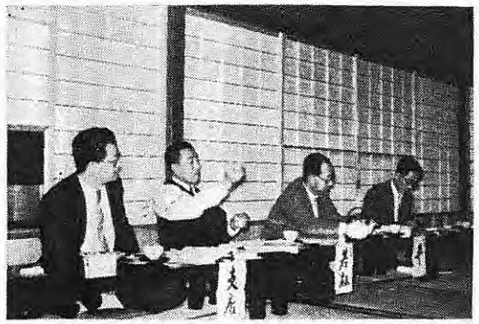
司会　という事は支店管内の営業所間の比較ですか…

支店長　いや，現在は営業所単位に幾ら幾らといつて配給になつているが，そうでなく，寧ろ電業所であるからといつても営業所より大きい規模をもつておるところもあるので，電業所，営業所の名前に捉われず，その需用及び工作物の構成によつて配給して戴きたいという事と，上からでなく，末端の方から機械化するのがサービス向上に役立つという事でしよう。

福島　その通りなんです。名前が営業所だからといつて，たゞ単にそれだけにこだわつて配給されたんぢや困る……。

原町　電業所のない営業所が相当ありますからね。

福島　営業所と名前がつけばバイクが貰える。然し実質的に営業所より大きい需用を受持つておるような所が，単に電業所だという名前のために貰えない。



例えばうちの方の二本松電業所なんていうのは，他の一寸した営業所より大きい。それを営業所単位によこされているからこういう所にはいかない……。

平　電業所にまわるものがなくなるんですね。ロバーなども同様です。

司会　では話を戻しまして，仙台営業所があゝいうふうに機動化のモデル営業所という事でやつておりますが――福島営業所もこれからやる事になる訳ですが―この配電作業の機動化の最終の姿としては，皆様の貴重の体験から考えてどの辺までであれば良いか，というかうな事について一つ……。

郡山　私の方に散宿所が41あるが，そのうち会社からバイクを貰えないのでやむを得ず自分で買つている者が12名ある。これは，本店で散宿所へもくれる事を考えているとか何とかいつている間に，仕方なく，待ちきれなくて自分で買うようになつたものですが，そのバイクも買つた人は会社の自転車は要らなくなる訳ですね。それで自転車の分の修繕費位は出してくれという事を言うんですね。

司会　然しオートバイも使うでしようが，自転車も使うでしよう。

郡山　そりや使うでしよう。近くへ行く時は自転車でいくが，遠くの時は自分のオートバイを使う。まあ，使う事は使うでしようが，実際問題としてはそういう希望です。

司会　燃料はどうしていますか。

郡山　会社からくれと問題にしておるが出ない。みんな自分で買つている。それからオートバイの修繕費は大体会社のは月2,000円前後かゝるんだそうですね。それが個人のオートバイを使つているのは800円前後ですむそうです。そこで自転車の修繕費は月平均180円位かゝるんだそうですが，せめてそれ位の金を個人持の人にくれゝば，ガソリンの問題なんか考えてくれなくとも良いと……。そこまで会社が考えてくれないという諦めをもつている……。

支店長　結局自転車にかける修繕費を，個人でオートバイを持つている者に支給してくれないかということです。

郡山　それで現実にくれなくとも，機動化は末端においては既に動いておる。

司会　個人でオートバイを持つている人はどの位ありますか。

福島　私の方は42ありますけれども，30人位持つております。

若松　私の方は50で半分です。

福島　それからお客さんの方から，散宿所にオートバイがなくて不便でございましようというので，バイク1台寄附するというんです。針道という所ですが。ところが寄附を受けたという事になりますとそれを会社で配属した事になりますから，それぢやお借りしましようという事で，無料でお借りしている。油は個人持ちですがね。

白河　私の方は12散宿所ですが，半分持つている。

原町　私の方は3ケ所です。矢張り世の中がスピード時代になればね。……

福島　だから寄附してくれる，なんていう人は，反面会社をわらつてるんでしようね。

平　私の方は半分で10人位です。

白河　私の方は12の散宿所のうち5ケ所が2人勤務の散宿所ですが，若しバイクを会社で備付ければ，2人の所はその中1人を引揚げても良いぢやないかと考えております。2人勤務の所は1名にする事が出来るんぢやないかと，私いま研究しております。

原町　結局オートバイが散宿所にあつて，初めてサービスの正常化になるんぢやないですか。

郡山　私の方の散宿所の意見は，自転車を一応会社に戻す。そして散宿所のバイク購入資金を無利息で貸して貰いたいというのが共通した希望です。

若松　散宿所に足踏自転車をおくというのは旧式だと

いうことですよ。

郡山　時代が許さないということですね。

支店長　皆が言わないから言うが，機械化するのは営業所よりも散宿所を先にということだよ。

若松　そうです。一番行動半径の大きい，多様の仕事，直接に需用者に接するのは散宿所です。

司会　公衆電話の加入割合はどの位ですか。

郡山　私の考えは町制，今は合併でわからなくなつたが，町制の施かれているところには電話はあるべきものだということで努力して来ましたが，おそらくもとの町制地には大低入つているでしよう。

若松　私の方は1/3位入つておりません。

平　私の方も1/3はついてないですね。

司会　でも傍に電話があつて，会社で幾らかお礼でもして利用できるようになつているでしよう。

平　それはお願いしてやつてますが，夜中なんかは非常に迷惑かける……。

白河　私の方の散宿所は半分位しか入つてない。それで故障のとき一番困る。散宿所員が行つてスキツチ切りの連絡をするのに，夜中に人の家を起して10時，12時頃利用するということは大変ですよ。散宿所には公衆電話をぜひ取付けて頂きたい。

支店長　このまえ支店長会議にも出したが，前に本店の総務から加入数が幾らあるんだという調書を取られた。何の目的で取つたと云つたら，何もないのだがと云う。要するに加入数の少いところは，よその家の電話を借りて事故，その他を申込むことになるのだから，加入者の数の大小に拘らず利用度は大きい。電通の電話がある箇所には全部散宿所に電話をつけるべきである。本店は電話取付を抑えたことはないと言つているが，それでは営業所から申請したものに対して抑えるのは，支店で抑えていたのではないかと思う。

平　予算の関係で抑えたのでしよう。

支店長　散宿所全部予算計上しろと言つてあるから……。

原町　本店の方針としては，電話の寄附にして貰つてはいかんのですか。寄附してくれるという町もあるんです。

支店長　つけて貰つていゝんじやないかな。つけて貰つておいて後で解決するということで……。

原町　本店の方針でやめてくれということを聞いた。

若松　機動化への反対の統制である……。

司会　電話については本店で抑制も何もしておりません。できるだけつけなければならないが，今資金の面もあつて思うように加入出来ない現状でしよう。従つて備品の予算として支店に割当てゝある何百万円かのうちから電話とその他備品と睨み合わせて，できるだけつけていただきたいという方針です。

郡山　それは努力の仕ようなんですよ。

司会　支店からつけますよと言つてくるのは，加入申込書に社長の記名捺印がいるのと，電話債券の引受を要するときは，この予算を本店がもつているからで，支店からの申請を抑えたことはない。予算が多い，少いは別問題であります。福島支店にはたしか200万円くるんでしよう。自動車などは本店の予算から購入するが，備品の予算ですからそこから机や戸棚を買わなければならない。

若松　順序があるというのでしよう。

司会　順序は支店で考える。

郡山　支店の管財に言えば大丈夫だ。

司会　たしか，パタパタつけてくれるでしよう。（笑）

白河　私の方の釜子散宿所でも，電話をつけて戴きたいと思つて，支店に稟議したんですが承認がなかつた。

原町　私の方でも町の歎願書をつけて支店に出したことがあるんですが，それも承認ないですね。

司会　2万4千3百円出せば加入出来ますからどうぞ。

支店長　営業所長会議で問題としないで，雑誌の座談会に出されてはたまらん。（笑）

平　今後つけるという方針ですから，大いに必要なところにつけて貰うようお願いいたします。

散宿所の再編成

司会　だいぶお疲れのようですがもう少し頑張つて下さい。最近どこだつたかに行つて話を聞いたが，たしかこの前の古川営業所の散宿所座談会での話だつたかと思いますが，大きい散宿所の勤務員よりも便利で小さい散宿所の方が勤務員が多いというおかしい状態になつている所があり，これを再検討して散宿所の改廃，整理をしてはどうかという話があつた。尤もなことでありまして，私も配電課長さんからお話をお聞きしてその周到な準備に感じいつている次第ですが，これは当然しなければならんことはたしかです。たゞ，うちの区域は1人勤務の散宿所もあるし，相当大きくて5人位勤務の散宿所もあり，いろいろの状態になつておりますが，配電作業の機動化ということ，サービスの向上，この面から考えまして散宿所というものはどの位の大きさであるべきか，行動半経とかいろいろあるでしようが……。そして勤務員は何名位が最も宜しいかということ，もつとも地勢によつても違いましようが，原則的にそういうことをひとつ考えなければならない。散宿所を受持つておられ，需用家に直接に当られる所長さんには，こうでなければならないという信念にも近いお考えがあると思う。散宿所をどの位の規ぼにしなければならないかをはかる物差しといつても，観光地は違いましようし，非常に隔離されている地域又は積雪量によつても違うでしよう。その他不便さとかいろいろ条件もありましようが，原則的にどの位の大きさで何人位勤務の散宿所が最も都合がいゝか，ということは考え得ると思う。都合いゝというのはサービスの面，作業の面からです。3人ならば活線作業できるが1人ならばできないということもありましようし，休日休暇の問題もありましよう。その辺を考えてひとつ何か御意見がございましたならばお聞かせ願いたい。なければならないと思いますが。

原町　現在散宿所員は全員配電工です。少くとも市制施行区域が人口2～3万の町には机上勤務者を配置しなければならない。机上勤務者を入れて散宿所と電業所の中間的機関を私はぜひほしい時期が来たのではないかと思います。

司会　散宿所はおくのですか。

原町　散宿所に机上関係の者をおく。これによつて需用開発もどんどんやれるのではないか。

司会　あなたのところは1人勤務かどうかわかりませんが，適当に2つ3つをまとめてそこに事務員をおくというのですか。

原町　散宿所の総合をやる。私の方は富岡，浪江あたりが該当すると思う。

司会　あなたの方は1人勤務ですか。

原町　3人位おります。

福島　大きさを問題にしているわけですが，散宿所の仕事の分量と言いましようか，散宿所はこういうことをすべきであるということを明示されなければ，窓口の受付，不点事故修理，線路巡視とか，サービス面とか，いろいろありましようが，そういう散宿所の行うべき仕事がはつきりしていなければ話にならない……。

司会　散宿所の仕事と言つても，いまの散宿所の仕事と同じで，こまかく申しますと，まあ，不点火その他の故障修理，簡易工事，突発事故に伴う工事，需用者工事と請負工事の立会い，配電線の巡視，異動申込などの受付，電気の相談，苦情処理そういうものに従う。次ぎに集金以外の電気料金，付帯料金の収納，送金，電球交換，販売その他のPR一般と現在行つている仕事をやる。機動車としては1散宿所に少くも1台以上のバイクモーターをおくというような前提です。そういう前提のもとに立つたときに，散宿所というものは一体何人位が一番いゝだろうか。私の言うことが無理で今言われてもわからないというならばやめますよ。でも所長さんが全然案がないとは考えられない。御意見があつたらお話しください。

郡山　それは数字から言えば2名乃至5名でしようね。船引の町，こゝは三春と共に田村発展の中心になるところですが，あそこの借家散宿所が建物を返してくれと言われ，土地も会社のものでないので用地交渉に行つた。そしたら三春に対抗するという精神から電業所を作つてくれないかという。電業所なんてけちなこと言わずに本社持つてくるように努力しますから協力願いたいという笑話になりましたが，あそこの散宿所統合の構想だけはでき上つた。これが今後の一つのモデルになると思う。こゝに4散宿所集める。船引が2名散宿所だから結局5名になる。

あそこの周辺の地理的関係からいうと5名ですね。

司会　行動半径はどの位ですか。

郡山　各散宿所から自転車で20分か30分で皆集合できる。

司会　8km ぐらいですね。

原町　事務系の者を1人おかなければならない。

郡山　それで5名おくから事務系の者1人おいてくださいと言つた。支店長ははつきりしないけれども一私の聞いた限りにおいては，支店では——必要であるならば置かなければならないだろうということになつているらしい。

司会　理想郷を考えるとそこに，船引といゝましたか，バイクモーター3台おく。行動半径は2里位で勤務員は4〜5人，電話は勿論ある。そして元の散宿所かその辺には取次所か何かをおいて，そこに公衆電話か直通電話かを備えて連絡を頼むようにするとしたならばどうだろうか。

若松　若松の場合は積雪期でないときはそういう構想もわかりますが，積雪の場合は臨時散宿所というような，駐在所というようなものを作らなければならないから，私最近考えているのは，若松の場合の統合は，作業を統合して活線作業も上から統合して行く。作業時間も能率的にやつて，或る時間は散宿所に帰つて散宿所本来の業務をやるという時間がなければならない。そういう点を勘案して機動的に集合して作業やるのは宜しいが，冬の場合は散宿所の看板をはずしてしまうのは困るんです。看板をはずさず機動的運営をやつて行かなければならない。そういう点ではどうしても散宿所に1台ずつバイク・モーターを配置して貰わなければ融通無碍な運営ができない。そこらの結論は出ているんですが……。

福島　皆さんの御話はどうも片面しか見ていないような気がする。うちわのことだけでなく，外のお客さんのサービスということを考えた場合は，もつと慎重にやらなければならないのではないか。例えば6〜7 km の行動範囲であるとする……。

司会　たまたま船引はですよ。

福島　船引のケースをとつてみると，お客さんは7〜8 kmのところに出て来なければならない。電話が使えればいゝが，使えないという場合は，お客さんにそれだけ足を運ばせることを考えなければならない。福島は6 km の線で散宿所はまとまるのですが，それよりまた5〜6km先のお客さんがいる。連絡所もこしらえるがそこまで出てくるのは容易でない。今まで我々はサービス低下ということも考え，サービスカーということも考えましたが……。

司会　もとの散宿所区域に申込所を置かなければならないですね。

郡山　船引の建設の場合は土地は63坪，それも借地です。だからそこはあくまでも事務所でもつてゆき，中妻という散宿所，これを船引に統合し，中妻には御用承り所のようなものをおてい，そこで奥様が受付けるという形になる。

司会　少くとも元の散宿所のあるところ位には連絡所をおくという場合の最適の大きさは……。

福島　そんならだいぶ違います。前の話をやめますよ。

司会　必ずそうですよ。以前の状態よりはサービスの向上を考えなければならないのは当然のことです。

若松　会社の事務をやつた経験のある女性を嫁に貰つた場合は奥様受付けには満点です。(笑)

白河　私の方でも散宿所の座談会をやつたのですが，今の人員の問題もありますが，散宿所でサービスを完全にやろうとすれば，事務員がいなければならない。朝から晩まで1日散宿所員がうちにいたのでは仕事にならん。家を守つているのは奥さんですね。奥さんを今の会社の規程から云うと，月200円の手当で拘束している。我々が時々散宿所に用あつたときその奥さんがおらないと，何で留守していると叱る。怒るというと語弊がありますが，お客さんが来たときいないとは何事だと云うのです。しかし200円のことを考えるとそう言う方が無理であるとも思うんですね。30日間留守をしないで親爺の代りしろということは無理である。親爺は疲れてくるから日報書くのも容易じやないらしい。そういう点でこれから事務員を置けばサービス上，非常に理想的である。置かないとすれば奥さんの手当をもう少し引上げるべきではないかという考えがするんです。先程散宿所を1名にすると云いましたが，現在私の方

の運営方針でさせているんです。電柱に自動車をぶつつけられて折つちよられたというと営業所から行つてやる。大きい仕事は散宿所でできないのだから，散宿所はだいたいそういうサービスの面を別な方法で解決することができれば1人でもいゝじやないか，そして機動力を発揮して全部営業所或いは電業所からとび出させる方法がいゝのではないかと思います。

若松　会津の特性から機動力で頼みたいことがあるんですが……。

司会　頼みは支店長さんへ。(笑)

若松　重役だから支店長に頼むことになるんですが，本店からお出でになつた方にも……。

司会　編集委員ですよ，私は。(笑)

若松　会津みたいに山を沢山担当しているところは，配給車というか，三輪車ですね，これが山坂を登れないことができてくる。あの三輪車をフルに電業所では使つておりますが，更に営業所と電業所との間の資材の配給，人員の輸送ということをやるためには，あの大きさでいゝからあれより大きいと山道に困る——，小さい馬力でなくて融通つくように50馬力以上の三輪車が欲しいという要望が現場から非常に出ておる。

司会　山岳地帯の特性ですね。

若松　山岳地帯，道の悪いところ，石ころ道をとばすために。今の三輪車あのまゝおいて頂いて更に50馬力の程度の頑丈な小型三輪車が欲しいということです。

司会　船引の所員は5人と郡山の所長さんが言つたが，中に主任という人が自然的に出ますね。主任という名称を与えなくとも差支えないですか。

郡山　つけるとなると組合の方から意見が出てくるが，実態がそのようになれば主任名称はなくともいい。

原町　電業所と散宿所の中間機関を作らなければならない時期が来たのですね。

平　私の方も特殊の場合を除いて2人勤務以上にして行きたい。2人勤務以上の人員で受持区域決めていつた方がよかろうかと思う。それから先程話あつたように市制地のような，私の方で言えば常磐市，湯本温泉のあるところですが，現在2人ですけれども，あゝいうところには事務員1名おいて配電工を 3〜4 人おいて，電業所と散宿所の中間位の散宿所にしたい。そういう希望をもつて私は支店に書類を出して検討して貰つている。

原町　散宿所の名称ですがね，山間僻地はいざ知らず都市の散宿所の名前を何か考えて貰いたい。電力の店とか，サービス・ステーションとか出張所とか，そういう名前に変えたらと思う。実際にマツチしないではないですか。

郡山　散宿所という名前は知れわたつているからよろしい。サービス店といつたつて電力の店もあるしそうでない店もあるし散宿所という名前の方がよろしいじやないか。

原町　山は散宿所でいゝけれども……。聞き慣れているから何でもないけれども，一般社会の人はおかしなふうに思いますね。

事務の簡素化

司会　次に事務の簡素化，無駄排除，こういう点何でも結構ですからひとつ。

郡山　無駄排除のことを云いますと，東京電力の猪苗代に行くと，東京電力は御承知のように合理化やつてますでしよう。それで猪苗代に行くとビラがはつてあつて，経営の合理化は何だとか，書類を少くすることゝか3つのスローガンがあるんですね。ところが，うちの場合は社長の年頭の辞あたりをつぶさに分析すれば，需用開発とか何とかわかるんでしようが，あゝいうことでなくて，わかりやすいことを支店ならば支店単位でいゝから本店としてこしらえて頂けたらいゝ。そうすると頭がその方に向いてくるから無駄が排除されるようになる。

司会　営業所におつて支店からとられる報告物で煩わしいようなことはないですか。

郡山　それはそのたび毎に改善に努力してますから。こゝの支店長はなかなか関心を持つておられるようですから。

司会　古川で散宿所から営業所に対する希望はあつた

のですが，営業所から支店に対するものは別段ないですか。

平　ないわけではない。(笑)

支店長　大いにあるでしょう。

司会　簡単に言つてみて下さいませんか。どうも支店長がおるとうまくない。

支店長　便所にゆつくり行つてくるから，大いにやつて下さい。

平　事務の簡素化で報告書類はできるだけ少くして行くということですね。これは研究して頂きたい。そのためには本店から支店に報告を取らない，支店も営業所からとらない。こういうものは段々天下り式になつて行くから，それを徹底的にやつて貰いたい。いつも掛声ばかりでなかなか徹底しないから。

福島　第一本店での横の連絡がとれてないですね。

司会　定例の報告書類はきまつておりますから報告ものの上ではそんなことはない。わたしは支店と営業所のことを聞いているのですよ。

福島　それ以外にあるんでしょう。

白河　支店で同じようなことを横の連絡が悪いために別に照会する場合がある。

司会　本店は登録された以外のことはやつておりません。その点徹底してなかなか立派なものです。

福島　予算やなんかとるために，本店に出す予算資料の基礎として支店でするんでしょう。

原町　支店の工務関係ですね。あれがどうも連絡が旨くない。私に云わせればあそこに事務掛りをおいて予算一切やる，願書とか許認可をやる。そういう事務係が一つあれば，変電は変電で技術屋さんが作り，発電は発電で許認可作る必要がないじやないか。工務関係の予算も全部そこで把握するというように……。

福島　工務に願書出し専門の人がいるんですよ。

原町　事務係にすればもつとよくなるのではないかと思う。

平　営業関係でだいぶ20種目位あつたはずですね。こういうことは，簡素化できないかということで，やつと大体半分位は解決ついたようですが，なかなか，いろいろ営業所から見れば沢山あるんですよ。こういうものもいるまい，あゝいうものもいるまいというもので，支店として考えるとどうしても必要だというのがあるんで，上の方から考えて来て貰つた方がいゝじやないかと思います。

営業所・電業所の機構

司会　会社の営業所等の規模を考えた場合，福島支店は大営業所になつている。外の各店は大体小営業所になつている。また電業所をみても，例えば宮城支店には鳴子電業所，岩沼電業所というのがあるんですが，あれは実さいは散宿所にすぎないんです。ところが福島支店では，営業所の下に電業所があり，それも非常に大きくて，そこで調定までしている。その電業所の下には散宿所があるということになつているが，これはどちらがいゝというような事は云えないかもしれないが，大電業所を包含する大営業所というものは，業務運営上，実際どんなものか，外の支店と比較して見ればわかるのでしようが，これについて御意見がありましたらひとつ……。私の話が無理でよくお分りにならないかも知れませんが。

郡山　本店で考えることでして，福島支店の電業所の性格というものを認識して，これに対応したような配置を考えて貰うということですね。

原町　電業所には工務主任，営業主任，事務主任をおいて貰うと合理的になるんじやないですかね。

福島　中央集権的にするか分散的にするかということですね。

司会　小林さんは各支店を見られているからわかつているでしよう。

若松　私の方の営業所は他の営業所と違つて，電力の生産面も送電面も大きな変電面も，あげて電力事務所というように，生産，配給の大筋は電力事務所でやつており，また一部は東京電力，電発に支配され，供給面だけは私の方で山の中までもつている。非常に広い部面なのでこれをもう少し能率をあげてサービス向上するためには，営業所と電業所７つございますが，これを幾つかの営業所に分割すべきではないかというひそかなる野望を抱いて研究してみますと，困つたことには山の水は一辺会津若松に集まつて流れて行くのです。だから文化の中心，経済の中心であり，あそこに集権的にいろいろなことが集まるようにできているんですね。それで分割論に原則としては賛成だが，地形の上，従来の歴史と経済の上から見ると非常に難かしいというので，会津の場合の分割統合は軽はずみにはできないということになります。山に雪があればバスも何も通らない，山のあつち側とこつち側は。例えば駒止峠の東側と西側を同じ営業所とか散宿所にしたところで実際何もできないということですね。そういう非常に難かしい障害がございますから，電力事務所の関係もございますし，会津若松の場合は営業所，電業所の統廃合，分割ということは極めて微妙で慎重を要します。

司会　はい，わかりました。そうすると所長さん方の結論は，結局外の支店のことは別として，現在通りの方法でいゝのだ。しかし電業所が非常に大きく他の営業所以上のところもあるから，そこをよく認識して会社業務の運営をしてくれということですね。

福島　そうですね。結局昔と違つたところは，車の便がよくなつているので，隅々まで見られるということです。昔は分散がよかつた。

若松　私の方は市が喜多方と若松だけですが，一番市の多い地域で一番お困りなのは平さんだと思うのですが，どういうもんでしようかね。私の方は喜多方に電業所あるからいゝですが。

平　平でいうと常磐市，内郷市は散宿所になつてますが，市制地については，電業所と散宿所の中間的大散宿所をおいてゆきたいと考えたけれども，実際は電業所でよかろうと思います。

郡山　鳴子電業所の例もあるから１号とか２号とかとしたら……。

安　全　作　業

司会　それから話題をまた変えまして，とくに近頃作業の安全という事がやかましく言われており，これについての御意見をお伺いしたいと思うのですが，結論からお聞きしますと，特にこういうことを考えたら作業がもつと安全になるんではないか，というようなことでも何かございませんか。この前，上月先生という安全関係の権威者ですが，この方の講演を速記したものを読ましていただいたのですが，作業の安全化というのは災害を防ぐ事が即ち安全でなくて，安心して仕事に没頭出来るような環境を作りあげてゆくことが狙いである。何年間事故を起こさなくとも，ハラハラするようなことをやつておつたんでは，作業が安全化したとは言えないのであつて，寧ろ若干不注意のことがあつても――事故を起さずに安心して仕事ができるようなことに，段々おし拡げて行くことが作業の安全化だというお話でした。そうすれば，究極においては設備を改善し，鼻歌まじりまでゆかなくとも悠々とやつても災害が起らないというような所まで考えればいゝでしようが，それには莫大な金がかゝる。それ以外に例えばこういうことをしたならば作業の安全化ということになるのではないかということを，皆さんが長い間お仕事をなさつているうちにお気付きになり，お考えになつたということがございましたならばおきかせ下さい。

郡山　最近請負業者の事故が非常に多い。私の方の自慢話をするわけではありませんが，業者が割合によその地区よりも少く，話合いできる程度の業者の数なんですが，業者と会社と合わせて社員教育と同時に電気工事の技術講習会というものを１カ月半にわたつてやつたのです。そういうことが直接的ではないけれど１年に１辺ずつやると非常に効果がある。まあ自負しているわけです。私の方は今後も継続しようという考えです。それから T.W.I の講習生を１人おく，これは支店で考えられたわけですが，これは総務関係や労務関係の人でなくて，選ぶにはぜひとも技術員から選んで技術面の安全化にその人を備えつける。もう一つは電業所の主婦，散宿所の主婦を通しての一般公衆への啓蒙とこの３つ位がお話申上げることです。

司会　有難うございました。では，小林さん。

福島　安全作業をやるにはどうしても段取りをよくすることだと思う。段取りをやる人は誰かと云いますと責任ある人でなければならない。ところがうちの電工さんには電工長とか班長とかいう制度がないわけです。いま，そういうことは実際やつてますが，

責任ある段取りということになると職別上それをはつきりして，はつきりした段取りのもとに統制ある仕事を現場に行つてやる。こういうことが事故をなくするもとではないかと考えられるので，現場にはつきりした職制をしいたらどうかと思いますね。

原町　私はやつぱりヒューマンリレーション，人間関係管理といゝますか，あれを重要視しまして，作業者の安定感とか立体感，満足感を高める事が大切だと思いますね。そして労働能率を向上さすこと……。

平　私，技術面から考えて，結局事故のうちで多いのは高い所に昇つてやる仕事に多い。それで不点火事故修理の場合，一番多いのはケツチのヒューズの入替，これをやるには柱に昇つて胴綱をかけて入替えなければならない。現在の設備ではそうなつておりますが，それを柱に昇らないで，ヒューズの入替が出来るように——金もかゝる事ですが——していけば，夜間不点直しにいつても非常に安全である。それで平で5～6カ所試験的にそういう設備をして研究してやつております。

司会　その結果はどうです。

平　非常に良いんです。もう一つは，活線作業の工具が最近いろいろ出来て，自由自在に操作出来るようになつてきておりますが，あのようなもので碍子型スイツチの差込を抜く場合，電柱に昇らないで下からすつと抜いて，ヒューズの入替をやりそれを地上で差込むという事を一つの工具として考えれば高い所に昇る必要が少なくなる。これもやつてみるつもりです。

司会　地上におつてやる訳ですね。

平　そうです。そうすることによつて墜落事故を防げるんぢやないか。もう一つ平で考いているのは，塩害による海岸の碍子の破損が多い，それで碍子の点検をするのに一々昇柱して点検しなければならない。そういう場合，柱に昇らないで地上で点検する方法はないものか，今後6千Vになると益々碍子の破損率が多くなると思うが，それについても何か不良碍子検出のうまい方法はないものか，まだ私等そこまでの良い方法は考えつかないでいるんですが，小名浜でテスターを使つてやつてみて効果のあつた場合もあるんですが，まだ自信を持つ迄にはいつていないが，そういう事を大いに考える必要があると思いますね。

原町　私の方で今年の夏，安全確認運動をして，総て作業する場合には確認をすることゝした。作業態度の安全確認，休電作業時の安全確認，活線作業時における安全確認，操作命令の安全確認という事をやつた。それから毎月災害防止目標というものを決めて，10月は胴綱の使用励行，共同作業時における連絡の励行，職場の整理整頓という事をやつております。それから笑話になりますが，毎年旧の正月に，発電所，変電所，電業所，営業所から1名ずつを出して，成田山のお札を貰つてくる。(笑)あれは私，1回きりで良いんだと思つたら，あのお札は効き目が1年きりしかないんなそうで，(笑)毎年やつておりますよ。

電気事故の防止

司会　そうですか。ではまた話題を変えまして，電業新報主催で電気事故防止対策の座談会を度々やつておりまして最近その速記録を読ましていただきました。まあ，皆様もお読みになつたことゝ存じますが。電気事故といつてもいろいろありましようが，こゝでの電気事故は需用場所における電気事故について話をいたします。これについてうちの配電課長さんが明快な御意見を発表されておられるし，また沢山の人のお話がのつております。結局，街で売つている電気器具には不良品が多い。それからもう一つは電気工事人取締規則がなくなつてから，誰が工事をやつても良いようになつた。更にもう一つ，設備したものゝ使用が合理的でないというような事も述べられております。言葉の使い方がまずいかも知れませんからそれはお許しをいただくことゝして，結局電気工事人取締規則も復活しておりませんし，不良電気器具も街に氾濫しているような状態になつておりますが，こういうような状況の上にたつて，何とか需用場所における電気事故の減少とか撲滅というような事についてお考えになつている事がありましたならば，一つお話し願いたいと思いますが。

福島　これはうちの不点事故がどういうふうになつているか，一寸統計を調べてみたんですが，この9月分を内線と外線に分けてこれをみますと外線が11～2％，内線が83％となつており，これをみてびつくりしたんです。これぢやいくら配電線の方を良く直しても不点事故は増えるばつかりだ。それで一体こゝにはどんな原因があるのかと思つてみますと，いろいろの種目がありますが，最も関連性の多いのはコード切れで，悪い品物を使つておる。何故ならば，これは他の事にも言えるんですが，こういうもので値段を叩いていかなければ他の業者に仕事をとられて終う。このように非常に猛烈な業者間の競争がある。その為に悪い材料を使うので，内線事故が増えて来ておる訳です。これは鈴木さんがおつしやる通り不良品を使つているためなんで，それで工務課長とも相談したんですが，せめて本店あたりで考えて戴けるならば，コードなんかは全部会社で業者に売りつけるか，或いは業者の持つているコードの見本を毎月出させ，そして検収の際その見本を持つて行つて調べてみて，それと違つたものについては何らかの対策を講ずるというような事でも定めておけば，この内線の不点事故，不良器具の防止は出来るんぢやないかと，こういう事を考えております。

司会　そういう方法もありますね。あと何かありませんか。

支店長　それにつれて，内線工事規程というものを本店で制定しなければならない。この規程がないから片方の営業所では竣功検査がやかましい。所が一方が簡単だというような事になつて，困る面が出てくるんですね。

平　最近内線事故が多くなつたという事の一つの原因は，小学校，中学校，高等学校で工作の時間にいろいろ電気の実験をやるんですね。それで教えちやいかんという事ぢやないんですが，生徒が教えて貰うと家に行つて実験をする。市販の器具を買つて来ていじりまわす。それでヒューズをとばすとか，ソケツトを壊すというような事故が大分多くなつている。それで私の方としても，1生徒に学校で教えることもよいが，家庭において危ない事はしないように注意して貰いたい」という事を学校当局にも連絡して，その方面から防止するよう心掛けております。この傾向は非常に多くなつておりますね。

最後に

司会　では大分いろいろ建設的な御意見を承わりまして大変有難うございました。最後にどのような事についてゞも，またどんな小さい事でも結構でございますから，何か御意見なりありましたらお話し願いたいと思います。

福島　建設的な意見でなくて恐れ入りますが，本席を拝借致しまして一寸御要望を致したいと存じます。福島営業所は現在勤務員255名の大人数で，これが広くもない支店建物内に間借り住いの現状で，親子が同一家屋に住うのは日本古来の美風でありますが，家屋が狭隘で需用家サービスの問題及び従業員の健康上もよろしくないので，是非早急に営業所家屋を新築して戴きたいと思いますので，この機会に本店にお願い申しあげます。

郡山　私，これから申しあげる問題は，支店長には良く諒解して戴いている問題ですが，社員が停年で辞めたり病気で長く休んだりしておるんですが，それの補充については現場で置き放しにされている状態なんです。ところが雑給の予算というのは月5万円来るんですが，これでは発変電所の草刈りなんかすると，常傭を雇う分は何時も足りなくなる。それで経済的に物を考える場合，社員が1時間100円で，8時間働けば800円かゝる。それで注釈を一つ加えますと，経営の要点として，豊富，低廉，良質の労働力を買うという事が一つあると思う。そういう事から言つて，社員の800円で女学校卒業した美しい女の人を200円で雇うと4人雇える。こういうことも営業所で少し運用出来るように簡単にお任せ願えれば，停年で辞めたといつても支店まで煩わさず，それも15日，15日の切替えでゝも結構ですが，こういう事を一つ本店で考えて戴きたいと思いますね。

又社宅の問題ですが，我々働いておつても，家の問題が解決しなかつたならば，仕事も何も手につかない，というと言い過ぎですが，実際身が入らない

というのが自然の人情だと思う。そうであれば，何はとも角としても，簡単に転勤出来るように社宅の問題を考えておかなければならない。それでこの間600坪の土地の売物があつたので，本店へ出しましたが却下されました。これは私の構想では，そこに人員を多く収容出来るアパートを作ろうという考えで出したんだけれども，我々の熱意も足りなかつたけれども，本店の理解と一致しないため，金がないから駄目だという事でお仕舞になつた。郡山営業所の移転問題等を考えると，そういうところが基本的に何か決まつていないと結局不経済になる。そういう点を一つ，意見というか希望と申しますか……。

平　只今大いに需用開拓が叫ばれており，どこの商店でもみな宣伝車を持つている。本店にも宣伝車があるようですが，この宣伝車を支店，営業所にも1台配置する位まで考えて戴けないか，本店の宣伝カーも一度きりしか見た事がないんですが，それで小型でも結構ですから，各営業所に1台位ずつ配置したら大いに効果があるんぢやないかと思いますが。

支店長　その宣伝カーに電気器具をのせて，街に行つて実演してみせようつていうんですよ。それも必要だが，それより前に修繕用のランドロバーが欲しいんぢやないのかい。(笑)

平　それもそうですが，宣伝の方にランドロバーを使うと，現在のところでは修理の方の自動車に困るというような状態なんですよ。

原町　支店に1台あれば何とかね……。

支店長　ヘリコプター買うよりそつちの方を先に……。(笑) 磯部君，どうなんだい。(笑)

若松　私は今度の洪水でヘリコプターに恩誼を感じてますので悪口は言えないんです。洪水で人も行けない，電話もとまる，鉄道もとまる，道も駄目になつたというとき，ヘリコプターで食料の運搬，事故復旧の工事計画をたてたんで，特に恩恵を受けておりますので，当分悪口は言えない。(笑) たゞ私，最近のサービスカーの全国的な状況を東京の人に聞いたんですが，今東京都では雑音防止条令とかいうのが出来て，ガアガアスピーカーでどなる事は出来なくなつたんだそうですね。それで各メーカーが全部地方に流れて来て，流しをかけているんだそうです。それで将来は当然そういうふうにやる宣伝というものは時代遅れになつてくると思うので，いま支店長さんがおつしやるように，実際に洗濯器で洗濯してみせたり電熱器で湯を沸かしてみせたり，パンを焼いたりするような宣伝カーが今後必要になつてくると思いますね。本店のやつているあの堅苦しい車は時代遅れで極めて不経済ですね。

司会　平の神山さんは来て呉れといつておりますよ。

福島　私も若松と同じ意見ですね。

白河　今後の需用開発には，P・R映画を会社で作つておるが，あれは今のところは社員対象の映画なんですね。そうでなくさつきお話あつた不良器具使用防止とか事故防止，或いは電力の使い方を映した映画をもつとやるべきでしよう。

司会　この前の電気事故防止座談会では映画とはいつてないが大分そのような論議が強かつたように記憶しています。

白河　いま作つている会社の映画も，各農業協同組合にフイルムを貸してやるとか，こつちで行つてやるとかすれば良いんだが，金の面で出来ないが，これもそういう方向にまでいかなくちや……。

原町　いろんな機械の話が出ましたが，如何に立派な機械でも，それを使うのが人間なんで，人間に働こうとする気持がなかつたら駄目だと思いますね。

支店長　その意欲を高めるにはどうすればよいんだ，という事を申し出てもよいんぢやないか。(笑)

原町　それを締くゝりとして支店長さんから。(笑)

司会　ではどうも，3時間ちよつとにわたります長い時間をいろいろと有益なお話でうめて下さいまして本当に有難うございました。これでこの座談会を終ることに致します。なお，この座談会でのいろいろの御要望がありましたが，支店長さんによくお願いいたします。では皆様の御健康を祈つて，どうも有難うございます。

支店長　いや，遠いところ態々おいで下さいましてこちらこそ御礼を申しあげます。

(速記江川)

散宿所の皆さんへ



前号掲載の座談会し散宿所の実状をきくて，宮城支店古川営業所管内の散宿所の方々から，その実状をお伺いした訳であるが，その際出席の皆さんからいろいろ希望事項やら質問事項が出ました。この内容をみますと，ひとり古川営業所管内の散宿所の問題ばかりでなく，他の散宿所の方々にも共通した点が少くありません。そこで編集子が皆さんに代つて，これらの問題について，所管個所においては，どのように考えているかをきいてみることにした。その結果，座談会で問題となつた点について，各主管部課においては，概略次のような意向のように見受けられたので，お知らせすることゝした。なお，これはあくまで編集子が感じたことであることをお断りしておきます。

(イ)　散宿所の改廃統合と機動化について

改廃統合及び機動化とも，現在主管課において鋭意研究中というのが現状であり，いろいろの案なども用意して計画作成に努力している様子であり，近々必ずや具体化の段階に入ることゝ考えられる。

(ロ)　公衆電話の設置について

各支店に配分する予算の適切な運用によつて，一日も早く未設置箇所の解消を期待するというのが主管課の意向のようであるが，これと同時に借用電話の使用についても使いやすいように適切な方法をたてるべきだという考えのように見受けられた。

(ハ)　スキーの備付けについて

備品予算の担当課においては，各店配分予算運用の合理化を期待する意向のようであり，又本店内各関係箇所においても，備付けについては積極的に熱意を示しているので，近い将来実現することゝ考えられる。

(ニ)　安全作業について

安全作業ということは直接作業員の生命に関係してくることであり，今後共これが啓蒙教育に努力し，又シヨート，アース器具の備付け，ネオン検電器の改良等を行い，物心両面より災害の絶滅を期するため努力するとの強い意向を示している。又作業衣の問題は品質規格の向上に努力し，適正な号数も既に決定し，運用の面で作業衣取扱者を通じての皆さんの協力を希望しているというのが実状のようであり，ゴム手袋についてはいろいろの状況を考えて関係箇所と連絡の上熱意をもつて検討しているようであつた。

(編集係)

工業家と技術家のための経済学 (II)



抜山平一

〔4〕 町の経済学者

大抵の人は，自分は経済学は大体心得ていると思つている。そして，その基礎観念のうえに経済学的の議論をする。いな議論ばかりでなく一家の経済を指導し，会社の経済を指導し，また国家の経済を批評する。すなわち，町の経済学者は非常に多い。そして大抵の男子は，自分の収入を少しでも増やそうと努力する。また大抵の主婦は，支出をできるだけ減らそうとする。そして食物等を非常に険約するかと思うと，案外着物等に大金を惜しまない。

町の経済学者がどうして多いのだろうか。その一つの原因は，〔1〕節で述べたように誰でも経済学的経験を豊富に持つているからである。第二は専門家の意見も色々に分れ，積極政策がよいという専門家もあれば消極政策がよいという専門家もあるように，専門家といえども意見が一致しないために専門家を信頼する気持が薄いことである。第三は，ある経済政策を行つた結果と，他の経済政策を行つた結果とを比較することができないためである。たとえば，ある1ケ年間消極政策を行つたとすると，その1ケ年はすでに経過しているから同じ時期に積極政策を行つてみるわけにはゆかない。つぎの1ケ年間に積極政策を行つてみるのでは，すでに社会の状勢が変化している。このようなことを専門家はコントロールがないといつている。

要するに社会は生きものなのであつて，経済現象は生きている社会の現象であるということに帰因するのである。同じ例が医学にもある。医学も生きものを扱つているから，友達に何か自分の病気を訴えてみると，大抵はもつとも有効な療法を教えてくれる。大学病院の前にはヘビだとかトカゲだとか草根木皮を売る店があるが，その意味は大学病院で直らない場合にはこの薬をお買いなさいということであろう。ヘビ，トカゲで直らない場合には加持祈禱がある。これらの手段が病気に効くか効かないか分らないが，前に述べたコントロールがないために詐欺になることは決してない。このようにして，町の医学者はいつの世でも数限りがない。開業の免許を持つている専門の医者の療法でも人によつて全く違うことがあつて，そのために専門家不信の考えが誰の心にも必らずあるのである。また病気の体験も，また他人の病気の経験も，われわれは豊富に持つているからその結果を意識するとはなしに総合して統計し，われわれ自身町の医学者になります。そして，自分の体は自分が一番よく知つているという一面の理を全体的に信じ，自分の病気の治療を指導し，家族の病気を指導し，ときには知人友人の病気の治療まで指導するようになるのである。

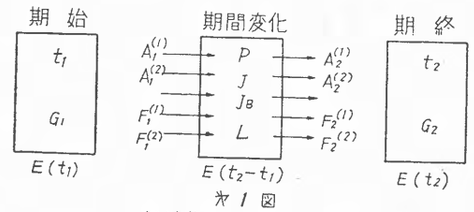
町の経済学者や町の医学者の判断が，専門学者の判断といずれが優れているか劣つているかということは，一つ一つの場合については分らないのである。すなわち，いずれが優れているかということについて必然的の理由はないのである。このことは人生のもつとも深刻な一面であつて，われわれは専門家の判断の方が確率統計的に優れていると信ずるというより他はないのである。ドイツの有名な哲学者ヘーゲルの言葉に「偶然的なるものは一つの理由を持つ。けだし，それは偶然的であるから。全く同様に偶然的なるものはまた何等の理由を持たぬ。けだし，それは偶然的であるから。偶然的なるものは必然的である。必然性はみづからをば偶然性として規定する。そして他面においてかかる偶然性はむしろ絶対的必然性である。（有沢広己，統計26頁参照）」私は過去15年間位確率統計の問題と取組んできたし，また統計物理等も少しはのぞいているので自然にこのように考えているが，何人かの友人にこの説明を求めたところ，弁証法的にこれを説明してくれたのは阪大工学部青柳教授だけであつた。多くの読者は，恐らくこれは哲学者のたわ言ぐらいに思われるであろう。

しかしながら，分つても分らなくてもここでこのことを書かなければならないのである。それは，私が本文を書くのは町の経済学者をつくるために書くのではない。全く反対に，真実の経済学を志す人のために書くのである。応用経済学とか，工業経済学とかいうようなものを書くつもりもない。もつと普遍的な経済学を書くつもりである。経済学には経済学の専門家があるではないかという反論があると思う。しかし，工業家，技術家はすでに数学，自然科学等に相当な教養があり，また経済現象についても大きな体験があるので，これに適当な経済学の要素を融合すれば専門の経済学者に対抗するのではなく，これと協力して経済学の劃紀的進歩を促うことができると思うからである。そしてこの経済学的観念のもとに判断することは単に電力事業を経営し，一家の経済を支配し，国家の経済自立をはかるということにとどまらず，世界人類の福祉の上にも大きい影響があると思う。経済学者は専門家ではあるけれども，数学，自然科学の教養が極めてとぼしいため，われわれの協力を必要とするのである。

〔5〕 経済活動による資産の変化

本節は少し堅苦しくなるが，上述のように最近の経済学を述べるのであるから致し方がないとしていただかなければならない。無論できるだけやさしく書くけれども，式がでることを覚悟してほしい。技術家にとつては式は何でもないだろうが，一般の工業家にとつてはあるいは式が苦手だといつてすぐに捨てじまう恐れがないとはいえない。しかし，大体中学の代数をやつた人には容易に分る範囲のことである。

まず経済現象を考えるのに経済活動の単位，たとえば国家とか会社とか個人とかいう経済単位を考えるのが便利である。これを経済体ということにする。ある時刻における経済体の経済的状態は，第一次的にはその保有する資産価値で表わされる。第1図において，



第1図
経済期間における経済変化

$E(t_1)$ はある経済体の時刻 t_1 における経済的状態を現わすものであつて，その保有する資産価値を G_1 とし，$E(t_2)$ は同じ経済体が一経済期間だけ経過した後の経済的状態を現すものであつて，その保有する資産価値を G_2 とする。第二次的状態は，一経済期間 $t_2 - t_1$ の時間の間におこる経済的変化であつて，第1図において $E(t_2-t_1)$ として示してある。この変化は一般的に云えば，原料，半製品，製品等の資材，電力，石油，石炭等のエネルギー，科学，技術等の知的資本，労働，知的勤労等のサービスを受入れ，経済体の内部の生産活動によつてその資産を消化し変化させて外部へ受渡すのである。

経済活動に伴う資産の変化

ある経済期間において，ある経済体の経済活動が資産に如何なる変化を与えたかを考える。この期間内に受入れたものの価値を A_1，受渡したものの価値を A_2 とする。これらのものは色々の種類があるから

$$\left.\begin{aligned} A_1 &= A_1^{(1)} + A_1^{(2)} + \cdots\cdots + A_1^{(n)} \\ A_2 &= A_2^{(1)} + A_2^{(2)} + \cdots\cdots + A_2^{(m)} \end{aligned}\right\} \quad (1)$$

と書かれる。これは等号だとか加法記号があるから一

つの代数式であるが，この式は色々の約束で色々の意味に理解することができる。たとえば $A_1^{(1)}$ は受入れた鉄材で目方は50トンであり，$A_1^{(2)}$ は受入れた机であつて数量は30個であつた場合に，$A_1^{(1)}+A_1^{(2)}$ は鉄50トンと机30個を表わすという解釈もできる。このような使い方は化学方程式における使い方に似ている。たとえば

$$2H_2+O_2=2H_2O \cdots\cdots\cdots\cdots\cdots\cdots\cdots\cdots(2)$$

という式で，H_2 は水素の一分子量を表わし，O_2 は酸素の一分子量を表わし，H_2O は水の一分子量を表わす。すなわちこの式で水素の二分子量と酸素の一分子量とが化合すれば水の二分子量ができるということを表わしているが，書く文字は違つた物質の違つた質量を表示している。このような約束ができていればこの式の意味は明瞭であるが，これを単に代数式と考えたとすると，数学はどこまでも数を取扱うのであるから上式の2倍の $2H_2$ を4グラムの4を表わすものと考え，O_2 を32グラムの32と考え，$2H_2O$ を36グラムの36と考えて

$$4+32=36 \cdots\cdots\cdots\cdots\cdots\cdots\cdots\cdots\cdots\cdots\cdots\cdots(3)$$

としたのでは数学的に間違いがないには違いないが，何の意味もなくなつてしまう。また(2)式をエネルギーの式と考えれば，酸素と水素と化合するときには熱が発生するから，右辺にこの発生熱の数値を入れなければならない。

長い間の習慣で用いたり，学校で一つ一つ教つてきた式というものはなかなか深い意味を持つことがあるので，経済学に式を用いるということはこういう点で初に十分注意しなければとんだ誤解の種をまくことになる。

そこで $A_1^{(1)}+A_1^{(2)}$ を鉄材50トンと机30個の単に合計を表すとすれば差支えはないが，そのかわり何の役にも立たない。また50トンの50と30個の30に着眼して $A_1=50+30=80$ としたのでは，また無意味な計算である。1キログラムと1メートルと，どちらが大きいかと比較するようなものである。物理学を学んだものは，数量を加えたり引いたりする場合には，同じ量性の物でなければならないということを考えるであろう。すなわち50トンの鉄の質量と30個の机の質量，たとえば2トンとを加えて鉄と机の総質量が52トンであるというならば明瞭な意味がある。しかしこの意味自身余り役に立たないであろう。せいぜい役に立つ場合を考えて見たところで，鉄材と机を運ぶ運賃の参考ぐらいになるかもしれない。

そこで経済学では，すべての物の貨幣との交換価値の見込みを考えて，これをすべてのものに共通した量性をもつた数とする。たとえば鉄材50トンの見込み価格が30万円であり，机30個の見込み価格が3万円であつたとすれば，$A_1^{(1)}$ は鉄の価値の30万を表わし，$A_1^{(2)}$ は机の価格の3万を表わす。そうすれば

$$A_1=300{,}000円+30{,}000円=330{,}000円$$

が鉄材と机全体の見込み価値である。特に断わらない限りは，このような意味に代数式を使うことにする。(1)式の A_1 はn個のものの価格を加えたものであり，A_2 の式はm個のものの価格を加えたものであるが，これを簡単のために

$$A_1=\sum_{p=1}^{n} A_1^{(p)},\quad A_2=\sum_{p=1}^{m} A_2^{(p)} \cdots\cdots\cdots(4)$$

と書き表わす。ここで $\sum_{p=1}^{n}$ はpについて1からnまでn個の項を加えるという意味である。

つぎに人の勤労，すなわちサービスを受入れるわけである。これは人を傭つてそのサービスを買うのであつて，その人を買うのではないから，Aで表わした物とは区別して考えた方がよい。いま受入れたサービスの価値を F_1，受渡した価値を F_2 とすればサービスにも色々の種類があるわけであるから，(4)式と同じく

$$F_1=\sum_{p=1}^{s} F_1^{(p)},\quad F_2=\sum_{p=1}^{t} F_2^{(p)} \cdots\cdots\cdots(5)$$

として表わされる。簡単にいえば，F_1 はその期間に払つた賃金の総額であり，F_2 は人的サービスとして得た収入の総額である。

またこの経済体が期始めに保有する資産 G_1 も，期末に保有する資産 G_2 も色々種類があるから

$$G_1=\sum_{q=1}^{n} G_1^{(q)},\quad G_2=\sum_{q=1}^{s} G_2^{(q)} \cdots\cdots\cdots(6)$$

と書かれる。

さて経済価値の変化ということについては一定の法則があつて，これに当てはめて検討しようというのではない。如何なる考え方によつて，如何なる枠に入れてこれを把握しようかというのである。まず資産に着眼して，資産が G_1 から G_2 に減少したのは3つの原因によるものと考えられる。第一は，資産が減耗して資産価値が減少することによるものであつて，この一経済期間の減耗をJで表わす。第二は，災害，盗難等予期しない損失によるものであつて，この不定損失をLで表わす。第三は，生産品に返還される有効な資産の消化によるものであつて，この消化をCで表わす。そうすると

$$G_1-G_2=J+L+C \text{（資産式）} \cdots\cdots\cdots(7)$$

とおかれる。ここで注意しなければならないことは，上式の量性は資産価値Gの量性ではないということである。左辺は，実は一経済期間の間の資産の変化であるから

$$\frac{G_1-G_2}{t_2-t_1}$$

とおいて，t_2-t_1 を単位として与えてあるから，資産価値を時間で割つた量性であつて，資産価値の時間的変化速度である。特に期間を極めて短くした極限を考え

$$\lim_{t_2-t_1} \frac{G_1-G_2}{t_2-t_1}=\frac{dG}{dt} \cdots\cdots\cdots\cdots\cdots(8)$$

をとれば，これはある時刻 t_1 における第2次的の状態と考えられる。（微積分学を知らない読者は(8)式を考える必要はない）Jは原価ともいわれ，Lは不定損失（windfall loss），Cは消化（consumption）と称せられる。(7)式が資産に着眼した場合の変化であつてこれを資産式という。G_1-G_2 のかわりに他の文字を使えば，右辺と同じ形式になつて，すべての文字の量性が一つになる利益があるが，経済学では資産に着眼することが重要であり，習慣でもあるので(7)式はこれにしたがつたのである。（つづく）（東北大学教授）

（54頁より）

A　事実を述べる。
B　質問する。（直接又は間接質問）
C　意見を述べる。
D　資料を示す。

第3段階——討議指導

各人に発言させる＝考え方を統一し経験を交流させる。

討議の統制＝議論が感情に走つたものにならぬように注意し，発言の独占を防止しつゝ円満な雰囲気の中で議事を進行させ，また発言内容を要約し不備な点を補いつゝ討議の進行過程を分析する。

第4段階＝討議のとりまとめ

会議の要点を示し着想，意見，示唆，経験を評価する。また結論を導くことに努力し，更に問題の処理法を説明し参加者の申出および勧告をとりまとめる。

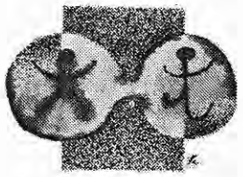
会議は其の目的や其の他条件によつて，総てこのような段階に必ずしも当てはまるものではないが，大体このような心構えで会議を進行させれば良いことになり，実際はこの範疇は全く漠としたものになりがちではありましようが，要は会議なるものは常に私達が気軽に開き気楽に参加しておりますが，こゝに会議を分析して反省して，其の効果を期するように心懸くべきものである点が再認識いたゞければと考えて書きまとめたつもりです。御参考になれば甚だ幸甚に存じます。（以上）

連山仁一郎著　「動物淑女論」

本誌に毎号麗筆を振われている東京事務所連山仁一郎氏の「はなしもの」は，その軽妙洒脱な筆致と自然に対する驚く程微細な観察とによつて既に定評のあるところであるが，この度四季社より未発表分を併せ，「動物淑女論」として発刊されることになつた。まとまつた一冊の本として読むと，富山衛氏のさし絵や豊富な写真とが入り，今までと違つた面白さがあり一読清涼の感がある。秋の夜の読物にふさわしいものであり，切に御一読をお勧めしたい。（S）

B6判，240頁，　定価 230円（〒32円）
発行所　四季社（東京都千代田区旅籠町2の6）

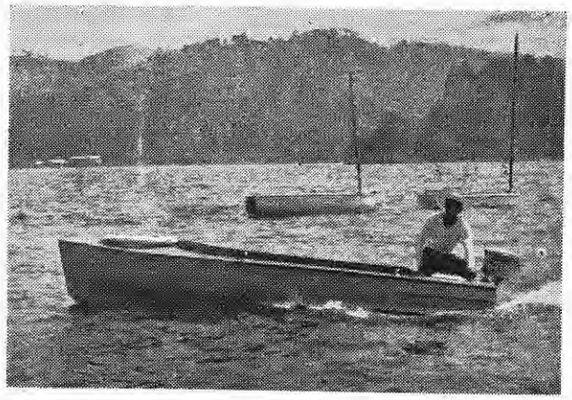
河川湖沼用測量艇について



土木部土木係　**苫　米　地　　勲**

はしがき

小型舟艇は河川型と海洋型の二つに大別することができる。すなわち河川型はほとんど竜骨を用いず，舷と船底の3枚の板で作られ，極力軽くし，流水抵抗を考慮して細長くし，操舟具は竿とともがいが多く用いられる。海洋型は波浪による転覆をさけるため船体は5枚張りとして円くし，竜骨を多く使用し長円型に作られ，操舟具はろとオールが主として用いられている。湖沼用舟艇は，この両者が用いられており，船型は舟大工に一切ゆだねられているようである。



筆者は沿岸，港湾，湖沼，河川等の測量に従事し，引船，伝馬船，ろ船，箱舟，笹舟，遊覧船，魚船等10数類の船型によつて測量を行つた結果それぞれの長短に着眼し，測量機具の充実とともに，専用の測量艇によらなくては測深機の性能を十分発揮できないとの結論に到達し，アウトボートによることが最も信頼性の高いことを確信し，試作も完了したので，これを測量艇として使用し，作業員の水上作業の危険を除き，労力の節少と測量日数の短縮，経費の節減を念願し，社業の一助となることを希望しつゝ稿を進めた。

小型舟艇のいろいろ

われわれは日常舟は見なれているし，操舟は人手にまかせている。したがつて船型や装備などは，全く意に介さないでいる。ところが一旦或る目的のため舟を利用すると，不便この上ないものとなつてしまい陸上の車を利用することゝなる。元来人間は陸上動物であり，水上生活は行動が制限されて十分な活動ができないからであつて，人々は自分の作業目的のため船型を定め，装備を整えて使用している。これはその一目的のためにのみ有利であり，他の目的にも使用しうるという融通性を発揮できる性能を持つていないためである。

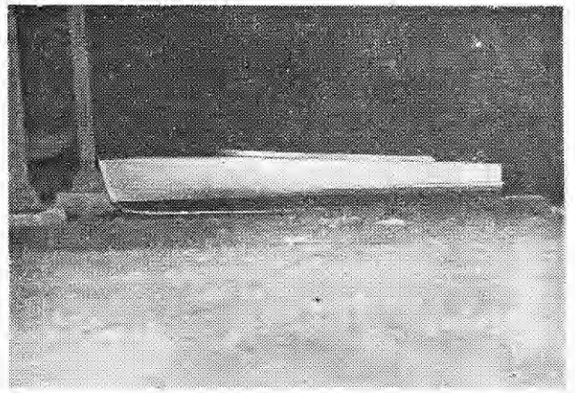
小型舟艇を推進力によつて分類すると

- 小型舟艇（推進力による分類）
  - 工業船
  - 伝馬船
  - 川船
  - 帆船
  - 動力船

に分類される。これをさらに動力源によつて分類すると，下表のとおりであつて，これを操作方式によつて分類すると，次表のようになる。

- 動力源
  - ディゼルエンヂン
  - 4サイクルガソリンエンヂン
  - 2サイクルガソリンエンヂン
  - ジエツトエンヂン
  - 焼玉エンヂン

- 操作法式
  - 信号操作
    - 焼玉エンヂン
    - ディゼルエンヂン
  - 半信号操作
    - 焼玉エンヂン
    - ディゼルエンヂン
    - 4サイクル ガソリンエンヂン
  - 直接操作
    - 4サイクル ガソリンエンヂン
    - 2サイクル ガソリンエンヂン
    - ジエツトエンヂン



これ等の船舶に搭載して居る直接操作エンヂンの馬力数は下表に，又取得馬力は次表の通りである

- 直接操作エンヂンの馬力
  - 4サイクル ガソリンエンヂン　10PS～600PS
  - 2サイクル ガソリンエンヂン　3PS～25PS
  - ジエツトエンヂン　100PS～2,000PS

- 取得馬力
  - 廻転数馬力
    - 4サイクル ガソリンエンヂン 1,000～3,000RPM
    - 2サイクル ガソリンエンヂン 2,000～4,000RPM
    - ジエツトエンヂン 1,000RPM以上
  - 廻転力馬力
    - 焼玉エンヂン 100～350RPM
    - ディゼルエンヂン 130～600RPM

この様なエンヂンを使用して居る小型舟艇を作業別に分類すると下記の種別のものが現在用いられて居る。

- 動力船（使用別に分類）
  - 軍用舟艇
  - 競走艇
  - 快速艇
  - 救命艇
  - 測量艇
  - 遊覧船
  - 引船
  - 渡船
  - 釣り舟
  - 近海魚船
  - 科学調査船

以上の様に，小型舟艇は多種多様であるから，河川，港湾，内海などの測量に要する艇内面積3m²，搭載エンヂン15PSによつて，舟の型状を表示すると下表の通りである。

エンヂン種別	2サイクルアウトボードエンヂン	4サイクルガソリンエンヂン	ディゼルエンヂン	焼玉エンヂン
装備重量	220kg	600kg	1,200kg	1,800kg
吃水深	20cm	60cm	80cm	100cm
航行速度	20km/H	10km/H	8km/H	6km/H
船長	4.5m	6.0m	8.0m	12.0m
船巾	1.4m	1.6m	1.8m	2.0m
船高	0.5m	1.0m	1.3m	1.5m

又アウトボードエンヂンを使用している舟艇の乗船人員及び積載量，搭載エンヂン，馬力数は，下表の様である。

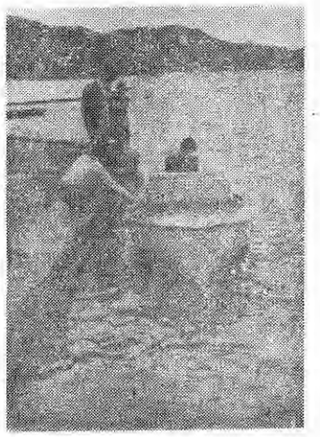
種別	乗船人員（人）	積載量（ton）	搭載エンヂン馬力数（PS）
軍用舟艇	10～25	6.0～30.0(約)	20～25
競走艇	1	0.2 〃	10～20
測量艇	3～6	1.0 〃	5～25
遊覧船	10～20	5.0 〃	20～25
渡し舟	10	2.0 〃	7.5～10
釣り舟	5	0.5 〃	3～5
科学調査船	5～10	2.5 〃	10～20

測量艇として具備すべき諸条件

舟の型状を述る前に，測量作業状態を説明しなければならない。即ち，如何なる天候のもとに，どれ位の人員で，如何なる船の行動が要求されるかということである。

(1) 河川，湖沼，港湾，内海の測量は，毎日陸へ帰つて来る程度の航行距離である。

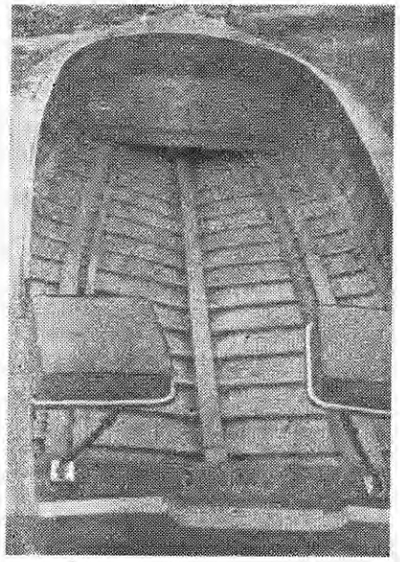
(2) 1m内外の水深の測量水域が非常に多く小廻転及び浅い吃水深が要求される。

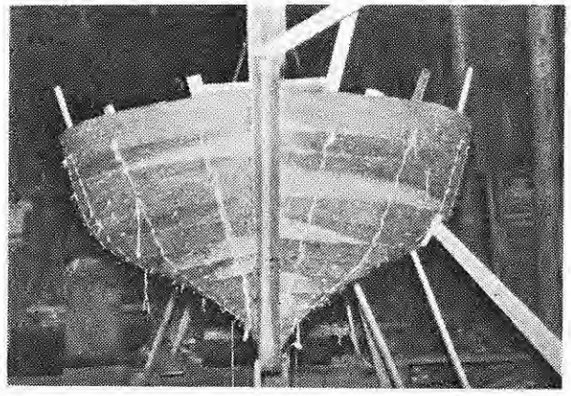


(3) 運転や，保守が簡単でな

ければならず，且つ（始動の場合，焼玉エンヂンは，トーチランプでシリンダーを熱する。又デイゼルエンヂンは，ポンペ，コンプレツサー等の設備を要し，ガソリンエンヂンはバツテリー等の保守も伴う）乗船人員は3人～5人位に止めなければならない。

(4) 測量作業に際して乗船人員が少いこと。（3名）





(5) 高波浪の日の測量は，水圧式，レツド式，音響式を問わず，水面位の決定が困難であるから，平穏な日に測量する。

(6) 霧，雨，等の天候は，陸上の距点の見透しのきかない日は測量不能である。

(7) 岸に完全に接するまで測量を要する。

(8) 船内の総面積を，歩行出来る構造が望ましい。

(9) 着岸に際して，桟橋を必ずしも必要としない。

(10) 櫓や櫂でも操舟出来る。

以上の様な要求に基ずいて船型を考えてみると

川舟の場合は，船内の巾が狭く，流水抵抗が小さいけれども，測量員の船内行動が抑制されてしまう。

従つてある程度の巾を有しなければならない。

船長は，長い程廻転能力に缺けて来る。従つて，所要の長さと巾を定めてから船底構造を考えなければならない。

即ち，浅い吃水，少ないローリング，ピツチング，小さい廻転性能，性能の良い波切り，等を主眼として設計しなければならない。

今日まで測量用舟艇は，地方の舟の製作の習慣に従つて製作されて居るから，推進の原動力，流水抵抗，風圧抵抗等，長年の習慣によつて，他の目的の為に，形造られたものである。

河川の場合は，流水の速度，点石の多過，水深，底質によつて底形が定まる。之に作業目的が加えられて初めて船型が定つて来る。

又湖水の場合は，その湖に生ずる波浪によつて船体が変り，作業目的によつて船形が決定するものである。河川，湖沼の場合は，いづれにしても高波浪と，高い風圧を受けることがないから，強靱な船体を必要としないけれ共，海洋の場合は之は相当変つて来る。

まづ激浪に叩かれても微動もしないものでなければならない。次に，波浪によつて，船が動揺しても，転覆してはならない。又波浪が船べりより多量に溢流入する様な構造ではならない。

これらを万足させると船体重量がかさんで来る。測量用ボートは又，連絡，調査等にも使用出来るものでなければならない。従つて小型軽量で操舟，舟出しが，1人位で出来るものでなければならない。

小型舟艇は，櫓や櫂で推進して居る間，船体は前後方向に平行状態を保つものであるが，船体の後部にスクリユウを取付けて推進せしめると，船首が浮上し船尾が沈んでしまう。

之は，水上滑走に際して，スクリユウを軸として，モーメントが生ずるからであつて，かゝる角度で進行されると，その都度，速度の変化によつて傾く角度が変つて来るから，測量用には適さない。又小さい波浪によつても浸水し，航行上非常に危険である。

測量艇は，進行速度を変えても2～3°以内の角度の変化にとゞまらなければならない。

小型艇の特徴であるが，ローリングが大きく，艇内の乗船員の体の動遙にもローリングを生じ，測量中の測深値が誤差の修正が不可能な記録を残してしまう。従つてローリングの小さい船底構造でなければならない。

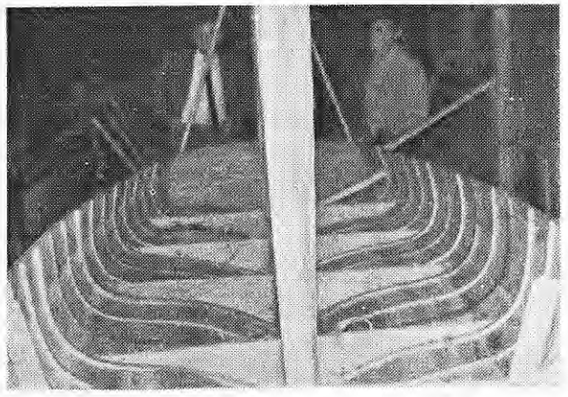
アウトボード

アウトボードは

1. 船体（長4.5m 巾1.4m 高0.5m重量180kg 6人乗）
2. エンヂン（10～20馬力 重量25kg～40kg）
3. 附属品（救命具，社旗，社章，座席，竿，敷板，ビルヂポンプ，洗油，繋留用具，修理工具，掃除用具，カバー，附属金具）
4. 予備品（燃料，飲料水，ロープ，櫂，エンヂン始動紐）

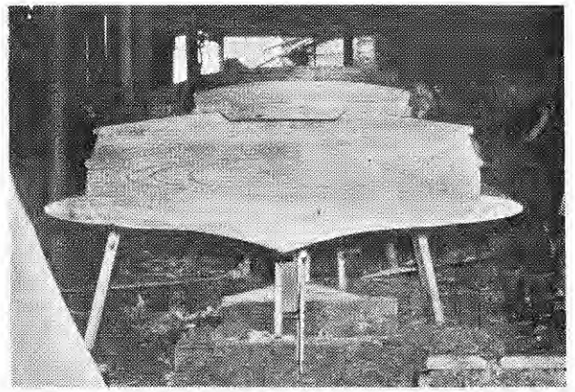
等よりなつて居る。

今回の試作によつて解決した点は，船体外板を厚さ4分の杉を用い，又竜骨は厚さ5分巾1寸の欅として，軽量化につとめた。



船底は，すべて流線体とし，ローリングと荷重による沈降をさけるため船底横断面を逆曲線とした。

又船尾の沈下を防ぐ，いわゆる，進行仰角を小さくするため，水中翼を取付けた。



更に，椅子や，測深機の舷外装置の取付金具や，救命具，エンヂン落下防止用金具，信号灯，ビルヂポンプ，櫂，竿，等の附属品を装備し，外観，性能共に一新したので，測量の外，調査，連絡，来賓の送迎等利用率が高いと思われる。

アウトボードを他のボードと比較すると，長所として挙げられる点は，

(1) 他の動力船に比し値段が安い。

(2) エンヂンの操作が簡単なため，誰でも操舟できる。

(3) 艇庫を特設する必要がなく，エンヂンは室内に保存できる。

(4) 舟が小型軽量なため，一人で陸上げ，舟出しができる。

(5) 航行特性がすぐれて居て，狭隘な水路でも操舟，航行が安易である。

(6) 吃水が浅いため，点石の多い河川，又は遠浅な湖畔も航行し，着岸できる利点がある。

(7) エンヂンに船内のスペースを取られないから，舟を広く使用出来る。

(8) 船底が水切式断面になつているため，航行に際して，吃水が浅く（沈まない）又乗降り，船内歩行カーブ等に安定である。

(9) 動力を有する最小船で，他河川，湖沼へトラツク等で運搬できる。

(10) エンヂン直接操作方式のため操舟中，点検調整が簡易である。

又短所として挙げられる点は，

(1) 船尾高が限定されて居るため，高い追波の場合，船内へ浸水する怖れがある。

(2) 船底が平なため，高い横波に弱い。

(3) 操舵方式がプロペラのため，エンヂンがストップすると操舵不能となる。

(4) 操舟にさいし，燃料がガソリンとモビールの混合油なため，注意しないと衣服がよごれる。

(5) 船体外板が細い板を張合せているため，塗装に留意しなければならない。

(6) 運転席が斜めなため，長時間運転にさいして首が疲れる。

(7) 後進が簡易でない。

アウトボードエンヂン

舷外に取付けるエンヂンであつて，3馬力より25馬力まで製作されて居る。

国産品はYAMATO，MICRO，KINUTAが有る。輸入品では，米国のJOHNSONとEVINRUDEが有名である。3～5馬力は貸ボート等，専ら遊覧用に使用され，構造も簡単である。

7.5馬力位より実用品という事が出来る様である。各メーカー共10～18馬力に主力を注いで設計，製作し，レーサーに使用して居る。



アウトボードエンヂンの操舵はすべてドライヴ・シャフト軸の廻転によつて居るから，スクリユウの方向変換による操舵方式となつて居る。

スピード調整は，操舵ハンドルと協用のものと，レバーを別に取付けて居るものとがある。

プロペラは，2～4枚翼で安全装置は，スリツプ式とピン式とがある。

キヤブレターは，高速，低速の二つのニードルバルブの付いて居るものと，一つだけのものとがある。

シリンダーは，1～4気筒である。

クラツチは，小馬力のものは付いて居ない。高級実用品には，後進用クラツチが付いて居る。

始動法は，シンプレツクス・スターターの付いて居るものと，始動用紐を巻き付けて，始動するものと2種類ある。

冷却方式は，一部の小馬力のものを除き，すべて水冷式である。

エンヂンの取付角度調整装置は，すべてのエンヂンに付いて居る。

エンヂン本体は軽合金製と鉄製とがあり，測量用エンヂンは，10～20馬力のもので軽金属製で，軽いこと，始動法は，シンプレツクス・スターター式で，クラツチが必ず付いたものを選び，高速，低速，バルブ及び燃料タンクがエンヂンと別になつて居るもの，出来得れば後進用クラツチの付いて居るものが理想的である。

測量艇の将来

測深機の幼稚な時代は，測量作業上，測量船には概して不便を感じなかつたものであるが，測深機が飛躍的進歩を遂げている今日，測量艇も当然能率化していかなければならない。

今日まで測量に使用した舟艇は，測量地点に備付，又は借用できるものを使用して来た。したがつて測量に際して，航行が意の如くならないものや，燃料が1日 100*l* も使用する舟を用いたりしている現状である。

音響測量の場合，エンジンの振動のため，測深記録にバラツキを生ずることであるが，舷外機付舟艇では，この難が非常に小さい。

アウトボード型式のボートは，今日までボートレースにのみ使用されて一般には縁の薄い型式であつたが，エンジンの実用化に伴ない，近年釣り，遊覧，連絡等に使用されつゝある。測量用として残されている部分は，作業目的にマツチした船体構造と装備とであつた。今回の試作によつてほぼこれを解決したので，水深測量界に明るい見通しがついて来たと云いうると思う。

原子力への案内

— その1 —



電気部発電課 **八 島 俊 章**

緒 言

原子力あるいは核エネルギーと呼んでいるものは，我々をめぐる宇宙の到る処に存在しているものなのである。例えば身近なエネルギー源である太陽は熱，光，その他の種類の放射線の形で絶えず放出している。このエネルギーは，水素のような軽い元素が，融合あるいは結合によつてより重い元素になる結果生ずる原子力エネルギーなのである。この過程は核反応といわれ，莫大な量のエネルギーが比較的少量の物質から放出される。しかし，現在我々が知つている原子力（水素爆弾の様なものは別として）はウラニウムやウラニウムから生成した人造のプルトニウムという様な重い元素の原子の分裂の時に生ずるエネルギーを利用した原子爆弾，原子炉を用いた発電，暖房などがある。

さてこの原子力は，2千有余年にわたる人類の科学的探求によつて始めて発見された所のくめどもつきない新しいエネルギー源である石炭，石油などという化学燃料よりも将来重要となるであろうという事は明らかである。

さてその原子とは何であるか。その正体がわからなければ，原子エネルギーとは何であるかわからない。そこで科学史上に於る原子論の発生より進めて，現在の原子力応用の分野に至るまで以下簡単に述べていきたいと思う。

〔1〕 原子の概念の移り変り

1. 原子についての初期の知識

この原子力の物語を初めるにあたつて，我々は古代史にさかのぼらねばならない。太古の時代から人類は事物は一体何で出来ているのであろうかと疑問に思い現在まで思索の道を歩み続けて来たのである。

一塊の砂糖や一片のパンを肉眼で見えない程小さくしていき，さらに無限に細くして行くならば，一体どうなるのであろうか？物質は連続しているのであろうか？または最後には砂糖やパンを実際に構成している小さい基礎的微粒子に到達するのであろうか？

古代の人々は，こういう疑問をもつていた。

多くの哲学者は，物質は連続的なもので，最終的な構成要素というものはなく，無限に分割していく事が出来ると考えていたのである。しかし，紀元前400年ギリシヤのデモクリトスは，分割する事の出来ない微粒子（即ち原子）で，すべての事物は構成されているという仮定を設けたがこの仮定が正しいか否かを証明する方法がなかつたので，この考え方は科学的学説とはいえなかつた。そのため彼の学説も以後2,000年間今日の原子論が証明されるまで陽の目を見ずに来たのである。

また有名な古代ギリシヤの哲学者であるアリストテレスは，元素（エレメント）説という理論を出した。それによると，基本的元素としては，地，水，火，風の4つがある。そしてすべての物質は，この4元素から種々様々な割合で出来ていると主張した。例えば人間もこれら4元素をすべて含んでいる。即ち空気(風)を呼吸し，水を飲み，食物（土地からできる）を食べて体温を保つているといつた具合である。以後中世紀に入るとアリストテレスの元素説に刺激されて，錬金術師は魔術の様に下等な金属を金に変える事が出来る

ものと信じて努力を続けた。しかしこの1,000年余の努力によつてしても卑金属から金にかえることは出来なかつたが，これらの試みから種々な化学の基礎が築かれた事は今日から見ると決して無駄な事ではなかつたのである。

2. ドルトンの原子論

イギリスのドルトンは，何世紀か前にデモクリトスが唱えた理論を取りあげ，又先覚者のいろんな発見をまとめて，1,808年に原子論を提唱した。彼の原子論は次の様に要約出来る。即ちすべての元素はアトム（原子）とよばれる微粒子を構成材料として出来ている。ある元素の原子はすべての点で全く同じで，原子はそれ以上小さく分割する事は出来ない。種類の違う元素の原子は，重量も，特性も，相異りこの違いで元素の区別が説明できる。異る元素の2つ，又はそれ以上の原子が結合して分子とよばれる原子団を構成する。例えば水素と酸素が燃焼して水が出来る時，水素原子2ケと酸素原子1ケが結合して，3原子が1団となる。これが水の1分子である。この水は2つの元素から形成されているから，化合物とよばれる。またこれらの化学変化の前後に於て総重量に変化が起らない。これは何故であろうか？ドルトンの原子論によれば，化学変化とは原子が自分と違つた相手を選んで結合したにすぎないのである。別の例を引いて見る事にする。今ダンスホールに3人の男と3人の女がいて，最初男女のグループは，夫々別に立つている。この場合，男も女も夫々原子にあたる。さて音楽というエネルギーを供給する事によつてすぐに3対の〝分子〟が出来る。この新しい組合せになつても3人の男と3人の女の体重合計は明らかに変つていない事がわかる。

化合物に於るどの元素の比率も同じである。これは何故であろうか？説明を簡単にするため元素Xの1原子と元素Yの1原子で出来ている簡単な分子を例にとつてみよう。X1原子の重さを3，Y1原子の重さを2とする。XY各々1で出来ている分子の重さは5となる。この分子の中で，XとYの重量比は3対2である。もしも，10分子をとれば，X原子10ケ，Y原子10ケが含まれている。X原子の総重量は30，Y原子のそ



化学ダンスホール

れは20で，XとYの重量比は30対20となるが，その割合はやはり3対2である。分子がいくらあつても重量はやはり3対2である。

3. 原子の重さ

原子の重さを測定する方法のいろんなものを説明していると，我々の目的である原子力の話からはづれるから深入りはしない。しかし，もしも酸素原子の重さは，正確にはどの位かというと，26.78464×10^{-24}グラム。こんな具合に書いても，我々はピンとこないしそれに科学者は相対的な重さ，即ち原子量に興味をもつている。それで酸素の重さを16とするのが便利である事もわかつた。この尺度によると硫黄の重さは約32で水素原子は約1である。

4. 元素の種類

いろいろな試みによつて，科学者は沢山の元素を発見した。ロシヤの化学者メンデレエフは，一つの表を作る事によつて，元素発見に大きな貢献をした。というのは，その表によれば，まだ誰も発見していない行方不明の元素の特性がわかる様になつた。科学者はこれを週期律表とよんでいる。メンデレエフの週期律表には92の元素がのつている。ごく最近まで，数ケ所が空白になつていた。というのは，地球上にそれら元素が非常に少量しか存在しないため探すのが極めて困難なためであつた。今日では92以上の93，94，95，96，恐らくはそれ以上の元素もすでに捕えられたので，科学者は週期律表の延長を計画している有様である。

	IA	IIA	IIIA	IVA	VA	IVA	VIIA	VIII			IB	IIB	IIIB	IVB	VB	VIB	VIIB	0
周期 1	1 H																	2 He
周期 2	3 Li	4 Be											5 B	6 C	7 N	8 O	9 F	10 Ne
周期 3	11 Na	12 Mg											13 Al	14 Si	15 P	16 S	17 Cl	18 A
周期 4	19 K	20 Ca	21 Sc	22 Ti	23 V	24 Cr	25 Mn	26 Fe	27 Co	28 Ni	29 Cu	30 Zn	31 Ga	32 Ge	33 As	34 Se	35 Br	36 Kr
周期 5	37 Rb	38 Sr	39 Y	40 Zr	41 Cb	42 Mo	43 (Tc)	44 Ru	45 Rh	46 Pd	47 Ag	48 Cd	49 In	50 Sn	51 Sb	52 Te	53 I	54 Xe
周期 6	55 Cs	56 Ba	57～71 Lanthanides	72 Hf	73 Ta	74 W	75 Re	76 Os	77 Ir	78 Pt	79 Au	80 Hg	81 Tl	82 Pb	83 Bi	84 Po	85 At	86
周期 7	87 Fr	88 Ra	89 Actinides															

ランタニド	57 La	58 Ce	59 Pr	60 Nd	61 (Pm)	62 Sm	63 Eu	64 Gd	65 Tb	66 Dy	67 Ho	68 Er	69 Tm	70 Yb	71 Lu
アクチニド	89 Ac	90 Th	91 Pa	92 U	93 (Np)	94 (Pu)	95 (Am)	96 (Cm)	97 (Bk)	98 (Cf)					

5. 化学変化の利用

現代の化学者は，中世紀の錬金術師の金とは異る種類の宝を探す事に全力をあげている。例えば新しいプラスチツクス，高オクタンガソリン，合成燃料，素晴しくよく効く薬品，強力な殺虫剤，それは計り知れないものがある。この場合重要な事は，種々な原子を結合して新しい化合物を作る事である。原子が化学的に結び合い，分子を構成する。これと同じ様な化学変化が木やその他の植物の中で行われている。即ち空気中の炭酸ガスと地中から吸いあげた水とから澱粉や糖類の分子を作つている。それから地中から得られた硝酸塩や鉱物質を加えて，植物は複雑な構造をもつ蛋白質を作る。さて我々人間は植物を食べその植物蛋白の分子をより適当な組合せに配列しなおして，生命活動を続けているわけである。

6. ドルトンの原子論の修正

原子の中にあるいろいろな粒子が配置転換されるために生れる原子力は，我々の日常生活の中に見られるものの中では，太陽が放散している巨大な熱と光である。ドルトンがいわゆる原子論を唱え，物質の基本的構造の内部へメスを入れ始めてからようやく原子そのものの中に存在する新しい物質とエネルギーの宝庫を利用する事が出来る様になつた。

ドルトンの原子論は化学変化という重要な事実を理解するための道を開拓し，1808年から19世紀末に至る約100年間この彼の理論を否定する様な観察は行われなかつた。しかし最近の50年間に於て，ラジユームの発見に始りドルトンの原子論に対する重要な修正がなされるのである。即ちその内第1番目はこれまで物質の究極の単位としてこれ以上分割する事は出来ないと考えられていた原子は更に小さい単位粒子に分割する事が出来るという事であり，第2番目は同一元素の原子にも重さの異る兄弟分の元素即ち同位元素（アイソトープ）があるという事であり，第3番目は一つの元素の原子を他の元素の原子に変えてやる事が出来るという事であり，第4番目は使用された材料の重さとそれから生れた生産物の重さは同じでなければならないというのは必ずしも事実でないという事も解明された。例えばもとの材料の一部を破壊して，原子爆弾の様に多量のエネルギーに変えうる事などは，我々が身をもつて体験して来た事である。しかしドルトンの分割する事の出来なかつた原子論も，現在ではいろいろ

の制約をうけているが，19世紀には充分に役立ち又現在でも化学の分野に於て充分役立つているのである。

〔2〕 ずべての事象は原子に関係している

1. エネルギーとは何であるか

前章までは主に化学者がとつた物質の正体の究明を述べたが，物理学者も化学者に劣らずに物質に対して疑問をもち，その問題の取り上げ方は違つているが，例えば熱とは何であるか？電気とは何であるか？光とは何であるか？などに対して絶えざる研究を続けて来たが，必然的にこれらの事象もまた原子や分子の働きによるものであり，原子や分子が物質の基本的粒子であるという結論に達したのである。

エネルギー，これは広く使われている言葉であるが，よく理解されずに使用されている言葉である。我々の食生活にもエネルギーの多い食物をとる様にいわれる。熱エネルギー，電気エネルギー，原子エネルギーなどという言葉は余り乱用されているが，その本質的な意味は何であろうか？　このエネルギーは非常に多くの形をもつているため，エネルギーという言葉を定義をするのは，やさしい事ではない。エネルギーは仕事をする能力，例えば重い物を上げたり，その物の運動を変化させる能力に結びつける事に始つてもよい。エネルギーは全く多くの形態をもつているが，しかしそのうち2つの形態を我々は直ちにエネルギーとして認めている。第1番目には，物体が動いているというだけで持つているエネルギー即ち運動のエネルギーである。第2番目には，高い所に貯めてある水，引きしぼつた弓につがえられた矢などを考えると，水を解放してそれで発電所の水車を回転させ運動のエネルギーにかえ，更に運動のエネルギーから電気エネルギー，電気エネルギーを用いて熱エネルギーとしている。即ちこの貯蔵されているエネルギーは位置のエネルギーという。また石炭，石油などの燃料もエネルギーをもつている。何故ならば，近代的なエンジンを動し，近代産業界に於ける重要な物理的仕事をする熱を発生するからである。

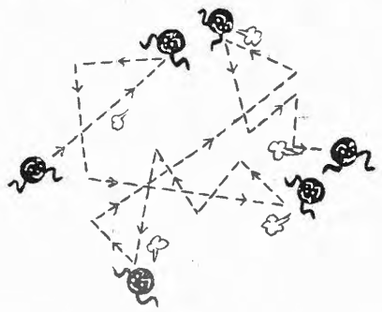
2. 熱とは何であるか

18世紀に入つてしばらくすると，実用的な蒸気エンジンが出現した。こうして石炭の中に貯蔵された化学エネルギーが熱を発生して実用に供され，その熱は運動に転化された。石炭から発生される熱は重い物体を動す事も出来る。この不思議な熱は一体何であろうか？　熱は物質なのか，それとも別のものなのであろうか？　多くの人々は疑問をもつた。しかし熱の正体についての知識は18世紀の末になつてようやく得られたのである。

熱に関する知識はベンジヤミン・トンプソンによつてなしとげられた。それは摩擦熱の発見による。とにかく当時の熱理論によると，熱は物質的実体即ち熱素とよばれる目に見えない目方のない液体と思われていた。熱素は熱を加えられる事により物体から流れ出し，近くある冷い物体に流れ込むと想像されていた。それに対してトンプソンはある物体が外部から運動を与えられると，その運動を与えられた物体の中のものが，ある種の運動を起し，その運動が熱としてあらわれるのだと想像した。これは確かに部分的な解答であつた。即ち彼によると熱は物質的実体ではなくある種の運動であるというのである。

それからハンフリー・デイヴイは摩擦による熱の発生についてもつと多くの実験をし，1799年に〝熱は物質中の微粒子の特殊な運動，恐らく振動として定義出来るであろう〟という画期的な推定をなしたが，その微粒子とは何であるかという説明はなし得なかつた。

この微粒子の運動については，スコツトランドのロバート・ブラウンによつて手がかりが発見された。1827年ある花の花粉を顕微鏡で研究していた時，水中に浮游していた小さい花粉のうち最も小さいものが特殊の運動をする事を見つけた。これは図に示される様な走跡を描いて，あちこちはねまわる様に見えた。花粉が小さい程この運動は明確であつた。またブラウンは花粉のみならず無生物の微粒子にもこの運動がある事を見つけた。彼はこの迅速に動いている微粒子は物質の分子（ドルトンの規定したもの）かも知れないと考えた。しかし我々の今日の知識からすると，分子よりはるかに大きいものである。しかしこのブラウンの研究は正しい方向への重要な導きとなつた事はいうまでもない。



ブラウン運動

19世紀の中頃，熱の正体をつかもうと多くの学者が手がかりを得んとして，ガスの特性を研究した。先覚者の事実に基いてジユール，クラーク，マツクスウエルの様な人々が素晴しい事業をなしとげ，その結果として分子は実際には見られないがガス中でどんな事が行われているか大体述べる事が出来る様になつた。19世紀の科学者の研究により，熱とは一体何であるかという疑問に対しての解答は，即ち熱は分子の運動のエネルギーにすぎないという事である。気体を加熱すれば分子はもつと早く運動する。分子を密閉した容器に入れ，それを加熱すれば分子の運動は大きくなり，容器の内面にそれだけ大きな圧力をかける事になる。気体に於る様にはそれほど分子が自由に動きまわれない固体や液体の場合はどうなるのであろうか。この場合粒子の振動の様に，分子は迅速にあちこち振動的運動をしているのである。この様にしてブラウンが観察した微粒子の無秩序なジクザク運動はうまく説明出来たわけである。つまり水の分子は小さくて見る事は出来なかつたが，水に浮游した花粉の微粒子は，動いている水の分子に衝突するため花粉の粒子は暴風雨の中にもまれる小舟の様に，あちこち動かされるわけである。

3. アインシユタインの法則

熱の研究からエネルギーとは何であるかという事についても，重要な結論が引き出され，それが原子に関する研究にとつても非常に重要な事である事がわかつた。即ち熱エネルギーの一定量は機械的エネルギー，いいかえると運動の一定量に相当する事が発見された。これは化学の〝質量保存の法則〟と兄弟関係にある〝エネルギー保存の法則〟を発見する第一歩となつた。即ち詳しい事は後で述べるがアインシユタインが上の2つの法則を結びつけ，質量とエネルギーは同じものであり，互いに転換する事が出来るという一大法則をうちたてたのである。質量がエネルギーに転換されるという事は，この地球上でいくつかの原子爆弾の爆発で劇的に証明された。

4. 物質の電気的性質

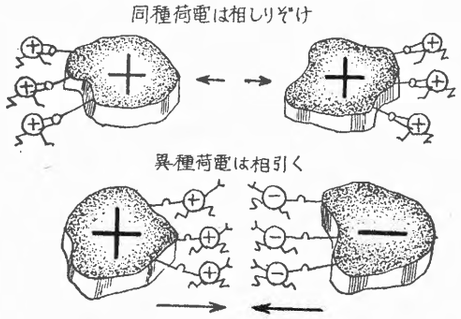
2500年以上も前に古代ギリシヤ人達は琥珀が非常に奇妙な現象を示した事を記述している。摩擦された琥珀は小さい布片，毛髪などをひきつける。のみならずすべての物質は摩擦すれば小さい物体をひきつける。これは電気のためである。最も注目すべき事は，引き



敷物を靴底でこすれば

つけられると同時に，摩擦電気から火花が出る事である。寒い乾燥した日など敷物を靴底でこすつて，うつかりしている人にさわると，その人は相当のショツクをうけると同時に火花が出る事である。面白い事に金属は一般にこういう電気的効果を長い距離に伝導する特性をもつている。他の物質，例えば琥珀，ガラス，ゴムの様なものは一度電気を帯ると，長い間余り変化する事なく電気を保持している事などもわかつた。この様な電気の作用はどうして起るのであろうか？　これに対して当時の人々は金属の中では流動しうるが，ある種の〝絶縁物〟の中では流動する事が出来ないと考えていた。この様にして電気作用は物質的流体によつて行われるかの様に思われたのである。そしてこの電気の流体は，他の物質と摩擦するとその物質から流れ出て来る様に思われた。摩擦された物質は前とは異つた状態にあるという事を証明するために，荷電したという表現が適用された。この荷電はいろいろの特性

を示すがそのうち最も異常なものは，ある条件の下で観察される様に相反撥あるいは相引き合う力を示す事であつた。この様な誘引，反撥，火花などの現象をどの様に説明すればよいのか。荷電には相引き，相反撥するという２重の特性があるので，電気の作用には相異る２種の状態がありまた２種の電気があると思われた。従つて互いに接近させられた２つの物体が相異る電気をもつていると互いに引きあい，同じ電気をもつていると相反撥する事になる。そして普通の中性の物体は相異る電気の流体を同量だけもつていると考えられた。

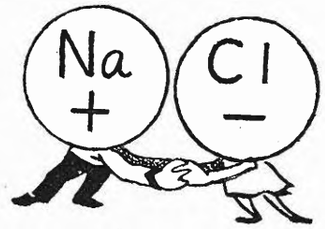


荷電の反撥と誘引

しかしベンジヤミン・フランクリンは一種類の電気の流体を仮定し，中性状態のすべての物質の中にはこの流体が一定の〝正常量〟だけあると考えた。我々が今日使つている陽電気（＋プラス），陰電気（－マイナス）という言葉は彼が始めて使つたのである。彼によるとこの電気の流体が過剰になると陽性状態になり，不足すると陰性状態になるというのである。

現代の電気学は前の２つの考え方を結合している。我々は性質の相反する陰陽２種の電気があると考え，中性状態にあるすべての物質は，普通２種の電気が同じ量だけ存在するため互いに打消しあつて中性になつているのである。こういう初期の推測的考察には，陰陽２種の荷電は何であるかという事に関する証明はなかつた。これらの荷電は物質とどんな関係にあるのか？　それとも物質の一部なのであろうか？　または荷電はすべての物質からしみ出る別の物質なのか？　この問題に関係する事実は18世紀末に至るまで発見されなかつた。

この様にしているうちに，イタリヤのボルタは1800年に偶然な機会から最初の電池を作りあげた。このボルタの電池を用いて，新しいいろいろの実験がなされた。例えば水の電気分解である。電池の両極を水につけると，一極には水素ガスが発生し，他極には酸素ガスが発生するのである。それで興味のある事は電流が流れるに従つて水はだんだんなくなり，その代り水素と酸素の発生量が多くなる事である。結論は明白で，電流は水の分子を分解させる事が出来るという事である。しかし分離し得るのは水の分子のみならず，他の多くの物を分解させる事が出来た。こゝでまた疑問がわく。なぜ水の分子は電気の流れによつて分解されるのであるか？　何がこの分子を固体や液体の中に結びつけているのであろうか？　これに対して19世紀の末になつて解決の曙光が見え始めた。原子そのものが，荷電とその作用によつて，しつかりと結合されている事がわかつて来たのである。原子は陽電気をおびる事も，陰電気をおびる事も出来るし，また中性である事も出来る。例えば台所にある食塩の様な固体の中で陽電気をおびた原子は陰電気をおびた原子に吸いつけられたまゝでいるのである。



食塩の組成

分子の形で原子を結びつけている力，また液体や固体の形で分子を結びつけている力はその性質が電気的であるのである。その様な事からまた次の疑問が生れて来た。即ちどうして原子はある時は中性であり，ある時は陽性，または陰性であるのか？原子の中には元来電気的な小部分があつて，その増減が原子を陽性あるいは陰性にするのであろうか？それとも原子そのものが相反する２つの荷電から出来ているのであろうか？もしそうだとすると原子の中にあるそういう電気的粒子は何であろうか？またどんな風に配列されているのであろうか？一体この様な電気的性質をもつ粒子はどんなものであろうか？この様な疑問に対して次回から徐々に解決されていく。　　（つゞく）

わたしの提案

こんな会議を——

——そのあり方

福島支店　大河内五郎

会議は斯くありたいと思う

毎日の執務について私達は，よりよい結果を希みながら，精進して居ることは云うまでもありませんが，知つて居ながら実行せず，そうかといつて大した支障もなく，それでいて誰方から忠告でもあれば，成る程とうなずく事柄の多いのにはあきれてしもうことが余りに多いというのが，実状ではありますまいか。

数年前ある会合で講演を聴きました際，米国駐留軍の婦人指導官より，日本人（男女共）の会議の持ち方について批判されたことがありましたが，事実は概して当を得た結果で聴集者は皆苦笑したことがありました。

指導官の曰く

日本人の会議は会議に対する心構えというか，会議に出席する準備を持ち合せなく，漫然と会議にのぞみ，着席して始めて会議について考える態の人が，特に婦人には多く，其の上折角多忙の身に都合を附けての出席にもかゝわらず，以上のような次第で発言するでもなく聴く一方で，内心発言したくも笑われはしまいかという謙譲ならぬ無能の結果は，会議本来の価値を半減してしもうことがありはしませんでしようか……と。

講演会ならぬ集会である会議という言葉は，共通の問題について集団的な思考を助長するために召集された形態の集会であらねばならないと思われます。

従つて私達が業務運営の為日常開催する会議は，全員参加による会議方式でなくてはならないと思われ，主催者だけの集会であつてはならない筈です。斯く考えますと，会議に提出される資料の如きも伝達集会でなく，協議を目的とする場合には参加全員より提出されることが望ましく，又参加人数も20名内外が目的達成に最も都合の良い員数ということが出来ますまいか。

会議の運行に当つて考えねばならないことは，くつろいだ雰囲気の中で自由な討議が出来ると同時に，主催者はそれらを指導し，且つ集団的意見の採択を決定することに努めることが会議指導者の責任でもあるわけです。

処で私達が日常開く会社での会議の会議指導者は集団的思考を指導すると共に討議を統制して結論の採択，必要ある場合には討議内容を要約することにも熟達している必要があることゝなります。従つて会議指導者の役割は通例の議長のそれよりも高度なものであり計画，発案，告知，説明，刺戟，判断をなし，其の必要ある場合には会議参加者に意識されないように調整，処理も行つてゆかねばならないことゝなり，したがつて会議指導者は正しい人格と精神の外，強い実行力をも併せ備える必要があることゝなりましよう。

会議というものは，最少限の時間と労力をもつて望ましい結果を得るには，熟練した企画と指導を必要とすることは当然でありますが，一人の参加者によつて威圧されるようなことやムダ口で議論が堂々めぐりをするような場合は，会議運行に何か欠けておるものと

考えられることゝなるでしよう。従つて私達が常に開催する会議については，常に特殊な訓練技術として研究し改善していく心構えが必要となるのであります。

会議を開くに当つては完全な計画と準備を行うことが先ず第一条件となるでしよう。すなわち，主題の選択，参加者の構成等の外参加者をして会議出席前に必要な方法で，出来得れば選択された議題に対して研究する時間的余裕を充分に与えることが必須条件となります。

参加者の構成は同等階層にある者か，垂直断面的な参加者より構成されるかして，漠然とした参加者であつてはならない筈です。

以上で会議の開催迄の諸条件を概記しましたが，会議開催に際して具体的に進めねばならない準備方法又は段階について普遍的に考えてみますと……

先ず第1段階ではアウトラインの作製，目的の決定，討論の対象となる話題の細目を用意することが必要でありましようが，これに附け加えれば強調すべき要点のリストの作製も併せ考えるべきと思われます。

第2段階としては会議次第の立案でありますが，これには問題の取上げ方について研究し，所謂何をいうか，どういうふうに云うか，話題や着想をいか様に導入するか，討議をどういうふうに統制し活気づけるかという点に留意し，決定表ないしは時間表を作成して，会議時間又は個々の話題ないし問題にどれだけの時間を与えたらよいかという時間的に会議を形づけることもして置き度いと思われます。

第3段階としては必要な印刷物，指示事項，資料，教材等を用意して，会議による参加者の納得を促進する手段としての側面的援助をなし，会議後の反省に際し良きパイロツトとなる資材等を提供する様努むる必要がありましよう。

第4段階として集会場所の準備でありますが，これを具体的にしますと参加者全員が充分に見聞できるようにして，全員が気分良く会議ができるように十分な椅子，テーブル，灰皿，適当な光と熱，騒音の聞えない部屋等細心の注意が大切であります。

以上で会議の準備は整いましたから，次に開会に当つて採らねばならないことは，先ず指導者（主催司会者）は計画した内容を最初に説明をして，その上質問技術を巧みに用いるように心懸けることは，会議の指導又は統制の手段として有益な措置でありましよう。この質問も興味を喚起させたり，思考を促進したり，刺戟したりする為に開会と同時に用いることが望ましい一つではないでしようか。この質問も誘導質問，事実質問，直接質問，概括質問，一般質問等の型がありますが，これらを会議の運行に最も効果的になすことが，所謂質問技術の使い分けとなるので，大切な事柄と思われますと同時に指導又は司会の上手下手が分れる分岐点ともなるものと思われます。

立場を換えて考えれば，指導者は参加者からの質問を受ける場合，それに対して全部を答えてしまつてはならない場合もありましようし又，指導者と特定の人だけが無制限に，質疑応答を行つていては会議は意味のないものとなつてしまい，他の参加者と指導者とはよそよそしくなつて，会議全体の運行上は実にまずい結果となりますから特に注意が必要でありましよう。すべて質問に対しては，いちいち答えるかわりにできるだけ多く他の参加者に答弁したり，また経験や意見を求めるようにすべきでありましよう。従つて個々の参加者の意見を徴することによつて，指導者は構成参加者の背景や物の見方をうかがい知ることもでき，又客観的な立場から指示を与えることもできる結果ともなるものです。其の上自分の見解が思い上つたものとして取られることもなくてすむわけでありましよう。

参考までに或る会社で作つた会議指導概要を拝借してみますと（原文のまゝ）

某社の会議指導の仕方

第1段階——会議の開会

1. 挨拶＝参加者をして楽な気持にする——親しく迎える。
2. 会議の目的を述べる＝到達すべき目的，会議を開くまでの経過を顧みる。討論すべき問題または，課題を発表し，会議の順序を決める。

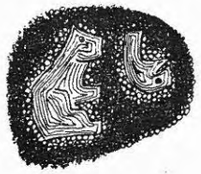
第2段階——課題の提出

次の各方法の中のいずれか一つの方法で討議をする。

（41頁へ）

法律のしおり

自動車の関係法令



管財課　川　又　一　雄

最近は仙台にも赤・青・黄の信号機が各所に設けられて信号を無視して歩くことができなくなつた。本舘から分舘へ行く名掛丁の僅か数米巾の道路を横断するにも分舘から電業会館へ行く東二番丁道路にしても神経を使わずに横断することは難しい。まして田舎者が上京しておびたゞしい自動車の氾濫や特攻タクシーに驚異を懐くのは当然のことである。

自動車の普及状態はその国の文化のバロメーターと云われるが，アメリカでは2.7人に1台の割合で自動車を持ちイギリスは12人に1台フランスは13人に1台西ドイツは23人に1台イタリーは40人に1台ソヴイエトは74人に1台で日本は107人に1台の割合になつている。この割合から見ると日本の水準の程度が分るが，戦後仕事の能率化が重視され時間と労力を節約するために各方面で自動車を使用して経営の合理化を進める傾向が強くなつて来た。東北電力には約600台の自動車が第1線で稼動しているから，50人に1台の割で使用していることになる。もつとも昨日までは徒歩か自転車で不点事故修理に行つていた電工さんが今では2サイクル125CCのバイクモーターでサービスにとびまわつているのだから進歩したと云へるだろう。マイクロ施設が完備し，ヘリコプターが増強され電気料金が機械で計算される時代を考えれば「足」の機械化もあたりまいのことだと云える。自動車と云つても会社には各種の自動車があつて各々作業目的によつて車種，構造，性能が異つている。①資材運搬のための貨物自動車（普通貨物自動車，小型四輪車，自動三輪車等）②人員輸送のための乗用車（普通乗用車，ランドロバー等）をはじめとし③送電線の保守に使用される保線車（ジープ）④配電工事用の配電作業車（ウインチつき小型四輪車）及びクレーン車（特種車）⑤発変電所の保守修理のための修理車（ジープ）⑥通信線保守のための通信車（ジープ）⑦建設工事用のブルトーザー・アングルトーザー・ダンプカー⑧その他冬季積雪地で使用する雪上車，啓蒙宣伝用のサービスカー等がある。これらの自動車の外に原動機付自転車（所謂バイクモーター）が200台以上あり配電作業用として市民に親しまれているから車両の総数は800台から1,000台近くに達し，従業員30人に1台の割で使用することになりヨーロツパ並の普及率と言い得る。これを操縦する社員も従つて相当の数になる。

自動車の運転は車の動し方を知つて居れば誰にでもできるわけではない。大型バスからオートバイ，スクーターに至るまで例外なく免許証（又は許可証）が必要である。免許証は自動車運転者試験に合格しなければならない。試験は身体検査，技能試験，交通関係法規の筆記試験，自動車の構造及び取扱方法についての筆記試験とがある。技能試験はコースと路上試験とに分れ，コースは何種類かの課題即ち，制限区域内でのS型の前進後退，クランク，車庫入れ，急坂路等を制限時間内に操縦する技能が試験される。これが終ると実際に市内の道路を試験官同乗の下に運転させられる。運転中に試験官よりダブルクラツチを使つて減速せよとかギヤーをトツプまでもつて行けとか課題が出

される。これらの技能試験に合格すると筆記試験が待つている。筆記試験は若干の筆記問題（宮城県では19問中2問）を除き他は凡べてショートアンサー式である。例えば次のような風に出る。

問 1. 雑沓の場所で自動車をバツクさせるとき運転者はあらかじめどんな用心をすべきか。

(1) バツクミラーをのぞきながら後退させる。

(2) 警笛を鳴らして後退する。

(3) ドアを開けてバツクする間うしろを注視する。

(4) 自動車から降りて自動車の後方を見た上なるべく人手をかりて助手の役をしてもらう。

問 2. 次のうち出発地警察署長の許可を要するのはどれか。

(1) 緊急の需用があるとき乗用車の屋根の上に荷物を積載しようとするとき。

(2) 緊急の需用があるときバスに乗車定員を越えて人を乗車させようとするとき。

(3) 貨物自動車に最大積載量の土砂を積載するとき。

(4) 道路において自動車の運転練習をするとき。

問 3. エンヂン過熱の原因は次の何か。

(1) 長距離の運転。

(2) マフラーにカーボンの堆積。

(3) オイルの不足。

(4) フアンベルトの弛み。

……と云つた類である。これで法規は80点以上，構造試験は60点以上（何づれも100点満点）あれば合格となる。

こうした厳重な試験にパスして来た者が実際に運転しても新聞に交通事故の記事がのらない日がない位多くの事故が起きている。その原因は何づれの側にあれ交通の安全を願うのは誰しも当然であり，国家も交通に関して一定のルールを作つてこれを運転者にも歩行者にも守らせることにより交通の安全を保ち，相互の危険防止を図つている。いま自動車に関係する法令をあげて見ると，

1. 道路交通取締法（昭22.11.8 法130）
2. 道路交通取締法施行令（昭28.8.31 政令261号）
3. 道路交通取締法施行規則（昭28.8.31 総54号）
4. 道路標識令（昭25.3.31 総建1号）
5. 交通事件即決裁判手続法（昭29.5.18 法113号）
6. 道路運送車両法（昭26.6.1 法第185号）
7. 道路運送車両法施行法（昭26.6.1 法186号）
8. 道路運送車両法施行令（昭26.6.30 政254号）
9. 自動車登録令（昭26.6.30 政256号）
10. 道路運送車両法施行規則（昭26.8.16 運74号）
11. 自動車登録規則（昭26.7.14 運62号）
12. 道路運送車両の保安基準（昭26.7.28 運67号）
13. 自動車損害賠償保障法（昭30.7.29 法97）
14. 道路を通行する諸車若しくは軌道車の構造及び装置の調整又は警告書の交付等に関する命令（昭24.10.31 総運1号）
15. 自動車整備基準（昭29.7.20 運40号）
16. 一般旅客自動車運送事業用自動車の運転者の要件に関する政令（昭26.6.30 政251号）
17. 道路法（昭27.6.10 法180号）
18. 道路法施行法（昭27.6.10 法181号）
19. 道路法施行令（昭27.12.4 政479号）
20. 消防法（昭25.5.17 法186号）
21. 各都道府県条令

等々で自動車関係者は一応知つて置かなければならないものばかりである。運転者が運転実施の上最も関係深いものをこれらの内から若干拾つて見る。

自動車運転上最も運転に関係深い法律は道路交通取締法である。これは道路上の危険防止と交通の安全を図ることを目的としている。この法律で云う道路は①道路法による道路②自動車道③一般交通の用に供するその他の場所を意味している。道路法の道路とは一般交通の用に供する国道，都道府県道，市町村道のことでトンネル，橋，渡船施設も含まれているからトンネルの中なら自動車は右側を通つても好いと云うことにはならない。自動車道は自動車専用の通路のことで最近の話題となつている有料道路もこれで，東海道弾丸道路計画，北海道から鹿児島までを貫く国土開発の縦貫道路計画等が実現すれば日本にも画期的な自動車道ができることになる。これらの道路の上に私道とか駅

前の広場とか一般公衆の交通の用に供する場所も道路として取扱うことになつて居り，危険の防止と交通の安全とを図つている。

道路を使用して交通するものは車馬と人間であるが法律は車馬を牛馬と諸車に分けて定義している。即ち牛馬とは交通運輸に使役する家畜を指し田畑で農耕に従事している牛馬は道路交通取締法上の牛馬ではないことになる。諸車とは人力，畜力，その他の動力によつて運転する軌道車或は小児車以外の車を云い，そりは諸車とみなされている。

法律は自動車を規定して道路に於いて原動機を用い軌道乃至架線によらないで運転する諸車であつて原動機付自転車以外のものとしている。

原動機付自転車とは所謂モーターバイク，スクーター等のことで，道路に於いて命令で定める総排気量又は定格出力を有する原動機を用い軌条又は架線によらないで運転する諸車のことである。こゝで云う命令とは道路交通取締法施行規則のことで同規則第1条に原動機付自転車を第1種，第2種に分類して

1, 第1種原動機付自転車――内燃機関を原動機とするものにあつては，その総排気量は0.050リツトル以下，内燃機以外のものを原動機とするものにあつてはその定格出力は0.60キロワツト以下のもの

2. 第2種原動機付自転車――前1輪により操向する自動2輪車の類（サイドカーの類を除く）で，内燃機関を原動機とするものにあつては，その総排気量は0.125リツトル以下のもの及び内燃機関以外のものを原動機とするものにあつては，その定格出力は1.00キロワツト以下のものゝうち，第1種原動機付自転車以外のもの。

と規定されている。簡単に云えば125CC以下のものを原動機付自転車と云いそれ以上のものを自動車としたのである。

（註） 当社では車両をモーターを有する車と定義したが，要するに第2種原動機付自転車及び自動車を総称するもの。

自動車はその大きさ，構造，エンヂンの性能を基準として普通自動車，けん引自動車，特殊作業用自動車，特種自動車，小型自動四輪車，自動三輪車，側車付自動二輪車，自動二輪車及び軽自動車に区別され運転免許も各々異つている。

道路交通取締法で規定するルールの第一は対面交通である。現在ではもう馴れたが戦前は左側通行であつた。車でも人間でも左側を通りさえすればよかつた。私が小学校に入つた時学校は町はづれにあつたため交通頻繁な繁華街を通り電車道を横断して通わなければならなかつた。当時私は右と左がどうしても覚えられなくて母親が洋服の左の手の先の方に白布を小さく縫付けて呉れて，白布のある側の道路を歩いたことを今でも覚えている。しかし雨の日などゴムの雨合羽を頭から被つて登校するので背後から来る車の音が聞えず今考えると危険なことでもあつた。

戦後はアメリカ式の交通方法に改められ人間と車馬が対面して通行することになつた。歩行者は道路の右側に車馬は左側によつて通行しなければならない。但し歩道と車道の区別のある道路では歩行者は道路の左側の歩道を通行することができる。（道路交通取締法3条）勿論歩道と車道の区別ある道路では歩行者又は車馬はその区別に従つて通行しなければならない。（同法4条）但し学生生徒の隊列とか葬列，武者行列，はしご竹ざお等の長大な物件を運搬する場合は車道の右側端を通行して前方から来る車馬に対面することになつている。

歩行者が道路を横断するときは横断歩道がある場所の附近では横断歩道を使つて横断しなければならない。附近に横断歩道がない場合は已むを得ないから道路を横断しても好いが斜めに横断さえしなければよい。道路を直角に横切らずに斜めに横切ることは我々がよくやるがこれは規定（同法施行令9条）により科料に処せられる（同法施行令第74条）から注意した方が好い。それから歩行者は諸車，軌道車の直前又は直後で道路を横断するのを禁止されている。但し交通整理の行われている道路の部分を信号に従つて横断する場合は例外である。

車馬も斜めに道路を横断してはならないし，歩道を横断することも禁止されている。（同法施行令13条）但し歩道にガソリンスタンドがあつたり引越荷物の積

卸運搬等のためやむを得ない場合は歩行者に注意して徐行して横断することができる。(同法施行令13条 2項) これに対し車馬が絶対に通れない処がある。安全地帯である。即ち車馬は安全地帯の通過も乗り入れも共に禁止されている。(同法施行令12条) それから車馬は軌道敷内をやむを得ない場合に通行しても好いことになつているが，軌道車から合図があつた場合はできる限り速に軌道敷外に出なければならない。(同法施行令14条)

次に運転操作上のルールとして無謀操縦を禁止している。(同法7条) 無謀操縦とは次の事項である。

1. 重大な故障などにより安全に操縦できない車馬，軌道車を操縦すること。
2. 無免許で運転すること。
3. 酩酊運転或は正常運転のできない者が運転すること。
4. たずな，ハンドルの手放しなど安全操縦を怠つて操縦すること。
5. 速度超過，ジクザク運転等他の交通に不当に迷惑を及ぼす方法で運転すること。

この規定に違反した者は3ケ月以下の懲役，5,000円以下の罰金又は科料に処せられる。(同法28条) これに違反することは運転者として最も恥づかしいことであるが制限速度以上に走らせたり仕業点検を怠つて重大な故障のあるのに気づかずに操縦して事故を起したりすることは往々あることであるから特に注意する必要がある。

操縦者は無謀操縦しないことは当然として道路の構造状況，その時の交通量及び自己の積載量等より判断して一般市民に危害を及ぼさないような速度と方法で操縦しなければならない。(道路交通取締法第8条1項) つまり状況に即応した方法と速度で操縦する必要がある。この他更に操縦者の操縦上遵守すべき事項として道路交通取締法施行令17条は次のことを要求している。

1. 必要以外はみだりに警音器をならさない。
2. 騒音防止装置を用いない自動車，原動機つき自転車を運転しない。
3. 多量の煙，ガスなどを放出しながら運転しない
4. ガス臭気が運転室に入るような自動車を運転しない。
5. 前方または側面ガラスが不完全で運転者の視野を妨げるような自動車を運転しない。
6. 運転操作の妨げとなる室内燈をつけない。
7. とびらを閉じるか鎖ロープなどで顛落防止を施して諸車を運転すること。
8. 後退以外は，後退灯をつけない。
9. ハンドル，ブレーキ，灯など構造装置が不完全で危険な諸車を運転しない。
10. 泥土・汚水をとばし，他の妨害になるような運転をしない。
11. メクラ，又はツンボが白色の杖を持つているときは，一時停車又は徐行して通行を妨げない。
12. その他，公安委員会で定めた事項を守らなければならない。

これに違反した場合3,000円以下の罰金又は科料に処せられる。(同法施行令)

スピードのルールについては自動車の最高速度を道路交通取締法施行令15条は次のように規定している。

1. 専門に人を運搬する構造の自動車で乗車人員10人以下のものは，昼間60キロメートル，夜間50キロメートル。但し小型四輪車で全長3.8メートル未満のもの，自動三輪車，軽自動車は除く。
2. 1項以外の自動車は昼間40キロメートル，夜間35キロメートル。

この他第1種原動機付自転車は毎時25キロメートル，第2種原動機付自転車は昼間毎時40キロメートル夜間毎時35キロメートル，けん引車の場合はその状況に応じ別途規定されて居る。しかしこれらは最高速度であつて公安委員会は道路，区域，時間を限りこの範囲内で速度の制限をすることができるから運転中は道路標識令 (昭25.3.31 総理府建設省令1号) の指導標識に絶えず注意して居なければならないことになる。速度の問題ではこの他に消防自動車，救急自動車，警察自動車，防衛庁用自動車，検察庁犯罪捜査用自動車及び公共用応急作業用自動車は前記最高速度を超えて最高速度の制限を定めることができることになつている。(法第10条3項) 例えば宮城県では昼夜間の区別

なく毎時70キロメートル。

(註) 道路交通取締法施行規則第2条による公共用応急作業用自動車としての指定は都道府県警察本部長から得られる。当社の各種作業車はこれに該当する。

車馬，軌道車相互の間には通行順位がある。その順位は

1. 緊急自動車
2. 軌道車
3. 緊急自動車以外の自動車
4. 原動機付自転車
5. 自動車及び原動機付自転車以外の車馬

の順となつて居り第3号の自動車相互間の順位は前記最高速度の順序によることになつている。(同法16条) この順序によつて前方にある車馬を追越すことができるわけである。追越の方法についても各ケース毎にルールがあるがこゝでは省略する。

追越でなく追従する場合が度々運転中に起る。この場合は交通の安全を確保するため必要な距離を保たなければならない。(同法施行令22条) 必要な距離とは道路運送車両の保安基準 (昭26.7.28 運輸省令67号) 第12条に次の如き制動装置の能力が要求されている。

最高速度 (キロメートル毎時)	制動初速度 (キロメートル毎時)	停止距離 (メートル)
80以上	50	22以下
35以上 80未満	35	14以下
25以上 35未満	25	10以下
15以上 25未満	15	5以下
15未満	その最高速度	5以下

自己の自動車のブレーキ能力と走つている時のスピードとより割り出された距離が「必要な距離」となる。これが瞬間的に頭に出なければ実際には役立たないのであるから長く自動車を取扱つている運転者にはかなわない。この「必要な距離」は前方を走る自動車が急ストツプしたのを発見してそれに即応して後方の自動車がブレーキをかけた場合前方の自動車に追突しない位置で停止できる距離となる。追突した場合はいかなる事情にあつても追突した後方の自動車が責任を負わされる理由もこの規定に基づくものであり，制動能力を常に規定通り要求している理由も此処にあるのである。

これらのルールの他に踏切通過の方法，停車駐車の方法，徐行の場所，停車駐車禁止の場所，乗車制限積載制限のルール，交通信号，燈火の問題等に夫々具体的に規定されているからこれらの規定通り運転し或は歩行すれば交通事故は発生しないことになつている。以上のルールは交通取締法関係の法令であるがその他にも前記の通り多数の関係法令があるので簡単に紹介する。

道路標識令は道路管理者又は都道府県公安委員会が道路の保全・交通の安全或は交通の円滑を図るために道路標識を設置するための命令で案内標識，警戒標識，禁止標識，指導標識，指示標識の五種がある。

交通事件即決裁判手続法は前記交通取締法に違反する罪に当る事件の迅速適正な処理を図るため即決裁判に関する手続を定めたもので，被告人がこの手続に異議のあるときは即決裁判をすることはできない。又即決裁判の宣告があつたときはその宣告のあつた日から14日以内に正式裁判 (刑事訴訟法に基づく) を請求することができるようになつている。

道路運送車両法は自動車の所有権についての公証を行い，保安基準を定め，自動車整備事業の健全な発達を目的としている法律で，自動車の登録・車体検査・保安基準・整備及び整備事業等について規定している。陸運事務所に行つて自動車ナンバーをもらつたり，継続検査を受けたり，各車両の保安基準決定の根拠を定め，毎日の仕業点検を義務づけたり，自動車修理工場の認証基準を定めたりするのがこの法律の内容である。この法律から同法施行法，同法施行令，同法施行規則，自動車登録令，自動車登録規則，道路運送車両の保安基準等が関係法令として出て来ている。この中でも道路運送車両の保安基準は必ず知つて置かねばならぬことが多く規定されている。自動車の長さ，巾及び高さ，車両総重量，最低地上高，安定性，最小回転半径，各部各装置，燈火，警音器等について具体的且つ詳細に規定されていてこれに合致しない自動車は車体検査証が得られず運行できないことになる。これだけ厳重に規定しても「自動車」と云う機械は機械なるが故に損耗もし破損もするから絶えず各部の点検はして置かなければならない。道路運送車両法第47条により自動車を運行する者は1日1回その運行の開始前において運輸省令で定める技術上の基準により自動車を点検しなければならないと規定されている処の所謂仕業検点は必ず励行することが肝要である。この技術上の基準は自動車整備基準 (昭26.8.10運70号) に

規定されている。点検個所は次の事項となつている。

1. 操縦装置
   (イ) かじ取ハンドル（甚しい遊び・ガタ・等がないこと）
   (ロ) かじ取装置の運動部（ゆがみ・ガタ・損傷がないこと）
   (ハ) かじ取ホーク（き裂・曲りがなく且つ前車輪に甚しい傾きがないこと）
2. 制動装置
   (イ) ブレーキ・ペダル及びブレーキレバー（①油圧ブレーキの配管中に空気が混入してないこと，②ペタルと床板とのすき間が適当にあること，③ハンドブレーキのラチツエツトのかみ具合が良好なこと，レバーの引しろの余裕があること，④フートブレーキのききが充分であること）
   (ロ) ブレーキ・ホース（油漏れがないこと）
   (ハ) ブレーキ・ロツドの運動部（ゆがみ・損傷のないこと）
   (ニ) 空気タンク及び空気圧力計
3. 走行装置
   (イ) 車輪（ボルト及びナツトの締付が十分であること，車輪に損傷のないこと）
4. 緩衝装置
   (イ) シヤシばね（き裂・折損・ゆるみがないこと）
5. その他の装置
   (イ) 前照灯・番号灯・尾灯・制動灯及び車幅灯（点滅具合）
   (ロ) 警音器・方向指示器及び窓ふき器（作用が良好なこと）
   (ハ) 後写鏡（取付具合・写影が良好なこと）
   (ニ) 速度計（作用が良好なこと）

以上の点検を義務づけられているが実際に車輛を取り扱つていると馴れて来て一部省略したり，同一車輛に多数の運転者が居ると他人まかせになるから特に注意したい。

自動車損害賠償保障法は自動車の運行にあたつて人の生命又は身体が害された場合の損害賠償を保障する制度を確立したものである。この制度は本年の2月から実施され，この法律により自動車賠償責任保険を各自動車1台毎につけることが強制された。即ち保険証がないと運行できずこの規定に違反すると3ケ月以下の懲役又は3万円以下の罰金に処せられる。（同法87条）従つて自動車を運転するときは車体検査証と運転免許証の他にこの保険証を常に携帯して居なければならなくなつたものである。この法律は自動車による人身事故について無過失責任主義をとり，自動車側に故意過失がないと同時に被害者又は第三者に故意過失のあつたことを自動車側が挙証できない限り賠償責任が自動車側にあることとしているのが特色の1つである。保険金額は死亡した者は1人につき30万円まで，傷害を受けた者は1人につき重傷10万円まで軽傷者3万円までの限度内で実際に損害を受けた金額の保険金が支払われ，ひき逃げで自動車が分らない場合も政府が被害者に支払うことになつている。

道路を通行する諸車若しくは軌道車の構造及び装置の調整又は警告書の交付等に関する命令と云うのは，諸車，軌道車は法令で定められた危険防止及びその他の交通の安全のために必要な構造，装置が備えられて居らねばならず且つそれらは正しく調整されてなければならない。警察官が求めて検査を行つた場合無謀操縦の各号の1に該当する諸車，軌道車の使用主又は操縦者に対し必要な構造或は装置を備え又は必要な調整をすべき旨の警告書を交付する。警告書を受けた使用主又は操縦者は指示された期間内に修理して警察署長に届出て確認を受けなければならないものである。これには3,000円以下の罰金又は科料が規定されている。

このように交通関係の法令は多数あり交通のルールが組立てられているわけであるが，運転者は勿論のこと自動車を利用する者は文化人の教養としてこれらの知識を身につけて置くべきではないだろうか。特に運転者は法令の内容をよく覚えるまで読むべきである云々と書くと野暮に聞えるかも知れないが，運転技術とともに法令をよく身につけて置けばやがて国民車が普及して1家庭1台の夢が実現しないとも限らないと考えたらいかがだろう。ちなみに通産省の国民車構想は超小型乗用車のことで，エンヂンは350ccから500ccの小型なもの，最高速度毎時100キロメートル以上，燃料消費量は1リツトル当り30キロメートル，耐久力は100,000キロメートル以上大修理なしに走行できるもの，乗車定員4名，値格は15万円以下，スタイルは斬新なもの……と云うのだから理くつ抜きで夢を持つても好くはないだろうか。



はしがき

昨年迄2ケ年続いたりんご不作も本年は開花期の天候に恵まれ，又心配された二百十日も無事に過ぎ，戦後最高の2,400万箱以上の大豊作が予想されますので，これから一つ皆様に大いにりんごを食べて戴くという意味からも，青森りんごの生産状況と最近の電化面についてその概況を御報告致します。

りんごの歴史

青森りんごは昨年の8月丁度80週年の記念祭が弘前城を中心に繰りひろげられたのであるから，本年は81年になる訳であります。どうしてりんごを栽培するようになつたかは，ものゝ本によりますと，当時の内務省勧業寮から苗木30本の交付を受け，これを県庁の構内に栽植したのが始まりとされています。これを当時の津軽藩の武士くずれの，にわか農業の人々が，単作農業で現金収入が少く生活にも困窮する状況であつたので，せめてもの小遣銭かせぎの気持で屋敷や畑地に栽植したものが，今日かように平年作で2,000万箱，大約百億円の生産を挙げるに至つた訳であります。

生産の現況

小遣銭かせぎから始まつたりんご栽培も現在に於ては下表の通り作付面積は，2万500町歩に亘り農家数も4万3千戸に及んで居り，その中心地帯は何んと言つても弘前地区で県下の6～70%を占めて居る現況であります。りんごにも色々と品種があり，早生ものは8月から収穫出来るものもあり，又国光（一名雪の下）のように雪の中でも収穫するものもある訳で，その品種別の栽植樹数は次のようになつて居ります。

りんごの栽培も漸次改良されつゝありますが最近の傾向を示すと，

草生栽培

従来はりんご園内には草一本生さず見事に除草されて居るものが精農家と言われて来たが，最近は草生栽培と申しまして樹園内の全面に亘つて牧草やらい麦のような飼料作物を植付けて，土壌内の水分の保持，調節を図り，或いは落下りんごのいたみを少くする等の目途と，相当量の飼料の採集或いは緑肥が出来ると謂う訳で近年漸次斯様な草生栽培が多くなりつゝあります。

地区別リンゴ予想収穫高（31年度）



地区別作付及び生産状況

地区別	市郡別	農家数	作付面積	生産状況（箱）	
				30年実績	31年予想
		(戸)	(町)		
青森	青森市 東郡	1,786	744	307,500	655,000
弘前	弘前市，黒石市 南郡，中郡	22,788	12,224	6,005,500	15,628,000
五所川原	五所川原市 西郡，北郡	9,755	4,245	1,996,500	5,361,000
八戸	八戸市 三戸郡	7,193	2,593	832,500	2,923,000
三本木	三本木市 上北郡	1,867	591	158,000	289,000
田名部	下北郡	284	104	20,000	57,000
計	6市 8郡	43,673	20,501	9,320,000	24,913,000

品種別りんご樹数　（30年度）

品種別	本数	割合
		%
総数	3,607,558	100
祝	113,703	3.1
旭	109,447	3.
紅絞	18,881	
紅玉	1,159,068	32.
デリシヤス系	128,557	3.5
国光	1,897,221	52.
印度	130,894	3.6
その他	49,787	

無袋栽培

生産コストの引下げと，農繁田植時期の労力対策から袋掛けの手数を省く栽培には相当以前から苦心工夫されて来たが，最近ようやく次に記述する薬剤散布の進歩，就中共同防除による適期に大量に然も短時間に，期間中に数多く散布することの可能等から，無袋でも比較的被害果が少ないことが解り，無袋栽培のものが年々多くなりつゝあり，本年あたりは約半数の1万町歩近くのものが無袋栽培であるようです。

又一部篤農家では一般品種のりんご園の周囲等に害虫（なしひめしんくい蛾）の好む品種のものを植付け之れに多くの害虫を誘引し，所謂犠牲樹とする方法を用いて居る人もあります。

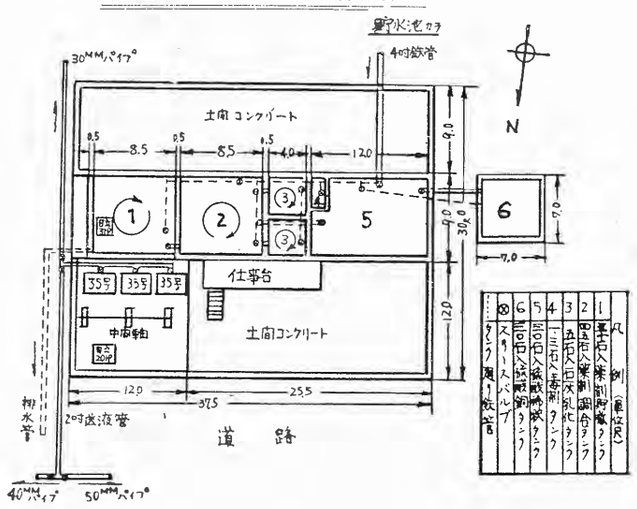
共同防除と電化

薬剤散布は従来農家各戸が自己のりんご園に対し石油発動機又は電動機によつて動力薬散を行つて来たが，適期に適量の農薬を散布することは仲々至難であつて，折角大部分の樹園に散布しても，一部の農家が何かの都合で散布を怠たるときは，害虫や細菌が思わざる所から発生し，これが防除に困難を招来した例は少くない。

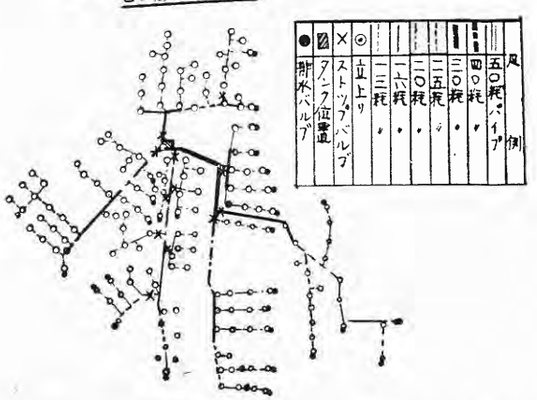
青森りんごの中心地である弘前市下湯口（旧清水村）では，昨年より「下湯口共同防除組合」を結成し組合員33名，りんご園の面積27町6反（最高 2町歩，最低2反歩平均8.4反），従来23台の動力噴霧機によつて夫々一回の散布に2日で200人を動員してやつたものが，共同防除施設の完成によつて本年4月より実施中であるが，本施設によるときは70人で1日で完全に散布することが出来，大いに成果を挙げつゝあります。

斯様に共同防除の効果が認められ下湯口共同防除組合も更に第2期，第3期の工事計画を樹立して居るが，関係市町村も愈々これが施設に本腰を入れるようになり，市町村の補助，融資を受け各地に共同防除施設が計画されて居るが，岩木山麓の新和村附近でもこれと

弘前市下湯口第一共同防除組合



弘前市下湯口第一共同防除組合
ビニールパイプ配管図



略々同じ施設4ケ所が目下工事中で，明春稼動するような情況であるので，他の町村に於ても樹園の集団して居る地区にあつては，近き将来に共同化されるものと思考される。

個人作業から集約電化へ

農家個人の作業を基調とした従来の電化方法は，広いりんご園に対し各々農家0.5反～1町歩毎に配電線を夫々延長し，2.～3馬力のモーターを臨時に期間中使用して居る情況で其の利用率は極めて低く，電気料金も殆んど基本料金程度のものであり，又配電線の維持保修にも手をやいて居つた訳であるが，これからの共同防除によるときは少く共2～30町歩毎に2～30馬力の電力設備となり，配電も簡素となり契約単位も共同組合が対象となり，供給種別も設備常置の季節電力扱となり非常に明確化される訳である。そうしてこの集約電化が中心となり，共同作業から共同出荷へと更に進展するものと思考される。

りんごの消費状況

県内の消費量はりんごの豊凶作によつて多少は異なるが大約生産量の一割即ち2～3万箱程度と謂われて居るから，生産量の大部分のものは県外東京都の大口需用を初め全国各県に輸出されて居るのでその輸送が問題となるのも又当然で，本年のように大豊作ともなれば今から貨車の手配計画に大童である。今仮りに貨車一輌に平均400箱と見て2000万箱では5万輌を要する勘定となる訳である。

更に最近は国際条件の緩和と相俟つて海外にも台湾バナナとのバター制を始め中近東諸国にも年々輸出が増加しつゝある傾向にある。

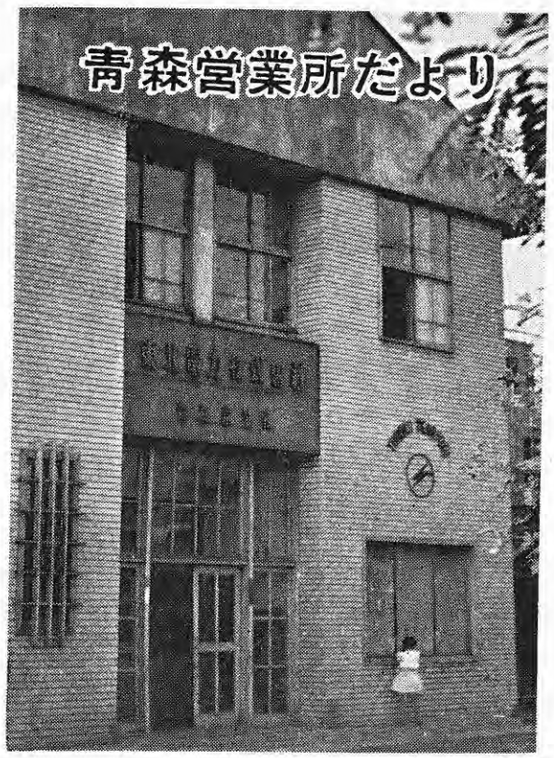
加工面への利用

りんごは生で食べるのが一番美味しいとされて居るので，殆んど生の儘で消費されて居るが，最近はこれを加工してりんごヂヤム又はジユースとするため県内に数十社の加工場がある訳であるが，2年続きの不作で中には休止状態のものもあつたが，本年から又活潑に稼動するものと予想される。然し県内の加工場の大部分は最終製品として生産するものが少なく，ジヤム，ケチヤツプ，ソース等の原料となる半製品のボイル，パルプ（りんごを切断し煮熟したもの又は之れを裏漉したもの）として大部分は県外に輸送されて居る現況である。

処が昨年より弘前市内に朝日ビールの姉妹会社である朝日シードル会社が設立され，シードル（フランス語ではサイダー）を我が国初めての試みとして本格的に製造中で（本年は1万石を醸造の由）あるので，今後の発展が期待される。因みにシードル酒性分はビールの半分の4％だそうで御婦人向きに出来て居るそうです。

（弘前営業所）





青森市の沿革

「右は下北　左は津軽
両の岬の　腕に抱かれ
何を夢みる　青森みなと
ほんにそよ風　　子守唄
ハア港まつりだ　　皆出て踊れ
踊りやお国も　　輪も太る」

軽快な港音頭のリズムが流れ，みちのくの夏を彩る豪壮華麗な青森港祭りは，8月3日から7日迄5日間，青森市民を興奮の坩堝に溶かし込み，近郷近在からの人出は引きも切らず，その繰り拡げられるプログラムはさながら絢爛たる絵巻物を見る心地である。このような青森市も，今を去る380有余年前即ち元亀天正年間，津軽初代藩主為信公が全郡を治めるまでは，善知鳥（ウトウ）と呼ばれる一寒村に過ぎず，東に蜆貝（シジミカイ），西に安方の漁人部落が点在するのみであつた。

寛永元年津軽2代藩主信牧公はよく父為信公の遺志を継ぎ，産業，運輸，交通，山林等各般に亘つて積極政策を採り，従来の油川港が位置の上から不便の点が多い為と，且つは人心を一新する必要もあつて，新に善知鳥村に開港奉行を置き，同時に地名も「青森村」と改めた。

「青森」という名称の起りは，善知鳥村の東方に磯馴松の生い茂つた小高い丘があり，4季を通じて鮮かな線を呈し，入港する漁船の好目標となり「青森」と呼ばれていたものを，当時の開港奉行森山弥七郎がこれをとつて地名を選定し，藩主に進言して名付けたものであると伝えられている。

信牧公の意を体した森山弥七郎は開港奉行として港の発展に意を用い，青森村を区画整理し，藩の保護政策のもとに他地方からの移住を奨励し，広く商人を招き船舶を集めて鋭意港の発展を計つた結果，開港以来60余年，貞享4年には青森町と改められ，戸数も1千余戸に達し，殆んど旧観を一変するの盛況を呈した。

其の後幾変遷，時に多少の衰退はあつたにせよ，北海道との連絡港として，又商業都市として年々隆盛の一途を辿りつゝあつた

青森営業所管内図



が，昭和20年7月28日夜の戦災に依り全市殆んど烏有に帰した。即ち

戦災面積　572,880坪同　同戸数　15,208戸
罹災者　　85,000名　死傷　1,763名

此の未曽有の戦災は市の発展上一大障害となつたが，戦後の復興は誠に目覚しく，新しい都市計画と港湾整備は着々と進捗し，又近接町村との合併も促進され，現在は

戸数　38,008戸　　人口　190,093人

を有する東北第2の大都市に躍進した。

青森市電気事業の沿革

青森市に於ける電気事業の始まりは，明治26年弘前の今村八五郎と函館の富田由松の両名が共同して，青森に500灯の電気会社を創立すべく，資本金1万5千円の事業計画を出願した。

之れを聞いた初代青森町長柿崎忠兵衛は大坂金助と相謀り，町長の子息柿崎善祐をして其の旨を含めて町内の主立（オモダチ）間を奔走させた結果，渡辺佐助，淡谷清蔵，小林長兵衛，伊藤善五郎等7名を発起人として，資本金3万円の青森電灯株式会社の創業を図り，明治26年11月27日営業許可の申請を為し，明治28年4月15日，前の請願者今村八五郎に優先して青森県知事から許可を与えられ，その建設工事は明治30年1月21日遂に竣工し，3月4日迄試験点灯して無料送電を行い，3月10日塩町中村座に於て盛大な開業式を行つている。

青森電灯の消長も日本の電気事業のそれの様に，創業時代，生長時代，飛躍時代，競争時代を経て，昭和9年県営電気事業創業に依る買収迄，2代目大坂金助社長統率の下に健全な経営を示していた。

昭和9年4月1日の県営電気事業創業は，冷害凶作の救済，県財政の建直し等の要請に基き，昭和17年4月配電統制令に依る統合迄永く一般需用家に「県電」の名で親しまれ，県財政に寄与する所尠からざるもの有り，青森県史の一頁に大きな足跡を残したものと云うべきである。

尚県電創業に当り，県営，市営が相対して譲らず，県知事多久安信と青森市長北山一郎の一騎討も今は昔の物語りとなつた。

営業所の変遷

昭和9年県営電気創業に依り，それまでの青森電灯の本社屋（現在青森支店）が県電青森営業所となり，本局が県庁構内に新築された。

昭和17年5月配電統合後，本局は東北配電青森支店となり，営業所に移転同居した。昭和20年の戦災には幸にも難を免がれたが「廂を貸して主家を取られ」営業所の市内中央部進出の議が出て，昭和26年12月現在地（寺町45番地）に新築移転した。営業所は

着工　昭和26年8月　落成　同年12月24日
敷地　440坪　　建坪　289坪
建設費　　1,010万円

営業所々在地の北側国道通りには日銀支店が白堊の偉容を誇り，其の東隣りは目下市役所庁舎（鉄筋4階建，工費1億1千万円）を建設中で，営業所東隣は公益質屋，西隣は児童相談所，向いには粋な名前の料亭もあるという地の利に恵まれた絶好の場所である。

惜しむらくは敷地の狭隘なことである！

事業概況

供給区域　青森市及び東津軽郡3町4ケ村

発電所	5ケ所	変電所	5ケ所
所名	最大出力	所名	
嘉瀬子内	6,700KW	沖館	20,000KVA
上松沢	3,600〃	浪打	6,000〃
大不動	1,420〃	瀬辺地	1,500〃
寒水沢	1,060〃	小湊	900〃
矢別	2,000〃	浅虫	600〃

従業員　228名

総務課　13　経理課　11　工務課　45
営業課　営業係　18　料金係　22
散宿所　電工　29　集金員　7
保線所　15　発電所　46　変電所　22

営業概況

昭和20年8月の戦災は旧市内の90%を灰燼に帰したが，その後の復興も著しく，一方港湾整備を強化拡充，

電灯電力年度別供給種別需用調表

業種別 / 年度別	電灯 口数	電灯 灯個数(契約KW) 定額	従量	計 灯個数	計 KW	電力 口数	契約KW 業務用	小口 50KW未満	小口 50KW以上	大口	計
昭和31年3月末	41,642	31,802	222,483	254,285	3,481	1,579	2,195	8,745	4,611	3,700	19,251
30 〃	40,587	36,422	196,536	232,958	3,197	1,450	2,573	8,513.3	4,557	2,400	18,043.5
29 〃	39,541	39,010	184,928	223,938	2,414	1,317	3,580	7,742.5	—	9,511	20,833.5
28 〃	38,344	43,951	160,979	204,930	1,804	1,218	2,091	7,325.5	—	8,531	17,947.5
27 〃	37,467	49,804	140,200	190,004	1,549	1,154	1,906	7,298	—	8,510	17,714
26 〃	36,566	55,190	118,970	174,160	1,207	1,093	1,727	6,804	—	8,390	16,921
25 〃	35,777	62,057	92,457	154,514	1,002	877	1,596	6,502	—	8,480	16,578

待望の1万噸岸壁の着工，北洋漁業の再開等に依り益々需要は増加するものと見られ，目下市内配電設備強化計画を，昭和40年度の需要想定を目途に立案している。

営業概況は上記「電灯電力年度別供給需用調表」の通りであるが，特に最近の増加率が高率を示している。

観光青森

当営業所管内は津軽，夏泊両半島の海岸線と，十和田国立公園の一部八甲田山を有し，温泉，名勝地は数多いが，特に浅虫～夏泊半島は既に県立公園の指定を受け，上磯北部（平舘～竜飛）も又近々指定を受けることが確定的である。

浅虫温泉

浅虫は青森市の東方3里，東北本線に沿う温泉場にして3面海を負い，北は青森湾に臨み，風光絶佳，山紫水明の美を極め，湯の島，裸島，鷗島等指呼の間に点在し，遙かに恐山の連峰を望み，島廻りに良く釣漁に適し「東北の熱海」と称されている。

此の海岸附近は寒暖2流の生物が多く研究に便利な処から，東北大学臨海実験所並びに附属水族館が建設され，一般の観覧に供している。なお夏は海水浴場，冬は背後地帯がスキー場として好適である。

浅虫はむかし円光大師が東国巡錫の途次，牝鹿（一説には鶴とも云われている）が温泉に浴していたのを見て，住民に浴場を作らしめたと伝えられている。浅虫は又「麻蒸」とも旧書に見られるが，里人が麻を蒸したのに依るのか，或はアイヌ語であるかは判明しない。

水族館の直前にある紅い円柱形の裸島については，——浅虫が淋しい漁村の頃，仲の良い夫婦が住んでいた。ある日大鷲が夫婦の最愛の赤ん坊をさらつて海岸近くの小島の上に止つた。之れを見た母親は，到底登れそうもないその小島に草木に摑まり乍ら登つていつたが，握つた木の根が抜け，岩が崩れ，必死に縋つたが遂に力尽き海中に落ちて了つた。この為緑の小島は母親の血で紅く染まり，草木の生えない裸の島になつた。

椿山

東北本線小湊駅で下車し，白鳥の飛来で名高い浅所を通り，海岸伝いに北西に道を辿ること3里にして椿山に至る。自生の椿が満山を掩い，大なるは周囲2m余にも達し，天然記念物に指定されている。春は紅霞漂い碧波に映じ美観筆舌に尽し難い仙境である。

むかし越前の商人横峰嘉平という男が，村の玉女と深く契り，別れるに及んで玉女は恋々の情もだし難く，再会の日は椿油を土産にと誓つた。翌年来て見れば玉女は既になく墓標のみが冷たく眠つている。嘉平は悲哀に堪えず，持つて来た椿の種子を植えたのが今日に至つたものと云い伝えられている。

荒磯に寄せ来る波も照るばかり
田沢の山に咲く玉椿

酸湯温泉

青森を去ること7里，十和田湖行の国鉄バスで2時間にして八甲田山腹の酸湯に至る。泉質は極めて強烈な硫黄泉で古来3日一巡りと称されている。背後にある高田大岳は，晩春に至るも積雪尚深く，長期に亘りスキーの醍醐味を味わうことが出来る。

昭和29年厚生省より国民温泉の指定を受け，昨冬より雪上車を運転して冬期間の交通面を改善したので，積雪に依る交通途絶の心配もなく，冬はスキー客で賑わいを呈している。特に雪上車に牽引されスキーで登山する妙味，壮快は又格別である。

隣接せる東北大学高山植物研究所及び酸湯公園は朝夕の散策に適し，附近には城ケ倉渓流の奇勝，御花菴，水蓮沼の美観，毛無岱の紅葉，新湯温泉の仙境がある。

三厩，竜飛

青森から延々69粁に及ぶ津軽半島の東海岸を上磯地方と呼んでいる。この地方は，昭和29年青森，蟹田間の国鉄開通迄はバスが唯一の交通機関で，殊に冬期間は積雪の為バスも不通となり船に頼る外なく，その船も時化の際は4，5日間も途絶えるという状態であつた。



ネブタ祭

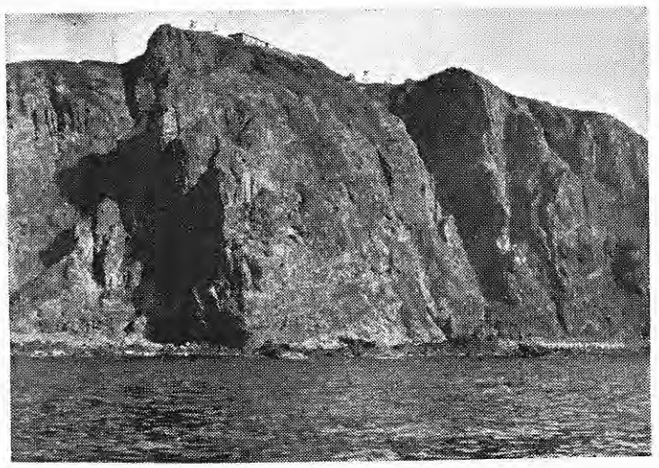
斯く恵まれない上磯地方も，かつては北海に渡る唯一のルートとして産業に文化に相当な発展を見せ，又北海道地方に大漁場を開拓して，巨富を占めた網元の多くは此の地方の住民であつたことに依つても明らかである。昔源九郎義経が兄頼朝の勘気を被り，北海道に渡る為に逃れて来たのも此処である。三厩村には義経寺があり，乗馬竜王をつないだといわれる厩石，其の他竜王山，兜岩，帯島等義経にちなんだ古跡が多い。

海底トンネルで一躍脚光を浴びた三厩は，現在津軽線の延長工事（蟹田～三厩）中であり，此の完成は独り津軽地方民の願望である許りでなく，全県民の心から待望する処である。

三厩より小型車（大型は道路狭隘の為不通）で約1時間，津軽半島最北端の竜飛岬に達する。此の凹岩をくり抜く12の洞門を通ることも，この地方ならでは味わうことの出来ない情緒である。

竜飛岬の岩脈頂上に屹然とそびえる白塁の建物は竜飛灯台にして，海上航行の船舶に33万燭光の「命の灯」

(74頁へ)



龍飛崎



受持管内のあらまし

〝仙北郡〟

地勢は，背梁山脈を越えて岩手県に接し，西は河辺，由利両郡に，北は鹿角，北秋田両郡につながり，南は平鹿郡である。

雄勝川が郡南から北に向つて流れ，途中で支流玉川と合して西方に屈曲河辺郡を抜けているが，この地方を雄物川中流地域と呼ぶ。全郡の8割が平坦な耕地で典型的な稲作単一地帯であり，米どころ秋田の代表的な地方となつている。

山岳地帯は北部と東部の奥羽山脈寄の部分で，県境には，モツコ岳，大深岳，鳥帽子岳（乳頭山），駒ケ岳，湯の森山など 1,500m 級の山々が連り，この間に田沢湖（水深425米，面積250.7平方Km，透明度39.0m）が静かに横たわつている。

この近辺は〝阿仁，田沢総合開発計画地域〟の中心で戦後にわかに開発事業が活潑になつており，県内でも注目されている地域である。

交通は国道と国鉄奥羽線が南北に走り，大曲駅から生保内駅までの生保内線が出ている。この生保内線を背梁山脈を貫通して岩手県雫石駅に通じ大曲市と盛岡市を直通させようというのが多年の宿望であつたが，昭和31年度から建設のための調査費が支出されることに決定，鷹角線の建設計画の進行とともに，この地域の将来に洋々とした前途が期待されている。

産業仙北平野は見渡す限りの美田で米の生産は40万石，しかも味のよいので有名な仙北米である。この地方の産業といえばこの米だけで工場らしいものは全く見えず，米作の豊凶，米価の高低がこの地方の表情を簡単に左右出来る。

奥羽山脈寄りの生保内，田沢，桧木内の各町村と西部の協和村は製炭地として有名で，年産の60万貫は県内はもとより京浜地方にも移出されている。この地方の産業はむしろ今後に期待されるものがあり，政府指定の〝阿仁田沢総合開発計画地域〟の主要部を占め，玉川上流及び田沢湖利用した発電事業も軌道に乗り北部寄りの町村は〝開発ブーム〟を謳歌している。

大曲――盛岡間のいわゆる盛曲線と角館鷹巣間のいわゆる鷹角線が全通し，田沢湖周辺の発電力が飛躍的に増加した場合は，この〝阿仁，田沢地域〟の未開発のまゝ埋れている資源は，本県の経済界に大きくクローズアツプされて来るだろう。

営業所々在地の土と人

大曲市の発達について，一部資料によつて申しあげるならば，仙北，平鹿の両平野は古代に於いて一大湖水であつたといわれている。この湖水の出口であつた川添村の住民が湖水の水路を拡げたため水の排水がよくなり，湖水の水が減じて陸地が出来，深溝であつた部分が雄物川になり，所々の沼地は其の頃の深い瀬であつたといわれている。

それから幾年あとに雄物川と丸子川の合流点に人が住みつき，農漁による生活が続いていた。

先住民達は，雄物川，丸子川の大洪水に悩まされつゝも力強く生きていた。

天平宝亨3年9月，始めて出羽の国に正式に雄勝平鹿の2郡が置かれ平鹿郡の中には仙北河辺が含まれていた。この年より南方の住民が東北に移住し大曲村にも入つて来た。

この移住民の中には罪人が多く含まれていたことだつた。孝謙天皇代には孝行を奨励し各戸に孝経一本宛蔵せしめたという程だつた。先住種族は南方種族に侵略され，劣敗者は漸次山間へ山間へ追立てられていつた。

併し先住民族の一部に南方種族は従属し血縁のつながりをもち一団となつて生活していた。

〝大曲〟と言う地名については何時頃から呼ばれていたかは未だ明らかにされていない。

文献に依る真澄先生は麻苧（あさお）作るものが多く麻を刈る農夫が随所に見られたから〝大麻刈〟と言つたとか。

又アイヌ語に〝オポロ，マツケ，ウシユ〟(大河などに添つて広く開かれた地をこうよく呼んでいる）オマカリ〝オポロ〟は〝オ〟と発言され〝マツケ，ウシユ〟は〝マカリ〟と変じたと想像される。

〝大曲〟〝大麻刈〟〝駟 駒（おたまがり）〟と色々な文献（けん）に見られる〝大曲〟の名の見える最も古い物とされているものは，仙北郡金沢町八幡神社の一折の納経に記された意趣書には明らかに〝大曲〟と見える。

徳川時代中期享保10年村名を改め〝大麻刈〟を〝大曲〟とした。正確に言えば〝改めた〟のではなく〝大曲と決定〟したと言うことになるようだ。

明治時代には，秋田より上流に向つて交易が盛んになり，角間川町も大曲町も繁昌した。大曲は丸子川に川船が横付けになり潮の香も鼻につく〝ハマ〟になつていた。川船には〝ゴメ〟の群がついて来て，大曲の空の上にも鳴き続けていた。

川岸には〝ハマ〟倉と呼ばれる庫が建ち並らび，海産物雑貨が入り，又仙北米や平鹿米が倉から出され川船に積まれた。

〝ハマ〟での商談が整えば紅提灯の沢山つられた八幡町の遊廓に繰込み，三味線の音も高かく，仙北民謡も歌われた。

川船は荷を重く積んで雄物川を下る，船員達を見送る八幡町の女達は，八幡神社の裏から川船に手を振つて別れを惜んだ。

明治16年4月犬養毅は秋田日報記者に赴任の途次，仙北郡金沢町の金沢柵址を見て大曲で演説をなし，同地から川船で雄物川を下り秋田に向つたと言われている。

明治22年大曲村，川目村，飯田村，小貫村，高畑村和合村，東川村，戸蒔村の7カ町村を合併し大曲村と称し，同24年町制を施行，又町村合併促進法により，昭和29年5月3日大曲町及び花館村，内小友村，大川西根村，藤木村，四ツ屋村，6カ町村を解体合併して大曲市を建設したが，更に同30年4月1日平鹿郡角間川町を合併して人口総数 41,119名，総面積 104.4平方粁となつた。

大工場のない街であり，駅より南へ2キロの商店街は仙北中心の商業都市として発達している。

駅近くの近代映画館4つあり，又昔かつかしい寄席1館ある。市民及び市近郷の娯楽場でもある。

観　光　地

◎ 国立公園，十和田，八幡平

玉川温泉，乳頭山温泉郷をひかえ，観光道路の整備が要望され，田沢村から湯瀬へ抜ける道路も要望されている。

◎〝田沢湖〟

生保内駅よりバス20分田沢湖に至る。美くしい水，深さ知れない湖の底，白砂の岸辺松林何人たりとも足を止めずにはおかない。

ついこの間退職された新海五郎さんも田沢湖を詠んだ歌も何首か見られる。

田沢湖を尋ねる有名人も数多くにのぼつている。夏季，秋季に於いては一そうにぎあうことでしよう。

◎ 夏瀬温泉

かつて当地夏瀬発電所建設所の合宿のあつたところ夏瀬観光会社が当社よりゆずりうけ開業している。神代ダム，夏瀬ダム，春はみどりを写し秋は紅葉をうつす澄んだ水が目をたのしませ，身を休ませる夏瀬温泉

バスも開通し遊覧客を楽ませている。

◎　抱返りの峡

神代発電所より２Ｋメートルの峡谷，山の紅葉は美しい。

大正10年遠藤桂風は神代抱返りを歌つて

「落ち散りし紅葉一葉動くなく神代ながらに渕は青しも」

◎　峯吉川の白糸の滝

自然林の中に囲まれた狭い谷に，切立た岩肌を伝わつて落ちる水，幾筋にもなつて白い絹糸を採つているようだ。滝つぼの側に神社がある。白滝神社である古い建物百年以上はたつているらしい。秋田三十景の一つ。

行　事	
大曲市の全国花火大会	8月中
神宮寺の祭典	9月中
角館の祭典	9月中

民謡の仙北

秋田と云えば，すぐ民謡を想い出すほど盛んな秋田民謡は，30に近い数がありますが，その代表的な生保内ダシ，おばこ節，長者の山などは，自然美の環境の田沢湖周辺に於いて生まれたのであります。

これ等の唄は，昔の落武者が奥羽山脈に沿う玉川流域に土着し，農耕，牧畜のまにまに都会文化を再現させ，忍苦の口を民謡に求めたものと云われています。

◎　おばこ節

「おばこ何才（なんぼ）になるこの年暮せば
十と七ツ　ア　オバコデオバコデ
十七おばこ等何して花になど咲かねとナ
色紅葉　ア　オバコデオバコデ」

「おばこ節」は元来山形県庄内地方の唄でしたが，同地方の馬喰が盛岡へ馬の売買に行く途中に仙北地方へこの歌を伝えていつた。これを神代村出身の民謡歌手佐藤貞子によつて独得の節がつけられ歌われた，それが秋田人の心にぴつたりとあてはまり広く唄われるようになつた。

◎　どんぱん節

「朝また起きれば　呑みたがる
戸棚の隅こさ　手こ入れて
あちこち見ながら笑い顔
茶椀で五六杯も知らぬ顔
ドンドンパンパンドンパンパン」

仙北郡神代村の今造大工が面白おかしく歌詞と節をつけて唄いだしたのを，レコード会社が採りあげて吹き込み販売したので流行した。

◎　生保内節

「吹けや生保内東風（ダシ）
七日も八日も吹けば
宝風ノオ稲みのる」

東風（ダシ）は東風で秋の収穫に東風が吹くと豊年だと言つて唄い出されたのがこの唄だつたとか？　生保内町によく唄われる元唄の様なのがあり，調子の低い生保内節もある。

◎　馬方節（桧木内方面で唄はれているもの）

桧木内村地方の馬方節は，やはり南部から渡つて来ているようだが，この土地に歌いやすく唄われたのが此の地方の馬方節であり，若い人達にはあまり唄われていないようだ。

桧木内村から荷をつけた馬方が峠を越えて阿仁合の鉱山に行くときに唄われたものといわれている。

事業概況

発電所	川俣発電所	自動化工事中
変電所	大曲変電所	
〃	角館変電所	
〃	刈和野変電所	自動化
〃	淀川変電所	
電業所	角館電業所	
散宿所	16ケ所	

需用関係

需用家総数	32,172戸	
定額需用家数	9,960戸	18,988灯
従量需用家数	22,022戸	150,948灯
大口電灯	183戸	9,252灯
業務用電力	6戸	228KW
小口電力	2,811戸	8,812KW
農事用脱穀	356戸	534KW
電熱温床	125坪	50KW

（総務課　渡辺富雄記）

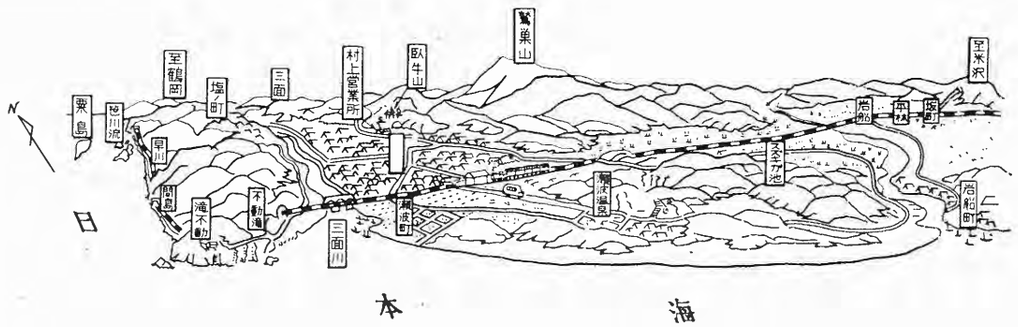


村　上　市

村上市は新潟県の北端に位置し，遠く山形県との境の朝日岳から発する新興都市で城山城趾，瀬波温泉，三面川の鮭漁，名産お茶，堆朱，堆黒，こう申し上げただけでも，御想像なされます様に豊かな自然に囲まれ，古来北城の小都市としてつゝましく発展を続けて来ました城下町であります。

その名残りは臥牛山（通称お城山135米）に築かれました。村上城を囲むように作られた。非常に屈曲の多い細長い道路で，その大部分が90度という極端なカーブで，少々地理を呑みこんでいてもまごつくことは必定とされています。これは，元和元年（330年前）村上城主堀丹後守が敵の侵略から城を守るため，そして火災が起きた場合燃え拡がるのを防ぐため，このような都市計画をやつたということが伝えられております。又この城下町の珍らしいことは古来世間から通常村上と呼ばれるのは，旧村上本町と旧村上町の総称でありました。この２つの町は地域的に交錯し，旧村上本町は旧村上町によつて幾つにも分断され境界が判然としないような状態でありましたので，幾度か合併の運動が起されましたが，過去の何百年からの士族対町人の感情が町の性格を形作り，目に見えない感情が渦した為でありましたでしようか，その機を作らず全国にも稀な存在として，明治，大正，昭和と長い年月を不自然の形のまゝ過ぎて来ましたが，敗戦による一大変革に伴い遂に併合の機運が熟して，昭和21年６月１日両町合併の上，新に村上町となり，昭和29年市制ブームに便乗して更に村上町，岩船町，瀬波町，山辺里村，上海府村の３ケ町２ケ村の合併により，昭和29年４月1日に人口33,000人の村上市が誕生したわけであ

村上市附近略図



ります。

村 上 営 業 所

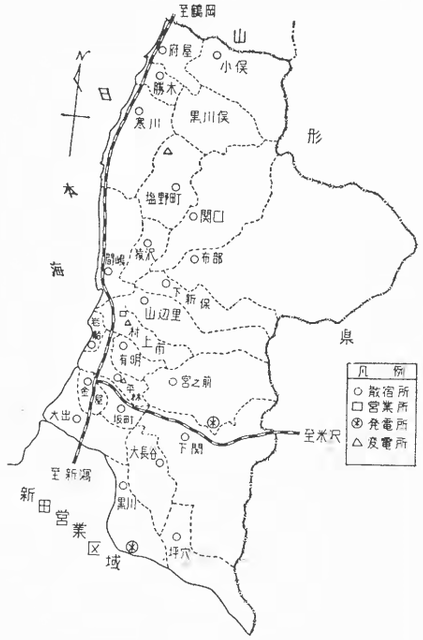
当営業所は新潟支店管内では駅より遠いことでは一番だと云う定評がありますように，村上駅より徒歩で30分余要します。村上城趾の麓にある古色蒼然たる木造2階建の建物が営業所であります。当営業所の前身は村上水電株式会社で大正元年9月創立で昭和15年11月新潟電力株式会社に合併，解散により新潟電力村上支社となり，昭和17年4月配電統制令により東北配電村上営業所更に昭和26年5月電気事業再編成令により東北電力村上営業所となり，今日に至つておるのであります。

村上水電創立当時は資本金15万円認可出力151キロワツトと云うさゝやかな会社でありましたが，逐次需用の増加に伴い発変電所の増設，送配電線路の延長と日々面目を新にし，会社併合により更に躍進現在下記の需用状況まで伸びたことを考えますと，うたゝ感慨にたえないのであります。

昭和31年6月分需用構成

31. 6. 30

種　別	口数	灯数，個数及びKW数	使用KWH	調定料金
定額電灯	5,347	10,431灯	96,418	1,058,474
従量電灯	15,346	113,959灯	348,487	3,602,503
大口電灯	220	1,337KW	61,402	795,685
臨時電灯	32	118灯	3,720	40,815
業務用電力	6	299KW	41,929	268,832
小口電力 50KW未満	1,321	4,385.5〃	211,859	1,878,819
小口電力 500KW未満	8	616〃	58,774	348,154
大口電力 3000KW未満	2	2,150〃	787,604	1,947,837
大口電力 3000KW以上	1	7,000〃	10,357,433	19,438,988
農事用電力	58	551.5〃	79,038	207,971
臨時電力	35	758〃	50,990	394,365
特約電力	1	15,500〃	856,300	2,467,695
合　計	22,377	124,508灯 32,597KW	12,953,954	32,450,138



事 業 概 況

管内施設の状況は次の通りであります。

発電所	2	2,740KW
変電所	3	16,500KVA
散宿所	22	
従業員数	111名	

配電線亘長，高圧，400,815m　低圧260,312m

電柱本数　11,903本

県営三面発電所

村上駅よりバスにて約50分，未開発資源の開発と新潟県の産業振興を目的として30億の巨費を投じた三面川河川統制事業即ち，三面ダムによる県営三面発電所（発電力最大30,0000キロワツト常時10,800キロワツト）が昭和27年12月発電実現しましたが，当社との受給契約に依りまして一括受電今は下越の誘致工場始め一般需用に供されております。更に引続き上流の天恵の地点に第2期工事として発電力最大22,200キロワツト常時6,100キロワツトも着々進

捗中でありましたが，既に内発電機1台は昨年末より運転を開始しております。

瀬 波 温 泉

村上駅よりバスで約7分にして到着いたします。明治37年石油採掘盤中，地下800尺に達すると突然猛烈な勢で熱湯が噴出し今日まで間断なく噴出をつゞけております。この温泉は日本海に面する防風保安林の美しい赤松林を抱き白砂の浜に遠く弥彦，角田の山や佐渡ケ島が夢の様に浮び，栗生島のなだらかな起伏が美しく眺められ，特に夏季は玖瑰の花咲く海岸に露天風呂を持つたキヤムプ林が設置されて賑わつております。当社健康保険組合の瀬波保養所も此の地にありますので是非一度御利用をお勧め致します。



臥牛山（村上城趾）

営業所の裏山とも申し上げてよい位徒歩にて約20分で七つ曲つた道を登れば頂上天守閣趾に到着致します。東に遠く国立公園朝日連峰を望み北は清冽な三面川を隔てゝ下渡山の山容美しく，西は渺茫たる日本海に臨み，又常噴30米その名も高い瀬波温泉も近く誠に山紫水明の地と称されております。この城趾は其の状臥牛に似ておるので臥牛山と通称していますが，又舞鶴城趾とも伝えられています。



明治戊申の役の兵火に遭い現在は石垣と老松がその名残りを留めております。

村 上 祭 り

村上鎮守羽黒神社大祭は毎年7月6日から3日間行われる台の神輿と百数拾頭の神馬14騎の荒馬19台の古風なしかも美術的な屋台（シヤギリ）が市中を練り歩きその盛大なことは県下にその類がありません。又この祭りに集る露天商人200店を越え新潟祭りと並んで盛んな大祭であります。



管 内 の 名 産

村上の漆器

村上の漆器と云えば堆朱，堆黒という堅牢なこと、そして高尚優美なことで珍重されています。この堆朱には本堆朱と木彫堆朱の2種類がありますが，本堆朱は現在殆んど作られていません。木彫堆朱は天明の頃(150年前)に江戸詰の藩士が余暇に習い覚え，藩中に拡まつたのが始めとされています。堆朱は木地屋，彫師，

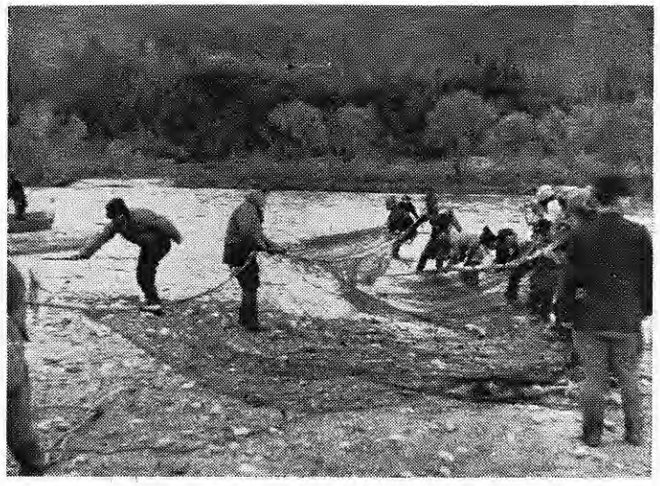
塗師と3人の手を通つて作られますが，その人達はある誇りをもつて大量生産出来ないでおりますが，市の悩みの種の様でもあります。又高尚な記念品等に重宝がられております。

村上の茶

村上の茶の起源は遠く元和6年（約300年前）に町の大年寄，徳光屋覚左エ門は宇治や伊勢から茶の実を求めて人々にすゝめて播種したのが起りとされていますが，従来の幼稚な製法に改良を重ねて今月の村上茶となつたと伝えられております。村上は茶の産地としては我国の最北に位しており，その風味の豊さは当地産の玉露の多くが宇治へ移出されておることでも知られます。

三面川の鮭

旧藩時代から名物と申されておりますが，歴代の城主が鮭の繁殖に特に力を注ぎ古くから孵化の事情が行われたことは余りにも名高いのでありますが，最近は漁獲高孵化孵量共に減少の一途を辿つていることは誠に惜しいことであります。三面川の鮭は川煮と称する村上独得の料理や酒浸と云う塩鮭の刺身は特殊の風味をもつておりますので，当地の自慢でありますと共に村上を訪ねられる人々に大変喜こばれております。



村上小唄

花と紅葉の舞鶴城趾　七つ曲つて見おろす景色
瀬波湯が噴く松のかげ　さあさ村上おらの里
木の芽ほのぼの下渡山晴れて
　春はのどかに鮭子がくだる
川原ひばりも夢ごこち　さあさ村上おらの里
ちやんちや茶籠に想いも摘んで
　色も香も濃い玉露の味は
茶もみ唄から出てとろり　さあさ村上おらの里
堆朱堆黒色つや見せて
　塗れば浮き出る床しい彫りにや
わしらばかりのわざがある　さあさ村上おらの里

（村上営業所　総務　佐藤）

（67頁より）

を贈る。眼下を眺むれば親潮の流れが岩礁を噛み，渦を起し，潮騒を立てゝ躍り狂い，更に眼を転ずれば一衣帯水の海峡を距てゝ，北に松前臼神，東に下北弁天の山々が白く輝いて指呼の間に望まれる。更に近年灯台が建つ岬の突端に，海峡往来の船舶を機雷の危険から救う為機雷探知所を新設し，レーダーは生けるが如く活動を続けている。尚レーダーは一般観光客の為公開している。

ネ　ブ　タ

坂上田村麿が蝦夷征伐の際，賊を欺く為に用いられたと云う故事にあやかり始めた「ネブタ」は，津軽地方で行われる最も盛んな年中行事の一つである。

ラツセ，ラツセの囃子に合せ，笛，太鼓に調子を合せ，花笠を被り，揃いの浴衣に白足袋姿で男女入り乱れて夜半迄市中を練り歩き，青森市内はネブター色に塗りつぶされる。それが港祭りの行事と重複するから市民は仕事も手につかない興奮にかられる。

当営業所でも当社創立3周年と100万KW突破を記念して，昭和29年に「大森彦七と千里姫」のネブタを出して好評を博したことは「社誌第22号～ネブタの中から」で既に紹介済である。それに自信を得て，昭和30年には「九紋竜と花和尚」，本年は「曽我五郎と御所五郎丸」を支店で出し，何れも最高の「優秀」及び「運行賞」の金賞を獲得した。



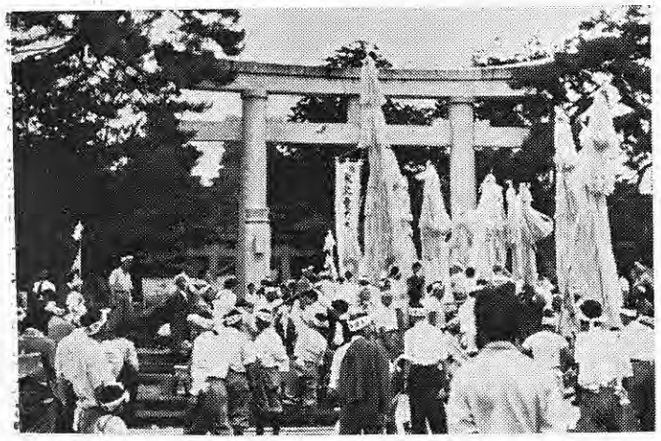
青森支店

※ 青森市港祭り

恒例の青森市港祭りは今年も8月4日より4日間盛大に開催された。

当支店は今年も絢爛優美な「藤娘」と豪壮華麗なる「曽我五郎と五所五郎丸」と題する双つのネブタを以て参加し，堂々と夏の夜空を彩つた。

尚，当社のネブタ運行はネブタ製作の最高栄位である「優秀」の賞と運行の妙味を賞す「運行賞」とを併せ授与された。（カツト写真）



お　山　参　詣

※ 岩木山登山

津軽の行事お山参詣は今年も各地の善男善女一行が続々と押しかけ盛大を極めた。

当支店の一行も2日未明サイギサイギの掛声も勇しく頂上を極めて無事帰店した。

参加人員は家族も含めて約350名その中には10名の女性も参加し，堂々男子に伍して頂上を極め津軽乙女の意気を示した。

※ 各課対抗球技大会

支店内各課対抗球技大会は7，8月の炎天下お昼休みの時間を利用して行われ，次の戦績と相成つた。

スコアーも発表する処でありますけれども，特に野球の如きはバレーのスコアーと間違われる恐れがありますので，省略致しました。

1.野球	1位	発変土木課	3.排球	1位	営業課
	2位	総務課		2位	経理課
2.庭球	1位	総務課		3位	総務課
	2位	線路課			
	3位	経理課			

岩手支店

◇ 第1回支店管内水泳大会

8月11日，宮古高校の公認プール（25米）に於て，第1回支店管内水泳大会が開催された。

岩手県は山ばかりという言葉の通り水泳は一般に全国的レベルにほど遠い現況であり，最近漸く志戸平，金田一に温泉プールが施設され，これからの若い世代の活躍が期待されるという県

水泳界の現状であつて見れば，記録的収穫などという大それた考えではなく，たゞ海岸方面の営業所にも，主体性を持つた大会があつてもいゝではないかという意味で，本大会が開催されたものである。従つて，チーム編成も海岸に面した営業所(宮古，釜石、大船渡)を単独チームとし，支店と盛岡，花巻と一関を併合チームとした5チームであつた。

種目は，自由型，平泳共に50米，100米，背泳は25米，50米，100米，リレーはメドレー150米，自由型200米とし，外に潜泳等を余興的に添えた種目である。

選手は1人1種目（但しリレーを除く）とし，なるべく多数の選手が参加するように企画され，又記録は宮古水連等にお願いしたものである。

流石海岸チームは地力を発揮して，仲々の盛会であつた。

結局，綜合で支店盛岡チームが優勝したが，以下花巻一関チーム，宮古釜石，大船渡チームの順であつた。

この大会で，一関の阿部所長さんが，40才以上のたゞ1人の高年者にも不拘，昔とつたきねづかで，自由型200米を最後まで泳ぎ切つて絶讃の拍手をおくられたり，又自由型50米に支店総務課の佐藤清作君が，33秒2，一関営業所の高村茂八君が，33秒4と，タツチの差という大接戦もあつて，息づまる熱戦を展開し，大会らしい雰囲気が充溢したものだつた。

佐藤君のこの記録は，レベルの低い県大会における30才以上の，32秒0の記録と匹敵するもので，水連関係者からも素晴らしい記録として賞讃されたことは注目に値する。本大会の大きな収穫であつたことを附記します。

◇ 第5回支店管内営業所対抗野球大会

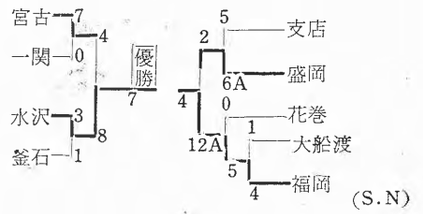
従来殆んど花巻綜合グランドで開催されていたこの野球大会は，9月8，9日の両日，釜石市小佐野球場を中心として開催された。昨年の優勝チーム，福岡を先頭に入場式，続いて支店長の始球式で，福岡対大船渡の対戦が開始された。

台風12号の影響で気づかわれた天候も，左程のこともなくて，まずまずの野球日和であつた。

一投一打に一喜一憂，それにスタンドからの声援も賑やかに手伝つて，仲々の盛会であつた。9日は準決勝，決勝が小佐野球場で行われ，前年度優勝の福岡チームの2連覇惜しくもならず，7対4のスコアをもつて，水沢営業所チームが，遂に覇権を握つた。

尚，この試合は本年度からは開催地を持廻り実施の予定になつていることを附記致します。

戦績次の通り



(S.N)

秋田支店

大館市九度の大火

8月18日夜南九州を襲つた9号台風は，秋田県地方には大した被害を及ぼさず過ぎ去つたが，大館附近は，まだなまぬるい西南西の風が強く，風速13米に黒雲の足も早かつた11時50分，東大館駅前松本旅館から出たぐれんの炎は強風にあおられ，みるみる中に，火の海，炎の津波となつて，常盤木町，新町，向町，鍛冶町，大町，仲町，馬喰町，長倉町などの繁華街12町内にひろがつていつた。周辺町村からかけつけた消防ポンプも手のつけようがなく，たゞ火魔の跳りようを眺めるだけで，泣き叫ぶ婦女子，家具を運ぶリヤカー，タンスを引きずつて走る男達，強風に吹き上げられる火の粉，大音響とともにくずれ落ちる家屋等悲惨凄愴その極に達し，19日午前6時過ぎさしもの荒れ狂うた火魔も1,061戸を全焼旧市内の5分の1をなめつくして鎮火した。

一夜過ぐれば罹災者も非災者も同じ静かな朝を迎える明暗2筋の道に，直ちに各階層より同情救援の手が伸べられた。

秋田支店に於ても大火の報と同時に災害対策本部を支店内に設置し，委員を現場に急行させると共に各営業所より応援隊を組織して復旧作業に従事させ，又一方罹災従業員の救恤に当つた。

罹災従業員に対しては社員一同より見舞金として，9月上旬515,770円が届けられたので，早速9月14日秋田支店長並びに電労秋田支部副委員長が大館に持参し，その御厚志御温情に対し罹災者は勿論，関係者一同が感涙にむせんだのであつた。

家族慰安海水浴 （出戸浜海岸）

毎年2回ないし3回，土曜日或は日曜日に近くの海水浴場をえらんで海の家を開く。今年は7月中の寒さがたたつて2回しか行くことが出来なかつたが，最初の日は日曜日のことでもあつてバスに4台と言う参加者であつた。どこまでも晴れ上つた空，ないだ海，出戸浜はこの二三年の内に急に海水浴客がふえたところで，万を越える人々が思い思いの美しい海水着を着てちらばつている様子は，色紙をきざんでばらまいた様な感じを与える。

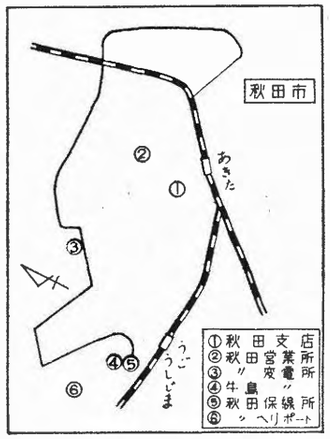
当社の人々の表情をひろつてみよう。せつかく海までは来たのであるが，泳ぐだけの勇気のない者は終日葭簀の下で，海からの風に吹かれて結構涼味をあじわつた様だし，死んでもカメラをはなすまいと膝の前にぶらぶらさせている者，オヤ，こう言う帽子もあるものかと思われる様なアンペラに色をつけた様なものを頭の上にのつけて歩いているかと思えば，ラグビーのボールを足の裏で蹴り上げようと努力している女性もいる。又海の中では，太つていても仲々水にはうかばないものとみえて一日中自動車のチユーブをはなさない方もいた。子供にせがまれて，しよつぱい水を頭にかぶりながら蟹をとつているほゝえましくも涙ぐましい人もいる。

これ等はみんな当社の人々で，明日からの仕事のために，夏の光を一杯浴びておこうとしている太陽族達である。

午後になればもつぱら休所で食欲をみたす者が多くなり，つかれた子供が眼をつむつたままでりんごをかじりはじめる頃，当社の太陽族をのせたバスは秋田に帰つた。夜の海を泳ごうとする月光族を残して。

秋田ヘリポートの設置許可さる

本年度に設置計画の秋田ヘリポートは秋田保線所最寄の適地1,400坪を買収し，農地転用手続も無事終了，8月29日の公聴会には県，市及び商工会議所代表より積極的な賛成意見が述べられ，9月7日付を以つて運輸大臣より設置許可された。10月の竣工を目指して工事を進めており，当社事業運営の速度化を図る近代的なヘリポートの実現も近い。



生産性東北地方本部設立準備会

去る7月25日秋田市商工会議所に於て生産性東北地方本部設立準備会第1回打合会が開催された。

当日は準備委員長に内ケ崎社長がなり，設立準備会規約を検討して散会した。

主なる出席者は次の通りである。

日本生産性本部事務局長	東北鉱業会会長
仙台通商産業局長	青森県中小企業協同組合中央会会長
仙台市議会商工常任委員長	秋田県 〃
宮城県水産商工部長	青森商工会議所会頭
仙台市産業部長	福島 〃
秋田市商工課長	秋田 〃
岩手県商工水産労働部長	仙台 〃
山形県商工労働部長	〃 副会頭
秋田県産業労働部長	その他秋田県内主要会社社長
岩手県経営者協会会長	

山形支店

山形農業祭

農業を営む者にとつては長月の声を聞くと精神的に

も労力的にも一安堵の寸暇を見出す時です。その月の1日より3日間恒例の山形農業祭に，初秋の爽やかな空気をうちやぶるが如く，近郷又は遠方より汽車やバスで駈けてくるもの，団体で押しかけるもの，砂塵へ消えて砂塵よりいでくるもの，其の人出約15万，山形市一堂に会した盛況振りでありました。会場も6会場を設置し，第1会場は山形市の中心より南へ約2杆，坦々とひらけた村山平野と左手(ゆんで)に秀峰月山の壮麗な姿を遠望出来，又右手(めて)には雄大な蔵王を背景にした情影豊かな地，県農業試験場で稔りを前にした水稲や色々の蔬菜類を見聞する会場です。

第2会場は農業試験場より西へ300米，第六小学校の講堂に農電館，農薬，肥料，ビニールの展示会場であり，歩を進めるにしたがつて静かなメロデーが拡声器にのつて人をひきつける。「農家の皆さん！今，東北の諸々方々で，話題を賑わしている耳よりなニュースを御存じでしようか？それは農業技術の向上に一段と光をもたらした〝新しい米つくり〟です。苗半作といわれる様に米の増産は丈夫な苗を育てることがコツであります。10有余年の間各地で多くの篤農家の方々が研究努力を重ねて来た丈夫な苗作り，それは電気苗代による育苗です。1反歩2坪の割合で此のステージの様にお宅の庭先に苗代をつくつて，この野良着姿のお人形さんの様にいとも楽しそうに稔りの秋を胸にえがきながら，草履ばきの気軽ないでたちで苗代の管理が出来るのも電気苗代の魅力です。農村の春は猫の手もかりたい程忙がしく，その労力を調整しスキツチ一つで適当な温度を自由に調節し，適当な灌水，適当な採光，適当な換気，容易に健苗育成の管理が出来るのも電気苗代の特徴です」……スポツトアナウンスの声はひつきりなしに続いている。

会場に入ると農家の人々に訴える新しい時代の新しい米作りと題したキヤツチフレーズの字句が，パツクライトのピンク色の淡い光が浮き出してくれる。此のフレーズの如く，当支店の今年の重点的企画として，昨今，盛んに叫ばれている合理的農業経営法の一端に答えて，明春の豊水期の豊かな電力をあます事なく電気苗代に消化し，小口需用の画期的な増加を狙い「新しい米づくり」オンリーの会場にし，場外には農業試験場の圃場に「水稲電気育苗試験区東北電力山形支店共同試験」の立看板が，すくすくと稔実した黄金の穂波の上に白いペンキのボードが万人の目をひきつけてくれた。又一方，市内の目抜通りの大映劇場に於いても，当社PR映画「新しい米づくり」を開期中，特別上映し，三つのトリオががつちり組んで，すばらしいハーモニーを奏でてくれました。会場の3分の1をしめる程の大ステージに，農家の庭先に実物の陸苗代が



電熱温床による稲穂

活き活きとのびて居る苗を，物めずらしげにこれから試す人，今迄作つて来た人々の，交々の質問に係員もくたくたの態でした。視聴覚を狙つてPRに万全を期するため，需用家の電気苗代依託試験圃より取り寄せた見事に実つた稲株が電床育苗の成果を実証せる如く，ずらりと並んだ上に3尺に2尺の窓枠にテクニカラーの「電気苗代」のスライドがさかんに活躍して「新しい米づくり」の企画に大きな役割を果してくれました。

年々歳々日進月歩の一途をたどる家庭用電気器具も豊作につぐ豊作と一緒に，はなばなしく生活文化向上を代表するように登場して参り，横1間半，縦1間半の棚式展示台を1メーカー1台にそれぞれの趣向をこらし，装飾美術を十分発揮して戴いて，どちらかと云えば地道になりやすい農電館に華やかな雰囲気をかもし出してくれました。

以上山形農業祭農電館の会場内容を具体的に説明申し上げましたが，開拓と指導のチヤンス到来と，昔にかわらぬ東北の米つくり農法に，今脚光を浴びている電気苗代の新しい分野を重点的に，普及係員挙げて15万の人々にPRの重責の一端をはたしえた事と確信するものです。（富　樫）



電熱温床模型

新潟支店

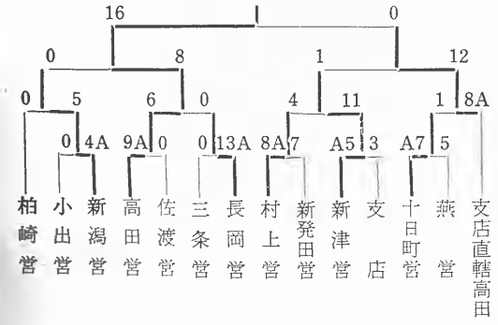
第5回支店管内野球大会開催

回を重ねること5回，支店体育行事中最大の200余名が柏崎市に参集，8月25，26の両日に亘り支店管内野球大会を開催した。

前日からの降雨で開催が危ぶまれたが，当日は遠く佐渡ケ島近くに甚句で名高い米山が雲間より姿を表わし西の空が次第に明くなり，予定より2時間遅れて開会する運びになつた。

河路支店長始めて開会式に姿を見せ，見事な始球式により試合は開始された。

大会は14チーム，13試合を2日間の日程で実施するため，会場を柏崎高校並び柏崎工業の両校庭を使用，開始時刻の遅延で柏崎商業の校庭も使用第1日目10試合を漸く消化し，第2日目は快晴に恵まれて準決勝決勝の3試合を予定通り実施し，第5回支店管内野球大会の幕を閉ぢた。



大会は各営業所より所長を筆頭に応援も駈けつけるという盛会なもので，選手諸君もハリキツた見事なプレーを見せて呉れた。

戦績は下記の通りであるが実力の差は何ともし難く，高田営業所チームは全試合シヤツトアウト連続5回優勝と他のチームは全く歯がたゝない有様であつた。（厚生係）

新潟まつり

新潟市最大の年中行事である新潟まつりも8月21日の前夜祭に引続き，22日朝8時商工会議所の打上げる花火を合図に，2日間に亘る行事の幕をあけたのであります。

本年は特に昨年の大火復興をかねて盛大に実施する旨発表し，人出も近郊，県内はもとより遠く他県の見物人もざつと50万を見込んだのでありますが，折悪しく22日午前は小雨降りしきる中を各商社自慢の山車とP・Rカー120余台が延々2Kにわたつて，その美を競つたのであります。22日午後に到りようやく雨も上り，新潟まつりも最高潮に達したのであります。

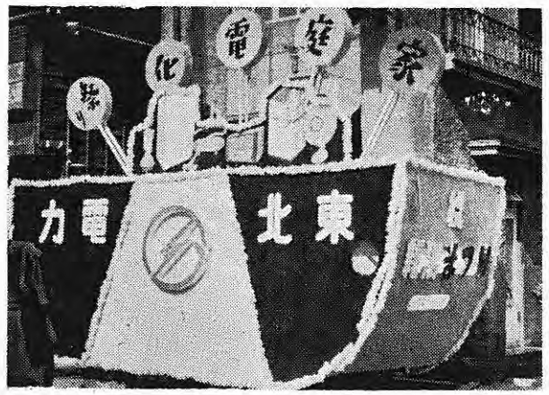
当社も山車を出して新潟まつりを祝いました。

夜は夜空に彩る五色のスタマーイン，花火と700発を2日間に亘つて打上げ，23日午後10時スタマーインを最後に新潟まつりの行事一切をとゞこおりなく盛大裡に終了しました。

例年はもり沢山な競技を実施しましたが，本年は重点的に大勢が楽しめるものに時間を多くして，競技内容は少数に限定しました。

当日の催しもの

西瓜割り，宝さがし，最後に抽籤を行い，和気あいあいたる中に土曜の午後を楽しく過し，午後4時過ぎ行事予定全部を盛大裡に終了しました。



当　社　山　車

海の運動会

今年の天候は例年になく不順で梅雨が長く続き海水浴には恵まれない年でした。

海水浴に好適な新潟海岸も逐次海水に浸蝕され，砂丘が非常に狭められてきたので，従来海水浴場の最も賑わつた寄居浜も直下に波が打ち寄せる状態となり，今年より寄居浜に茶店も出店させられず，学校町浜に出店する状態となりました。

8月4日予定した海の運動会も雨のため順延となり，1週間延びた8月11日午後，学校町浜東亭(会社契約休憩所）前に社員100名余とその家族が参集して開催されました。

句会だより

従来俳句の指導を戴いた及川仙石先生が新潟大学を退官せられ上京されてから指導者に恵まれず，たゞ社員のみの句会を毎月続けて参りましたが，この度新潟大学勤務の永松西瓜先生にお願いしたところ快く御承諾いたゞき毎月の例会を実施して居ります。

西瓜先生はホトトギスに毎号活躍して居られることは同誌読者は御存じのことと思います。その上玉藻会新潟支部の幹事をやつて居り，その熱心なことは吾々もこれから大いに学ばなければならないと思つて居ります。

先生は勤務に忙殺されて居りながらも，寸暇を得て吟行を続け，句会には遠近を問わず出席し，余程の都合でもなければ欠席しないと言う熱心な先生です。先生は俳句を心から愛好し，俳句を楽しんで作つて居られる方です。昼休み等寸暇を得ても自転車で市郊外に出掛けては吟行をよくして居られるところから，農村風景の描写に優れた手腕を存分に発揮して居ります。

仙石先生に依る御指導——空白時代——西瓜先生に依る御指導と当支店俳句部の変遷を区分してみると，先生に御指導して戴いて居るときと空白時代を比較して，その内容の質的相違はゆがめない事実であります。今後とも西瓜先生のもと更に俳諧道に邁進いたしたいと思つております。

9月4日定例句会（8月下旬実施予定）を実施致しましたので当日の句稿の一部を掲げてみたいと思います。

風鈴の余りに忙し秋の風	西瓜
稲妻や一杯かけて早寝ぐせ	〃
昼寝より覚めて仕事をするでなく	〃
魂棚のみ明し昼もあかあかと	〃
○母逝きてより霊棚のこと簡素	卯童
○朝顔のすがれの花のまだ続く	〃
○大いなる足投げ出して僧昼寝	〃
草市の宵となりたる人出かな	喬村
日雇の小屋蔭に寄り昼寝せる	〃
病友の案外元気蝉しぐれ	桐舎
昼寝子の畳の上に覚めにけり	〃
起されし不気嫌な顔昼寝覚め	〃
○ベル鳴つて30分の昼寝覚め	八重
遠山に稲妻しきり尾瀬暮るゝ	〃
大灯籠かゝげ桟敷の並びけり	〃
○掃苔やアルバイト僧あると聞く	よしい
○土地変りしきたり変り盆の市	〃
思い思い飯場の人夫昼寝かな	〃
○燃え残る門火に思ふ事多く	雅子
○墓洗ふ手許に蝶の舞下りぬ	〃
母に似た後姿や盆の市	〃
○朝顔や今年はなべて同じ色	文子
花火みて明日は入院するといふ	〃
解きものをそつと押しやり昼寝かな	〃
一山の洗濯終えて昼寝かな	慶子
うけつぎししきたりのあり盂蘭盆会	〃
さそわれて吾も昼寝の仲に入り	〃

○印は西瓜先生選　　（幹事記）

東京通信

來るべき国会を想う

電氣——電氣！——電氣!!
不足——開發！——融通!!

臨時国会は開かれるか

通常国会は年1回毎年12月上旬に召集する事になつている。この期日は150日間である。今，社会党あたりがしきりに国会の開会を要求しているのは，いずれかの議員の総議員の4分の1以上の要求があつた場合の臨時国会を指している訳である。其の外特別国会と云うのがあるが，これは衆議院の解散されたとき，解散の日から40日以内に総選挙を行い，其の選挙の日から30日以内に召集するものであつて，現在の情勢では12月までに衆議院の解散があるとは考えられないので開会されるとすれば臨時国会である。然らば其の国会の重要議題となるものはと見れば凡そ日ソ交渉より重なるものはあるまい。吾等に関係の深い電気事業関係では，この臨時国会に提出される議題としては，まあ無しと見るべきであつて，若し臨時国会が開会されたとしても，一応心配されるものはスト規制法の時限法から恒久法に改正せんとする位のものであろう。然し臨時国会が開会されるとしても，日ソ交渉の進展如何に依る事が要素であつてそれ以外には開会される要素が見当らない。

通常国会の議題となるもの

臨時国会が開会されたとしても電気事業関係の議題はおそらく提出されまいとすれば，来るべき通常国会には如何なる議題が話題となつているかと云う事である。

1. 電気事業法の改正法案
2. スト規制法の恒久法に改正する案
3. 河川法の改正法案
4. 補償に関する臨時措置法案
5. 東北開発関係法案

等が一応考えられる。今回は，一番手近な電気事業法の改正について，其の前途に横たわる問題は何かを極めて平易に取り上げて見たい。勿論上述の5つの項目は電気事業改正には重大な関係を持つ一連の繋りがある。然しこれは通産省対各関係各省間の問題が多い。もつと身近なところで，電気事業法改正に当り議会人が採り上げて論議されるであろうと思われる点を，それとなく拾つて見る事にする。

1. 電気料金の3割頭打ち問題の措置
2. 電源開発会社の性格問題に関連する融通会社案と9電力会社の電力融通強化案
3. 電気事業の復元問題
4. 電気事業の公共団体営問題
5. 所謂電気事業の再々編成と称される9分割の再編
6. 原子力発電の所有態勢の確立

等云う様な問題が電気事業法改正に当り，各其のめどを確立しなければならないだろう。法の上に明確に条文化されない迄も，其の帰趨は国会答弁の中で明確にさせられるものと見なければならない。その一つ一つを議会人が責任ある言葉で表現したのではないが，それをジヤナリズムに取上げて見たい。随つて技術者の

計算様式の様に見られては，真に困る事をおことわりして置く事として。

1． 電気料金の3割頭打ちの問題

この問題は昭和30年の3月末に1年限りの様な説明で臨時の措置として採られた方策である。其の時の通産大臣も石橋さんで，31年3月迄には電気料金の抜本策を作つて審議して貰うと口約し乍ら，其の31年3月になつて見ると種々な事情で出来なかつたと説明し，電気事業者間の料金アンバランスを知り乍らも延長した。吾が東北電力などは最もひどい打撃を受けて居る訳である。この問題が東北電力に限り適用されなかつたとすれば，今世の注目をあびて居る東北電力の電気料金は相当の緩和が見られたであろう。随つて東北電力の電気料金は現在のつぴきならぬ所に来て居るのであると云える。

先般国会人が国勢調査のため東北方面に出かけた際，東北の経済人はこぞつて東北開発の隘路は電力不足にあると陳情した。ある議員さんは，東北電力区域は電力は豊富で然も低廉であると思つて来た，所が青森でも秋田でも新潟でも同じ様な陳情を受けて意外である。然も其の産業人が同様に，安い2円の電気が慾しいのだと云う事だそうである。

電力需用の伸びは，電力量で本年度第一,4半期総需用実績129億KWH，前年同期の実績110億KWHと比較すると其の著増振りが判明する。

電力需用の伸びは生産活動の増大を如実に示すバロメーターであるが，如何なる産業の伸びが電力の不足を招来せしめ，加えて料金収入の上に如何なる結果をもたらすかゞ問題である。これについて或る議会人は東北電力の需用増は全国一だそうである。また電気料金も全国一の安い料金と云う事である。ところが,東北電力はその安いお客様の需用が伸びるのではどうにも仕様のない事だ。そこでその安いお客様が2円の電気，2円の電気とそれを目当に工場を増設するんだと云う事では問題だ。いつ迄も経済事情に合わない2円を主張されたんでは，東北電力は困るだろう。大体2円の電気と云うのが，現在ではおかしい。水力建設費はKWH当3円になり，火力は4円以上になる時代において，あく迄2円を主張する事は,東北電力の犠牲を強いるものである。と大変同情のあるお言葉を頂戴した。

更に電力の需用の伸びが，電灯に代つたら，なんとか収入の点で仕末がつくのであるが，東北地帯では二男三男五男と盛り沢山の子宝をもうけて，それが皆都会に出る都会では高い電灯料金を支払つて呉れる。これでは都会の電力会社はもうかる一方だ。

又東北電力が一番貧乏するのは，鉱山と鉄関係の工場が多い事である。現在の料金を構成する際(昭和29年10月実施）には鉱山，鉄関係事業は不振の時代であつた。其の時代に料金政策を打ち立て各社に先立つて一般料金政策を行つたのであるから，其の英断には敬意を表するが，自分自身参つて来るのでは，高い点数はあげられない。現在新設拡張の鉱山，鉄関係事業者がブームに乗つて増設するに当り，2円の電気だから東北に行くんだと云う気持であつたら，これは充分検討を要する問題だ。これらの事業は何れも良質の常時電力を多く望み，またそれを必要条件としているのであるから一層貧乏する訳であると云う事である。そのブーム事業が安い2円の電気をどんどん呉れと云うのではたまつたものでない。他の電力会社には一寸ない例である。まあ仕方がないから東北電力は赤字を覚悟でこれらの工場をどんどん造つて然る後に料金を上げるんだね。それが東北開発だよと云つて笑つたと云う話を聴いたが……。

この様に電気料金の3割頭打ちの問題は影響が多い。然も其の内容が全国的に不均衡である。この料金政策を如何に打ち立てるかが電気事業法改正の大きな要素である。

2． 電源開発の性格問題

国会毎に電源開発会社の性格問題が採り上げられるが，何故採りあげられるのかと云う事である。一般通念的には電源開発会社は，電力会社の開発困難な大容量発電所を設け，発生した電気は其の地区電力会社に売電するか，或は発電所丸ごと譲渡すか，貸すかであり，電源開発会社は自ら送電線を持ち変電所を造つて卸売するとか，電力会社に融通して歩くなどとは毛頭考えられていない。然し法律には，送電線を持つ事も

出来るし，又必らずしも其の地区の電力会社に売電しなければならないとは限つて居らないのである。

そこで国会人はこれに対して種々の情勢をあげて君達どう思うかと来る。

其の1，電源開発会社職員諸君だつて将来性のない在り方では心細いではないか，融通会社となつて旧日本発送電会社化し安定して行き度い。

其の2，抑々電力会社が今ごろ電力融通強化策を目論んでも既に時期がおそい。佐久間発電所の進捗と共に何故電力会社は送電線を持つて電気を取りに行かなかつたか，これが大きなミスであつた。今その二の舞が奥只見，田子倉に起つて来ている。電源開発会社が，佐久間，只見川筋の電気を集めるべく，東京のはずれに容量120,000KVA2台の大変電所を設けた現在では，東京電力も東北電力も送電線を持つて電気を取りに行くには，時既におそしだ。

仮りに奥只見，田子倉の電気を東京，東北に両分すると約30万キロ宛になるが，そんな大量の電気が東北電力の本名長岡線には乗らないし，又東京電力の上越幹線にも乗らないだろう。

結局電源開発会社の思うつぼに入る事になる。又視野を代えて，電力会社が緊密なる連繋のもとに電力の融通を図るとしても，電力各社は，自己本位の送電線であつて誰が他の会社の便益になる送電線を造つて居るか，若しあつたとしても，精々隣接の電力会社も幾分うるほう程度でその隣の会社の分迄も考慮には入れてない。仮りに九州から東北まで電力を融通するとすれば，其の通過する電力会社の都合で，電気は融通されるであろうが高いものになる。それより縦貫した送電線によつて融通された方が料金は同一で確実で然も便利である。

其の3，松永構想の大量火力主水力従の方策も，大容量新鋭火力に対して電源開発の大容量ダム式発電に依つてこそ充分なる役割を果す事が出来る。寧ろ新鋭火力と電源開発の結び付きこそ日本の電気事業を発展さす途である。松永さんが電発総裁になつていつたらそんな方式になり兼ねない。唯電発創設に猛烈な反対したと云う理由に依つてなれなかつたのはまことに惜しい。

其の4，藤井副総裁の不実現と内海総裁の実現，藤井副総裁の再現は見られなかつたが，通産官僚は，桜井，斎藤両理事の代りに全部官僚出身を当てた。内海総裁は原子力発電をして電発の中心生命にしたいであろう。これが出来れば電発の融通会社は確実なものだ。大体電力会社は，官僚のはけ口に付いて協力的でない。電発は押し付けられるにしても一応はのんで居るから力関係は強くなる。

何れにしても電発は伸すべきものであろう。それに東北電力の様に貧乏会社に対しては電発は政策料金の面もいくらか考えられる会社であると云う。その半面佐久間の請負金増額のミスの問題もあるがと……この発言は電発育成者と見られるが，この問題も電気事業法の内容には明確にすべき問題である。

3． 電気事業の復元問題

この問題は既に復元主張の会社並びに地方自治団体は鉾を納めて一応諒解点に達し，消滅した感じがあるが，事実は未だくすぶつている様で，衆議院商工委員長の神田さんも大の主張者であるが，なんとか一応のケリを付け度い肚を持つている様である。来るべき通常国会には常任委員長の全面的入れ換も行われるであろうから，それ迄に仕末をつけ，電気事業法の改正に禍せぬ様にしたいのではないかとの噂である。その点から見ると，電気事業法の改正には復元問題は含まれないものが提出されると見るべきではあるまいか。

4． 電気事業の公共団体営問題

最近の公共団体の電源開発熱はすばらしいもので，1道1都2府42県中24県を数えられる。公共団体の電源開発は，其の建設原価で地区電力会社に売電する。極端に云えば安かろう高かろうは別問題であるとも云える。そこでフにおちないのは，年々の予算による減債基金で銷却して行く事である。この方式で行けば料金が原価主義であるならば，年々安くなつて行く筈で30年後位には唯になる勘定も出て来る。その安くなる過程において，電力会社に安く売られて行くであろうか，おそらくそうは行かないであろう，安くなつた暁

(90頁へ)



ヘリコプター命名式

世をあげてのオートメーション時代に生産性向上運動と相呼応し，当社が他電力会社に魁けて採用したヘリコプター7は稼動以来早くもこゝに3ケ年経過した訳であるが，その成果は電力設備の建設に保守にすばらしい貢献をもたらしているが，これに鑑み当社は更に2機を購入することになり，従来のし英国製シコルスキーS51型7 1機と近代性能を誇るしアメリカ製ベル47G 2 7 1機を発注したが，今回検収を了したので，9月10日11時より仙台ヘリポート構内において命名式を挙行した。

来賓として仙台通産局公益事業部本間業務課長を初め，矢本，霞目両航空事務所長，在仙報道人多数参列の下に厳かに修祓の行事が執行せられ，社長よりシコルスキーS51型ヘリコプターをしもがみ号7，ベル47G 2をしちようかい号7と命名する旨宣言あり，命名式終了後社長，堀副社長はベル47G 2に，来賓はシコルスキーS51型に夫々試乗，仙台上空を飛翔前途を祝つた。つゞいて格納庫に設けられた祝賀会に移り，社長より企業合理化の一端として採用したヘリコプターの効用と今後更にこれが設備の増強を図り需用家各位へのサービスを図る旨の挨拶あり，次に若林電気部長よりヘリコプター採用後の今日迄の実績と将来への期待について発表があり，パイロツト，整備上各人毎に紹介，一同乾杯の上仙台通産局公益事業部本間業務課長の発声で万才を3唱13時半解散した。



修　　祓　　式



東北地方の後進性打破と東北地方総合開発の一翼を担う当社計画にかゝる新鋭八戸火力発電所地鎮祭並びに披露式は，堂々時代の脚光を浴びて9月3日の佳き日をトし，仙台通産局長，青森県知事を初めとし，官民200有余名参会の下に八戸市立八戸小学校講堂において開催せられた。当日は八戸市地方の行事である三社まつりの祭典が行われ近郊よりの人出無慮30万を超え，2日夕刻より降り出した豪雨も全くはれあがり，碧天寸翳なしの秋晴れの好天気で，八戸市挙げての歓喜と祝賀の気分横溢し，工業都市として躍進する八戸市歴史の一頁を飾るにふさわしい行事であつた。

当社よりは社長を初め，白川副社長，平井建設局長，山内営業局長等の首脳部出席，当日9時半より同市馬渕川河口三角洲地帯建設現場において厳粛裡に起工修祓式を挙行，神官の祝詞奏上に次いで社長の歴史的鍬入れの儀が行われ全員その門出を祝福した。現地は現在工事担当者である大林組の仮設備が昼夜兼行で進められ，近代科学の粋を誇る各種新鋭機械は続々現場に到着一大偉観を呈している。

ついで11時より披露式に移り，古賀火力建設部長兼建設所長の工事概要の報告をかね，その固い信念と決意を述べて万場の拍手を浴びた。

次ぎに社長より八戸火力発電所建設の意義とその使命につき堂々10分間に亘り強調，参列者の感銘を一入深くせしめた。

祝辞に移り，仙台通産局長，青森県知事，青森県議会議長，八戸市長，夏堀代議士，盛岡青森間15万送電線建設促進期成同盟会長の各氏交々立つて本発電所建設が青森県産業振興，大八戸市実現への原動力たる所以を力説謳歌せられ，本工事起工に対する祝賀と激励の辞を寄せられた。

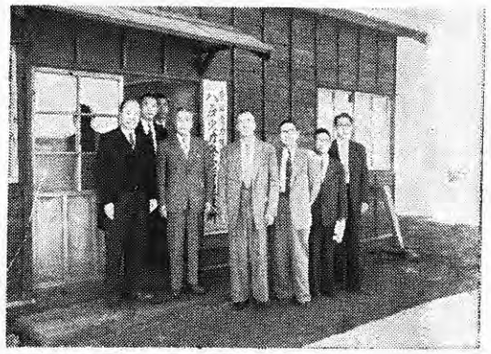
これを以て祝辞を終り，青森県選出代議士三浦一雄氏外10数氏より送られたる祝電の披露をなし，披露式



社　長　式　辞

は滞りなく終了した。引き続き祝賀会にうつり社長より感謝の挨拶あり来賓を代表し，淡谷代議士のテーブルスピーチあり郷土民芸駒踊り外の勇壮活潑なる余興の演出あり参会者一同和気靄々たるうちに終始し，堀野八戸市議会議長の万才三唱を以て一切を終了した。この後一同当社貸切バス3台に便乗天下の景勝地種差海岸の風光を賞で15時より市内中央通り当社仮設の桟敷において三社祭行列を観賞して解散した。

なお，当社においては，八戸火力発電所の建設の意義に鑑み起工より竣工まで一切を記録映画に止め広く江湖に紹介することになり，東京シネマに依頼製作することになり，当日ロケ関係者多数入り込みこれが偉観を収録した。因みに本発電所第1期工事出力は15万KW，運転開始は1号機昭和33年7月，2号機は昭和33年10月の予定である。（藤井）



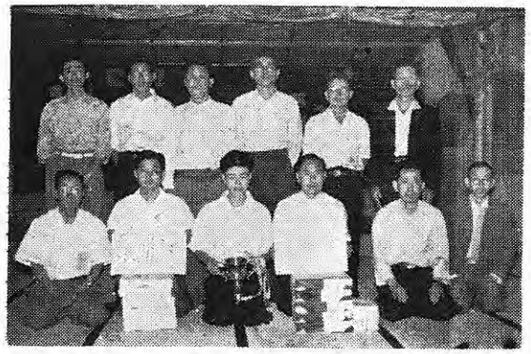
建設所開所式

第2回全社囲碁将棋大会

囲碁は新潟の2連勝
将棋は青森が初制覇

摺上川の清流に沿つて，さわやかに訪れる涼風が，むし暑い夏への惜別を語るように，肌に心よい抵抗を与えて，百畳敷の大会場は扇風機要らずの快適さである。

数えて，当社第2回の「全社囲碁将棋大会」は，全店所から選ばれた90名の選手が参加し，囲碁は本間5段，将棋は舟山4段各審判長立合いのもとに8月21～22の両日，飯坂温泉，ますや旅館大広間で盛大に開幕された。



まず競技は，前例に倣つて囲碁将棋共，1チーム5名編成とし参加9チームの総当り，リーグ戦で進められたが，この間にあつて，新潟，青森が囲碁将棋共に最初から激しいせり合いを演じ，容易に勝敗の予測を許さぬ大熱戦となつたが，結局，仲よく両チームで1，2位を頒ち合うと云う，如何にも職場対抗らしい和やかな雰囲気と結果をもつて，めでたく全スケジュールを終了した。

本大会における成績は次の通りである。

○● 囲 碁 ●○

囲碁の部では，前回の覇者新潟支店チームが，高橋3段以下，白浜，和田，中山，山岸と揃えたスタツフは実に堂々たるものであり，やはり本

第2回全社囲碁大会成績表

店所名	本店	青森	岩手	秋田	宮城	山形	福島	新潟	会津	勝数	得点	順位
本店		2	2.5	2	3.5	3	1	2	4	3.5	20	5
青森支店	3		4	3	3	3	4	2	3	7	25	2
岩手支店	2.5	1		4	2	2	2.5	0	4	3	18	7
秋田支店	3	2	1		1	3	0	2	3	3	15	8
宮城支店	1.5	2	3	4		3	2	2	5	4	22.5	4
山形支店	2	2	3	2	2		1	3	5	3	20	6
福島支店	4	1	2.5	5	3	4		2	3.5	5.5	25	3
新潟支店	3	3	5	3	3	2	3		5	7	27	1
会津電力事務所	1	2	1	2	0	0	1.5	0		0	7.5	9

第2回全社将棋大会成績表

店所名	本店	青森	岩手	秋田	宮城	山形	福島	新潟	会津	勝数	得点	順位
本店		1	1	3	0	3	0	0	2	2	10	8
青森支店	4		4	5	2	5	3	3	5	7	31	1
岩手支店	4	1		3	2	2	0	1	3	3	16	5
秋田支店	2	0	2		1	2	0	1	4	1	12	9
宮城支店	5	3	3	4		4	2	1	2	5	24	4
山形支店	2	0	3	3	1		1	0	2	2	12	7
福島支店	5	2	5	5	3	4		1.5	4	6	29.5	3
新潟支店	5	2	4	4	4	5	3.5		3	7	30.5	2
会津電力事務所	3	0	2	1	3	3	1	2		3	15	6

大会の本命として磐石の強さを誇れば，惜しくも優勝を逸したものの，当社の職場本因坊と自他共に赦す森川3段を総大将に，斎藤，及川，曽根の新鋭初段陣を網羅した宮城支店チームの挑戦が興味の中心であつた。

然し実際に蓋をあけて見ると，意外に各チームの実力が伯仲していてどの対局場も，まさに鎬を削る熾烈さであり，対局制限時間を費消して，審判長の秒読みに，深い溜息をもらすガンバリ組が続出する有様であつて，大会気分はまさに最高潮に達した。

殊に，優勝の有力候補と噂の高かつた宮城支店チームが緒戦において，地元福島支店のネバリに3：2と痛い星を失うなど，厳しい勝負の世界は，遠慮のない記録を真正面から刻み込んで行つた。

かくして，大会も，第1日目から，第2日目へと進行するにつれて，自軍の星の変化に悲喜交々峻しい優勝への道に，更に自己を叱咤しての戦は続いたが，中でも中村初段を総師とする青森支店チームは，一戦一戦を着実にものにして，遂に7勝1敗と強豪新潟とタイに持込み，最終戦まで優勝杯の行方を混沌たらしめた。

一方，戦前の予想で，それ程高く評価されていなかつた福島支店チームは，地の利を得たせいもあつたろうが，全員よく渾然として奮斗し，有段者を揃えた本店，宮城の両チームを尻目に，悠々第3位を獲得した戦い振りは実に見事であり，囲碁福島の面目を遺憾なく発揮したものとして，青森支店の奮戦振りと共に賞讃をかつた。

また，本大会で特に印象的であつたことは，昨年度第7回全国電気人囲碁大会に初出場して，よく全国優勝の偉業を達成した新潟の高橋3段と当社職場本因坊を以つて任ずる宮城の森川3段の対局が実現したことであつた。

勿論，この両者が，当社の職場囲碁界における最高実力者であることは，周知のところであり，両チームの作戦オーダーで，奇しくもこの両者が顔を合わせたことも僥倖だつたし，加えて高橋3段が彗星の如く現れた新人だけに，この両人の対局は全くの初対面とあつては，この対局に興味のそゝがれたことも当然であつた。

さて，問題の一番は，満場注視の中に森川3段の黒番で開始され，双方祕術をつくしての攻防戦に，鳥肌のダイゴ味を満喫させてくれたが，中盤以降森川3段の巧妙な攻めに高橋3段遂に支えきれず，森川3段中押でさしもの熱斗譜も終りをつげた。

かくして，2日間に亘り盤面火花を散らした大熱戦も，16時新潟支店の優勝でめでたく終了したのである。

終つて，最優秀選手詮衡会が開催され，審議の結果新潟支店チーム白浜2段がその栄に選ばれ，栄えある電気新聞東北支局賞が授与された。好漢の自重を切に祈る次第である。

将　棋

将棋も囲碁同様，前回の優勝者新潟支店チームが小林2段以下相変らずの布陣で出場した為，本大会での再制覇はまず堅いところとの予想が大方の見方であり，若し万一の僥倖ありとせば，北国弘前の素人名人位を保持する成田3段を新に加えてその陣容に厚みを増した青森支店チームと前回惜しくも準優勝の地位に留まつた宮城支店チームの追込みに期待がよせられた。

然し，これも囲碁同様，福島支店が物凄いファイトで地力を発揮，強豪宮城を一蹴するなど冒頭から波瀾を巻き起し，40個の駒の変化に魅了させられつゝ取り進んだが，こゝでも北端青森支店が最後まで頑張り抜く実戦型で強敵新潟を追い込み，囲碁同様7勝1敗同志となり，僅に得点で0・5の最僅少差で初制覇の偉業を成し遂げた。

勿論，同チーム優勝の蔭には，本大会唯一人の全勝者である原田1級の功績を高く評価しなければならないが，目立つたところでは本大会の出場者中，最高の実力者で絶体不敗と太鼓判を押された青森の成田3段に，遂に1敗と云う高価な黒星を与えた宮城の相原1級の大胆な駒捌きが注目された。



終つて，囲碁同様最優秀選手詮衡会で，青森支店の原田1級が問題なく推せんされ，見事東北電気協会賞を獲得した。

（厚生・三宮）

第3回本店はぜ釣大会開催さる

数えて第3回目の「本店はぜ釣大会」は例年に倣つて，9月30日松島湾内で，180名の釣天狗連が参加して盛大に催された。

この日は，第15号台風が無事通過してホツトした安堵感に加えて，絶好の快晴にも恵まれると云う釣する条件はまず上々であつた。

仙台駅発5時50分，普段奥様に布団を剝がれる迄は絶対起きないガンバリ型には，一寸辛い時間割ではあつたが，然しこの行事のお蔭ですがすがしい早朝の空気を胸一杯味い得た優越感と自分の腕を誇張するように，ビクだけは出来るだけ大きなものを用意して，予定時刻には全員揃つて車中の人となつた。

早朝の電車は常連の行商人を除いては，どのボツクスも今日の釣大会に参加する社の社員で占められ獲らぬ狸の皮算用に，あたりを憚からぬ高声で自慢話の花が咲き出した。

勿論，はぜ釣はそれ程高価な技術を必要とするわけでもないので，幾組かの女性陣の参加があつたこともなんとなく和やかで，如何にも職場レクリエーションらしい風景であつた。

かくして，定刻7時〝東北電力○○番〟と一連番号を記した60隻の釣舟が待機している磯崎海岸に到着した。

こゝで乗舟，即競技開始となるわけであるが，競技方法は3人1組で1隻に乗込み，各舟毎の総釣上重量で優劣を競う仕組みで開始され，競技時間は7時30分から15時30分の8時間と定められた。

やがて，乗舟を終つた組から，思い思いの目的地に向つて出発した。尚本日の潮どきは，7時から13時頃までとのことであつた。……

待ち構えた釣竿が海面目がけて一斉に放射された。この間，全神経を釣糸に響くシヨツクに集中して，どの顔も真剣に海面を睨む……。

暫くして手応えがあつた。喊声と共に釣上げれば真白い下腹を思い切りふくらませたフグ公に，がつかり映声をもらしているもの。さてはカレイやうなぎの思わざる獲ものに，大公望を1人占めしたような得意顔と，様々な場面が静かな海面に次々に造型されて行つた。

然し，誰にも遠慮の要らぬ海底の神秘を追つての楽しさは，釣大会と云う競技意識も手伝つて，今日一日だけは仕事のことも家庭のことも全てを忘れ去つた無我の境地に陶酔しながらの幾時間かゞ続いた。

時計が15時を指し始める頃，お互にビクに詰められた獲ものの重量を気にしながら，つきぬ名残りを綵の島蔭に留めて全員無事帰港の途についた。　（三宮）

尚本大会の成績は次の通りであつた。

1位	立花，村上，吉田	2貫770匁
2位	遠藤，竹内，庄司	2，540
3位	高橋，松橋，塩谷	2，540
4位	辻田，庄司，早坂	2，520
5位	庄子，佐久間，小林	2，520
6位	土杉，小川，草刈	2，420
7位	坂水，石垣，結城	2，400
8位	岩間，板垣，小野	2，390
9位	阿部，柳田，浅野	2，300
10位	佐藤，渡辺，遊佐	2，030



新鳴子発電所起工式挙行



当社が再編成後はじめて宮城県下で着工した，江合川水系新鳴子発電所(最大1万8千キロワツト)建設の地鎮祭及び晴れの起工式は，菊薫る10月2日現地鳴子町においてそれぞれ挙行された。先ず地鎮祭は午前10時から鳴子町末沢西地点において，内ケ崎社長始め会社幹部並びに請負業者鹿島建設小野副社長外三菱電機三菱造船，川崎重工業，高友組等の各代表が列席の上厳粛に執行，引続き午前11時には鳴子小学校において盛大な起工式を行つた。式には会社側から白洲会長，内ケ崎社長，白川副社長，平井建設局長，飛田建設所長等が，又来賓としては，仙台通商産業局長（代理）宮城県知事（代理），宮城県議会議長（代理），建設省東北地方建設局長（代理），伊藤仙台農地事務局長，川島宮城県労働基準局長，日本銀行，日本興業銀行，日本勧業銀行各仙台支店長，七十七銀行頭取（代理）地元から高橋鳴子町長，三浦古川市長等各界の代表約80余名が参列した。式は前夜降雨があり肌さか懸念されたが2日はからりと晴れ上り会場内外は秋晴れの新鮮な空気で一杯，特に会場は万国旗で飾られ，祝賀気分万点であつた。式は飛田建設所長の工事概要説明，内ケ崎社長の挨拶，来賓祝辞が行われ12時一旦閉式，引続いて祝宴会には入つたが，終始会場は和やかな雰

囲気に包まれ，聽て余興に移つたが特に郷土芸術の上文楽仙台萩丁には列席の方々より関西文楽に次ぐ立派な大芸術だとの声が起つていた。かくして午後1時過ぎ遊佐鳴子町議会議長の万才三唱で目出度く終了，直ちに仙台方面よりの来賓によるダム地点（上流側，下流側），発電所建設現場の入念な視察が行われた。因に新鳴子発電所建設の計画概要は次のようなものであるが，本計画中鳴子ダムは洪水調節を主目的とし併せて灌漑並びに発電を考慮する多目的ダムであつて，昭和27年建設省直轄工事として起工されたものである。この鳴子ダムにより当社の既設鳴子（最大出力2,500キロワツト），荒雄川（最大出力850キロワツト），鬼首（最大出力1,400キロワツト）の3発電所が水没することゝなるが，本ダムを利用して導水路を新設し，既設鳴子発電所の傍に新鳴子発電所を設けて（最大出力18,000キロワツト）を発電するものであり，総工費18億9千5百万円を投じて本年5月以来鋭意建設準備及び本工事を進めて来たもので，完成は来年4月10日を予定している超突貫工事である。着工当初から飛出建設所長始め所員一同と業者側との完全なチームワークにより工事施行中であるので，聽て予定通り完成と云う輝かしい金字塔を飾るものと各方面より期待されている。建設担当各位の今後の御健斗を祈念しつゝ擱筆する。

（T.W）

村田社長室長帰社

かねて日本生産性本部電力班のメンバーとして渡米各地を視察中であつた村田社長室長は，去る10月5日無事19時40分仙台着の列車で帰社され，社長以下の歓迎の乾杯に長途の疲れも見せず元気に帰朝のあいさつをされていた。

8月9日羽田発日航機で故国をあとにしてから2ケ月，ワシントンをはじめ各主要都市を歴訪，彼の地の生産性向上運動の実際を視察されて帰られた訳であり，現在いろいろな意味で注目の的となつている生産性向上運動について，いずれくわしく御報告があることゝ思われる。

（83頁より）

には安い料金で単独供給事業も考えるに違いない。供給区域独占の原則は此処において破られる結果となる。こう雨後のたけの子の様に出来るのではなんとか考える必要がある。電力不足の折柄良いではないかと云う訳にも行かない。この措置も一応のめどをつけて置かなければならない電気事業法改正の要点である。

この点に関する議会人は地方自治団体との繋から見て，公共団体の電源開発事業反対の説は低調と見るべきで，通産当局の大いなる判断力を必要とする様である。

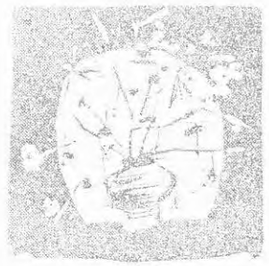
5. 所謂電気事業の再々編成

この問題は高碕経済企画庁長官の発言に端を発し話題を投げた問題であるが，こう世の中が電力不足，料金アンバランスとなつては，更に拍車をかける結果となる気配がある。電力会社が如何に現在の9分割が良いと云つても事実が需用家に電力キキンを招来せしめては話題とならざるを得ない。然し話題となつても，全国的電力不足ではこれに原因をなすり付ける事は酷であつて，抜本的電力不足解消策とはならないから，電気事業法改正案の重大な問題点とはなるまいと見られる。

6. スト規制法の恒久化

本問題はおそらく通常国会には提出されるものと予想される。保守革新の攻防は，前国会同様の熾烈化が思わされる。

（昭31.9.20　総務課N）



7千メガの旅

—極超短波講習会の記—

堀　川　治　平

給電部通信関係社員教育として，9月4日から3日間，会津電力事務所に於て7000メガ極超短波無線の講習会がひらかれ，各支店の通信関係者15名が馳せさんじた。私ははるばる秋田から初の会津入りをした一人であるが，講習会としては異色のもので感銘も深かつたので，肩のこらぬ漫談式に御紹介申し上げる次第である。

○会津に入る

初秋とは名ばかり，連中の猛暑である。列車の中では扇風機の下に陣取つたが，裏日本を南下するとトンネルが多いので閉口した。しかし，それでもさすがに季節は争えず，日本海は波一つなく，新潟に入るころには海の色もよく澄んで，岩礁の一つ一つがよく見えた。クレヨンを塗つたような明るい越後平野や国立公園阿賀川ラインを車窓に見ながら会津へ近づく。

雄大な山々，洋々たる河の流れ，東北電力が誇る5万キロ級の発電所のダムがライン河畔の古城そのまゝに（もつとも筆者はライン河はみたことはないが）威容をみせているのは見事であつた。

日が暮れるころ会津盆地に入つていつたが，先ず思うに，会津とは大へんな山国だということだつた。層々たる山岳と密林，そしてゆつたりと溢れてくる河川。昔をたづねれば会津を制するものは東北を制するといわれた中原の地であるが，要害の地であることはすぐにうなづけるものがあつた。何となく，山の高いところへくると人間存在が小さく感ぜられるが，そうゆう印象を受けた。

しかし，喜多方を通る時には昭和電工の大工場がみえたり，夕日を浴びて光つている15万の送電線がみえて，電源王国にきたという感じも一入である。ともかく，私は7,000メガの官費旅行で会津へ来たのであるから，目にし耳にするものは有効に吸収しようという慾ばり根性でゆこうと思い立つた。今度の講習は実視というか，見学に重きをおいた講習で，只見へ足をのばすこともプランに組まれて，未だ見ぬ山河へと私の心はおどるのだつた。

○電力事務所のプロフイル

私たちは若松市のヨネクマという宿にとまつた。なんだか聞いたような名前であると思つたらオニクマという惨虐の犯人の名に似ているからであつた。このヨネクマに泊つてあくる朝，電力の総本山，会津電力事務所をたづねると，広い中庭に，とてつもなく大きいパノラマ模型があつた。山ばかり多くて，どこが只見やら裏磐梯やら全く見当のつかなかつたので，こいで地形と方向を頭におさめたが，講習3日目の惣山行きがたいへんな山奥であることを知つて，さてさてこんな筈はなかつたぞという顔をした講習生もいた。

開講は，会議室に遠来の鈴木給電部長を迎えて激励をいただき，会津が誇る7,000メガの講義に入つたが，そのころから炎暑はじりじりと迫つてきてトツプを承つた平山講師も汗をふきふき，電波伝播を説き去り説き来る。

風の行方は吾知らず，されども風は吹いている，という童謡詩人の唄のように極超短波は目には見えずに飛んでゆく存在であるが，根は可視距離直進性の正直ものである。又，これを扱う装置が大きなおもちゃで滑稽な感じがすると云えば叱られるだろうか。

つづいて地元から通信所の今村主任が立つて，主として保守の面からみた苦心談を折りまぜて語つたが，7,000メガを実地に扱つてきた人の体験には，雪のふる地方特有の故障がおこつたりした悩みも吐露され，なるほどと思い，今後の大事な指針と思つて一心に書きとめたのである。確かに守る側の人たちにとつては，冬場に山の中継所行きは辛いことだろうと思つた。

講義が終ると，一行はバスで東山の無線電中継所の見学に向つた。ロマンスカーを備えている電力事務所は羨ましいことである。

バスの行手に若松市の東縁をかぎる小高い山々が連なり，その一角の頂上に銀色にびかッと光るものが見える。これが会津通信所の屋上のパラボラから発射された電波を，惣山中継所へはね返して送る反射板である。

4mに6mの銀ピカの大反射板であるが，標高645mの山のてつぺんに立つているので，鏡のくらいにしか見えない。吾々はそのてつぺんまで登らねばならないので，容易ならぬことになつたと思つたが，今更，仮病をつかうわけにもゆかず，覚悟をきめて山のふもとでバスからおりた。吾ながら悲壮な決心であるが，社長が登つたということであるし，年寄りが登つて吾々が登れぬ筈もあるまいと，景気のよいことをぬかして杉林の中を辿つていつた。しかし，道は次第に高くなり元気のいい若手はどんどん行つてしまうし，こちらはエネルギーをなるべく消費しないように一番ラストを引受け，かたつむりのように這い上つてゆく。どこ迄いつても頂上らしいものは見えず，全く情無いことになつたなと思つていると，途中で講師たちが待つていて，あと3分の1しかない，頑張れという。いやそれからの長かつたこと，2分の1はたつぷりあつたろう。

さすが辿りついてみると，若松市はおろか会津盆地は目の下にかすみ，遙か飯豊連峯の夕空に浮んでいるのも見えた。東山無線電中継所というのは，名前は恐しくいかめしいが，要するに銀色の大黒板である。夏の日をはね返してギラギラ光る反射板の基礎をよくみてから，山を駈けおりて，一行は会津通信所の端局装置と無線機を見学した。屋上のパラボラも見学した。講習生には熱心に撮影している人々も少くなかつた。百聞は一見に如かずというが，日電製の端局は如何にも新鋭といつた感じのものであつた。

こうして初日は，登山を加えて内容たつぷりな1日であつたが，若松市内には山蟬というか，ミンミン蟬が鳴き，夜になつても猛暑は衰えず，宿の池の鯉が時々はね上つて，夢を破ることもあつた。

○柳　津　行

第2日目は日電の技師による機械内部の講義であるが，再び朝から水銀柱はぐんぐん上り，伏暑の禅修業でもしているようであつた。しかし講義もこれきりというので，質問もさかんにとび出した。夕刻には愈々柳津に向うというので解放感も一しきりであつた。再び未知の世界に出発するというよろこびで，待ちかねたロマンスカーに乗つた。この日は，竹内労務係長が同乗して陣頭に立つた。

小学生のころ，私は先生から「よく学び，よく遊べ」という訓示を受けたものである。バランスがとれないと勉強も遊びも完全な効果を発揮しないという意味である。さればと言つて，昼は講義を受け，夜は紅灯の巷をさまようというのでは完全な効果は疑わしい。そんなことならわざわざ会津の地へ来なくても出来るのである。会津でなければ出来ないもの，得がたいもの，それが次にしるす課外講義であつた。柳津着は夜になるので，途中，東山温泉，飯盛山を経て鶴ケ城の古跡をたづねるという好意にみちたコースを選んで下さつた。

バスは炎暑の衰えた郊外のみちを走つて東山温泉へ向つた。若松市からは目と鼻の先であるが，谷は深く，林相も何ともいえぬほど豊かで美しい。湯川の流れが谷底を洗い，豪華なホテルが庇をつらねている。山形市における蔵王高湯と双璧をなすものだろう。

別れを惜しんで再び車中の人となり，飯盛山を訪ねたが，ここは白虎清水，白虎羊かん，白虎せんべい，白虎人形とオール白虎でかためたところとて，茶店のかみさんがありし日を偲んで，名調子のガイドをつとめてくれた。白虎隊の精神というと，今日では時代錯誤と言われようが，9月3日の当地の新聞では会津坂町の町長が病苦の末，軍刀で割腹自殺をとげたことを伝えている。鶴ケ城のほとりの武道場では，会津乙女が男子に伍して唐手の稽古をはげんでいるのも見た。

会津は火山の国であり，岩を噛む奔流と山岳地帯の峻烈な気性の国でもある。こんなところからは理想主義やロマンテイシユな激しい性格が生れる。狷介と孤独と排他というほめられぬ一克な気質も生れるわけだ。しかして，いたるところ温泉遊蕩の地がある。ばくち気も相当ある。

東海散士，中山義秀，野口英世，小原庄助，白虎隊……皆この国の人々である。

「ここがバンジユンの二等兵物語のロケをした兵営です」

竹内さんの指さすところ，会津聯隊の古色蒼然たる兵舎が見えた。何といつても風光にはめぐまれ，裏磐梯という東北切つての金看板をもつているところとて，ロケなぞは珍らしくない土地らしい。私の記憶でも，真船豊の山参道は猪苗代湖畔。若松と柳津とお薬園の出てくる二男坊故郷へ帰る。私の師匠である伊藤永之助の警察日記は裏磐梯である。そのほか数え上げたらキリがないだろう。まして，それから到着した鶴ケ城は天守閣こそ滅失したれど，規模では東北第一の名城を誇つて，石垣にはおどろかされる。ものふるびた天守閣の石の橋に足をかけただけで，悠久な思いが胸をふさぐ。こういう処で朗々と詩を吟じ，又謡でも張り上げたら，どんなに痛快なことか知れない。荒城の月の詩碑もここにある。仙台の青葉城にも詩碑があるそうだが，会津人は俺の方が本家だといつて聞かないようである。まあ，どこの城でもそんなイメージはあるにはあるが，蘆名の昔から何度も落城の悲運に見舞われたこの城の方に同情的軍配を上げたいような気がしてならなかつた。

東北電力の築いたダムも大きい。しかし，鶴ケ城の石垣は原始的な生々しい力を持つて私たちに訴えてくる。原子力発電に入れば，ダムも国宝となるかも知れませんよという。そろそろ迫りくる夕闇に思いも残して鶴ケ城を後にした。

竹内さんはまことに奇特な方で，会津文化の足跡を克明に紹介して下さるには頭が下つた。地元にいても地元の文化や歴史には無関心な人が多い。7,000メガの講習会にきたから7,000メガ以外には教える必要がないと言われる方が多いかも知れぬ。しかし，それは吾々を育くんでくれた東北の山河や文化に対する冒瀆と軽蔑以外の何ものでもないだろう。

東北の文化を知らずして東北の開発を叫ぶなぞは烏滸の沙汰である。私たちは東北を知つているようで，その実は何も知らぬといつてもよい。私たちは東北の山河にひそむエスプリや東北に光を掲げた人々の足跡に対して謙虚な態度で立ち向はねばならない。電力事務所では昼の休みに文化史の講義を受けているということである。こんどの7,000メガの講習会の裏から，じつくりとプラスアルファをもりこんでゆこうとする幹部たちの暖い思いやりを，私は泌々と思はずには居られなか

つた。こうして，私たちは厚意にあふれたプランの中をロマンスカーで只見へゆこうとしていた。坂下(ばんげ)をすぎると，もう深い嵐気(らんき)にみちた只見の窮間は初まつていた。

身に沁みる夜気の中をバスは柳津へ入つていつた。

柳津は，今夏大洪水と山崩れに見舞われたところで，宿屋でも一階から下は挽土砂で綛なめにあつたということで，宿の女中さんが水害談を一くさり。懸河の弁というかその話術の巧さには7,000メガの講師も顔色なしである。会津一の桐の仲買人が変宅へきていて一杯のんでいるところを家もろとも抑しつぶされたというのは，宿の近くで，夕飯がすんでから，私はその現場をぶらつき，名物の鉄橋の上から只見川のまん中へ放尿した。まことに悪趣味で，ここは巨刹，虚空蔵さまの霊場であつたのである。翌る朝，未明に起きると，朝霧の中を虚空蔵さんに登つたが，ここは矢張りバンジユンという喜劇役者の出る次男坊故郷へ帰るという映画にも紹介されているとおり，巨岩から出来た山頂に大きな堂がそびえている。眼下はるかに湖水のような只見川の流れがたゆたい絶景である。長さ一間もある大草鞋が仁王の立つ山門にぶらさがつていた。お賽銭箱に五円玉を放り投げると，うす暗い堂内に居た坊さんがいきなり太鼓を叩いてお経を上げ出したのには，吾ながらぎよつとし，恐縮してしまつた。よく考えてみると偶然の一致らしいのである。お堂を出てみると，本堂の屋根修理の寄進札が立つていて，大映，一金100万円也というのもあつた。5円玉でお経を上げるような見識のない坊さんは居る筈がないのである。

○惣山中継所に登る

あわただしい朝の一時であつた。バスが柳津を発つころから大谿谷のいただきに陽があたつて，霧が山頂の方から晴れていつた。

ところどころ水害後の道ぶしんをやつていて，バスは断崖の上をはらはらさせて通過してゆく。途中危ないと思われる橋を通る時には，竹内さんは全員をおろしてバスを通してやる。万が一ということを考えられたろうが，この心掛には全く頭が下つた。労務担当者というものは須らくこうなければならぬと思つた。

只見の風景を一々書いていたらきりがないので止めるが，とにかく阿賀の川ラインも顔まけするほど雄大で変化と抑揚に富んでいる。

ここら辺は昔は行くも来るも，筏や舟にでも乗らねば下流へ下りてくることのむづかしい遥遠の土地ではなかつたろうか。マタギや羚羊のみちであり，流人や残党や山賊（失礼！）のパラダイスであつたかも知れない。

灰ずみ色に重苦しくよどんだ雪雲がたれこめる冬場なぞはどうであろう。柳津の妾宅で圧死した会津の桐屋なぞはここら辺の谷間をてくてく分け歩いて桐の木を買つて歩いて一代の分限者となつたのである。只見の山は容易に人を寄せつけぬ風貌をして居る。ここへ吾々の東北電力の草わけの人々がポールや測量器械をかついで開発の第一歩を印したのである。山々は鳴りとどろいて，密林の中にねむる古代の夢を打ちくだいたのである。

ところどころ雪崩どめの鹿柴(ろくさい)が見え，村があり，又殿堂のような大発電所が光つている。こんな孤島のような土地をつなぐには有線電話のような手ぬるいものでは，冬場が大へんで，極超短波や電力線搬送の威力を借りねばならないということがよく判るのである。

柳津発電所に着いた時，そんな土地柄を不安に思つて，所長さんに通信に関する何かの支障や要望があつたら明して貰いたいという意見が出たが，御返事はきわめて安定しているということで両者の威力を確認した次第であつた。7,000メガは60通話路迄収容出来るという威力をもつている。

本名の所長さんも，こう電話が便利になると，万事電話で解決出来てしまつて，設計図でもひろげて説明するといつたことでもなければ本店に出向くこともありません。こんな新しい発電所では改造なんてことは，ま，ありませんからねと，便利の不便について苦笑して居られた。

私たちは柳津と本名と沼沢沼の3発電所を見学したが，沼沢がいちばん興味をひかれ，質問も集中した。この3つの発電所では各々図表を用意して，短時間のうちに巧みに適切な講義をいただいたのは，通信一偏倒になりやすい私たちの蒙をひらいて下さつたものとして有難いものであつた。

私たちは昼すぎから愈々第3日目の主目的である惣山無人中継所に登ることになつた。

惣山は海抜816m，東山の電波を受けて本名と只見川上流調査所へ中継する重要ポイントで，特に保守の専用道路が設けられている。ジープに分乗して山頂目ざして驀進してゆくと勾配は次第に急になり，このままで車がエンコしたらどうなるだろうと思うとぞツとして，思わず神仏が運転手を守つてくれるようにと祈つたりした。そんなわけで，登りつめた時はさすがに胸のうちがすうツとひらいたような感じがした。

この無人中継所は自亜の瀟洒(しようしや)な建物で，屋上に3つのパラボラが据付けられている。もちろん無人であるから自動化され，リモートコントロールされている。内部の通風や温湿度調整，予備電源にも細心の考慮を払つている。

屋上に登ると，目の下に只見の大峡谷がひろがり，沼沢沼の湖水が一飛びに飛び下りてゆけそうに見える。沼沢沼の話で面白いのは発電所をつくる時に，沼沢で魚とりをしている男が魚が減るといつて頑張つて補償金を電力会社からせしめたが，あとで揚水が軌道にのつて只見の水が入ると，却つて魚が増え昔よりも一廻り大きいのがとれるようになり，まさしく漁夫の利を占めたという珍談がある。

私たちはここで四方の風景を望遠鏡で眺め，又機械の講義を受け，保守上の質問をした。こんな高い山に故障修理や定期点検にのぼつてくる通信所員はまことに御苦労なことであるが，しかし明日は吾が身ということもあるので，胸の底によく刻んだことであつた。

帰りは屢々不吉な幻想にとらえられた。ハンドルを切り損つたら，がんくらからすつ飛んで恐怖の報酬を地でゆくことになるわけである。ジープのエンジンは猛烈に熱くなつて胆を冷やしながら只見街道へ下りた。

これで最終日の課程も残りなく見つくしたが，バスがゆく道の辺にはススキが光り，15万の鉄塔が夕日を浴びて十字架のように光つて，又小さくなつてゆく。柳津の町が近づいてくる。私たちは最後の休息を偕楽荘の豪華な部屋でとつたが，夕日に映える柳津の水を眺め，素朴な只見のこけし人形を買つて，一路電力事務所へと向つた。

又来む日ありやなしや……そういつた旅愁めいた感情が湧いてくるのをどうすることも出来なかつた。とにかく3日間の講習であつたが，私たちの行程は東奔西走というか，会津の山野を駈けめぐり，7,000メガの知識と共に諸々の収穫を得た。東北電力の誇る只見電源地帯というものも，このような講習会がなければ見ることは出来なかつたに違いない。この雄渾な建設の跡は全従業者一人一人に見せたいとも思う。見ればきつと清新な感動を受けるに違いない。とにかく出し惜しみせずに見聞の労をとり，歓待された電力事務所に対しては，紙上を借りて厚く御礼を申し上げたい。

第4日目は会津に別れる日である。野地廻り福島行きのバスにのつて海抜1,200mの野地峠を越えてゆくと磐梯国立公園の吾妻富士の山の底からすさまじい勢いで霧が這い上つてきた。そして，みるみる会津の山を隠していつた。

（秋田通信所）——(1956.9.2)——



ありのはなし

連山仁一郎

ありという奴は団体をつくつて生活をしているので誰でもそれを観察する時はその個体を見ないで社会生活をみるのが普通の様だ。成程よく見ると人間の社会生活によく似通つている点が多い。女王ありを中心に生活している所などは君主国をみる様なものである。ありの種類というものは大変多いものといわれ日本だけでも300以上もあるという。私も南方に行つて種々のありを見たが，ありの社会生活をこまめに見るには暑さがとても許してはくれなかつたが，たつた一度これは空前絶後の恐ろしい光景をみたのである。それは私がありの木を見つけたというおはなしである。

アロスター（マレー・ケダー州）に駐在した時，私の家の前の道路には立派な豆の木の並木があつた。豆の木はと御言る方もあると思うが，丁度日本でいえば川の畔に生えるねむの木に似た葉を持つた小さな豆の葉があつて，葉にさわればやはりねむの如く葉をちじませる草を御存知であろう。私は小さい時それの豆の実をとつて塩漬にして遊んだ思ひ出もある。その豆の草をそのままヤツクの豆の木の様に天をつく大きさにしたのか私のいう豆の木である。従つてその豆の実も30糎は立派にあり，これではとても稲神漬にするわけにもゆくまいとよく見上げていたものである。この豆の実を採つて私は灰皿代用にしたり，ペン皿の代りに会社へ持つていつたりして訪れる人をびつくりさせたものだつた。

所がこの豆の木には物凄い種類のありがよく歩いているのである。日本の女王あり位の大きさだが，薄赤く半透明で非常に挙動は早いありである。これに咬まれると，飛び上る程の劇痛を感ずる。感ずるだけならいいが忽ちにしてその部分ははれ上つて来て，手でも足でも倍位にふくれ上つてしまうのである。それのみならず熱が出て来る。どうしてありこ一匹と馬鹿には出来ない代物である。豆の木に登つてこのありに咬まれ木から落ちた私の召使いは，一週間たつぷりは床の中でうなつていたほどである。

ある時豆の木が黄色の花をほこらしげに咲かせはじめると私は一つの茶目を思いついたのである。ひとつこの豆の実のどでかいのを作つてやろうということである。南方の植物は特に野菜がそうだつたが，肥料をやらなくてもぐんぐんのびるので，施肥でもしようものならとてつもない物が出来上るのである。豆でもカチヤン・パンジヤン（カチヤンは豆，パンヂヤンは長いというマレー語）といつて，16さゝげの長い様なのがあるが，これに施肥をすると1米にもそれ以上にものびるのである。そこで私は庭の池の川魚を干してつくつた肥料を，並木の豆の木のこれぞと思う特に大きな木を3木えらんで施肥をしたのである。毎朝目をさますとその木の下に行つて，早く延びろよ豆の実よとやつたわけである。

結果はどうであつたろう。1木は少し大きな豆が生つた。もう1木はいささか成功か，1米に近い豆が生り，召使達これにはびつくり仰天した。よせばよいのにこれを世間にふりまくので，私の自慢の豆の実も，暮夜ひそかに之を盗むものが続出して，私が収獲したのはわづかに10本足らずとなつてしまつたのである。さて最後の1本はこれは何としたことだろう。肥料のやりすぎと見えて，のびる程に育つ程に実が落ち出し，しまいにはひねくれたいやに太つた無恰好な実がわずかに成るという結果になつたのである。化物ずきの現地人はこの豆の木は化物だと片づけて近よらなくなつてしまつたのである。其処で私は止むを得ず梯子にのぼつて自ら収獲してみようという段取りになつたのである。

まず赤ありを警戒して乗馬服に身を固め，手足をよく掩つて木登りをはじめた。私は稚気を出して，ジヤツクは我なり。我はジヤツクなり。ジヤツク豆の木に登る！と大声を挙げ乍ら梯子を一段一段と上つた。召使達は又旦那が化物にいじむと心配顔はいいのだが騒ぐので人だかりがする始末である。よしこうなればと私もまけずにさわいだ。ジヤツクよジヤツク。元気でのぼれという調子である。やがてたつた豆の実の一つに私の右手が届こうとした時である，突然音もなくその実ははぜる様に口を開いたのである。アツと思う間もなく実の中から赤い紐の流れがサラサラと流れるように見えた。赤ありだと直観すると私は梯子の両端をすべつて下にころがつた。どうしてそんなに早く逃げられたか私にはわからない。とにかくうまく私は逃げだしたのである，同時に見物していた現地人達もみんなさつととびのいた。ありはと見れば糸状をなしてサラサラと流れる如く木から降りて来るのである。ぶるぶるつと身ぶるいして本当に髪が逆立つた。手にのこつているありに気がついて夢中でこすり落した。

所が更に驚くできごとが一方に起つたのである。先程から見物人に交つてぼんやり立つていた犬が突然もがき苦しみ出したのである，とみる間に七転八倒し出した。赤ありの紐は犬にからみついたのだ。見よ幾千の赤ありは彼を目がけて襲つているのである。恐らく我等の住家を犯す不届者と間違えたのであろう。彼の体はみるみる内にありの大群で埋まつてしまつた。いやいや大げさではない。確かに埋まつたのである。気が付いた私が慌つとびに家の中にとつてかえし，片脳油（日本の輸出品です）を持出すまでに犬は完全に埋まつてしまつたのである。そしてそれきり犬はうんともすんとも身うごきもしないのである。私はこん畜生と近づいた。片脳油を犬の頭からぶつかける。するとどうであろう。ありの一群は忽ちにして赤い糸状をなしたかと思うと豆の木にするすると逆戻りしてゆくのである。実に見事である。これもあつという間の出来事であつたのである。

死んだ犬を我が庭に手厚く葬つてやるまで私は今の出来事に興奮しつづけていた。もし我が身にあの赤ありがまといついたとしたら何とした事だろう。今頃は一巻のおわりである。それにしてもあの施肥をしたうまい豆の実をありが知つて育つ実を片はしからたべつくし，しかも残りの実の中に巣食うなどとは誰が思い当ろうか。何ともはや感心のしようがないではないか。私が豆の木と思つて登つた木は豆の木にはあらずして正真正銘のありの木であるという恐るべき事実に私はあつたのである。

（東京事務所）

——•——

前回のかたつむりのはなしについて御詫びします。はなしを面白くするために（？）日本には左まきのかたつむりが居ない様な風にかき，方々から御注意をうけました。勿論関東以北には「左まきまいまい」というレツキとした名のかたつむりが沢山おります。御注意いただいた方々に紙上で御礼申上ます。尚今後ともよろしく又是非御名前もお聞かせ下さる様願上げます。

（連山拝）



秋夜文学談

——井上靖論——

菅　雄吉

秋夜，灯火なつかしい窓辺に古今の名作をひもとくのは楽しみである。私は小説が好きだから，こゝには主に小説のことを云うのだが，一体小説というものは我々にとつてどんな価値を有するものであるか，と考えてみると，別に仕事の上に参考になるわけでもないし，知識の源泉というものでもなさそうである。これは主として人生について何かの暗示を与えるものである。人生如何に生くべきか，ということについて古今の文学者が考えたことが名作といわれる小説の共通の主題といえよう。仕事に追われる日常を送つている人でも，たまには半夜夢さめて過ぎ来し方をふり返る時もある。そして人生について疑問を覚えたりする。秋の夜はこんな時が多くの人にやつて来るもので，文豪の名作をしみじみ心に浸み込ませるのもこんな時である。

古今の名作と一口に云うが，古今の古の方は比較的簡単である。長い年月と多数の読者の評価によつて，おのずからその名声が定まつている。然し今の名作となると，市場には名作，佳作，愚作悪作か混然としてなかなか見分けがたい。ところが現代に生きる我々には実はこの方がより身近で共鳴できるものがあるのである。古典といわれる名作，泰西のシエクスピア，本朝の西鶴といつたような人の作品は永遠の人間性を描いて，今日なお我々の琴線に触れるものがあるが，今日我々をとり巻く現代の空気との相違によつて，やはり一種の距離感は否定できぬところである。やはり我々は今日の文学に我々の欲求を向けざるを得ない。どうも此頃の小説はつまらん，印象に残る作品がないネ……などといいながらも，次々と出る新作に無関心では居れないのである。この頃の作家達の勤勉ぶりは大したもので，次々と出る作品群は洪水の如く，いかな小説好きといえども応接にいとまがない。この中から傑作，佳作を探し出すとなると人間の限りある能力のラチ外のことのように思える。然しこの中から稀に我々の心を打つ作品に触れることがあると，我々はその作品を尊重したくなる。

井上靖という作家は我々の心に訴える作品を示す人である。いわゆる中間小説といわれる作品を多作しているが，芥川賞を受けた「猟銃」「闘牛」以来，優れた純文学の短篇を忘れずに出している。最近「ある偽作者の生涯」という作を読んだが，これは埋もれた人生を描いて読む者に深い印象を与える作であつた。

この作は大貫桂岳という日本画家の伝記を書くことを依頼された作家が，執筆の材料を集めるため中国地方を旅行してその画家の作品を見て歩いている中に，度々桂岳の偽作にぶつかる。つまり田舎の物持ちなどに高価な桂岳の作だとして売りつけていた偽作だつたのである。調べてみるとこの偽作者が若い頃は桂岳と友達同士で相当の才能もあつたが，桂岳が次第に出世してゆくにつれて反対に堕落してゆき，世に背いて桂岳の偽作を描いて生活をたてるようになつた，ということが分る。ところが戦争中作者が家族を疎開させる目的で中国山脈の中の山村にゆくと，偶然にもそこがその偽作者原芳泉の故郷であり，死んだ所であつた。この山の中で芳泉は部落から離れた所に小屋を作り，妻にも逃げられてしまつて，一人で花火製造をしながら淋しく死んで行つたのである。そのことを作者は村人たちの話から知る。

この作品は主人公は直接登場せずに作者がその人の作品を見たり，噂話を聞いたり，つまり間接法で，住んでいた家を見たりしたことを述べながら，次第に偽作者芳泉の姿を浮ぼりにし，世と相容れない孤独の精神を描き出して高い芸術境に達し，読む人の胸に荒原を渡る秋風の音にも似た孤独の風を吹きつける。こういう小説は読むに値する小説といえよう。

この作全体に流れる孤独感というものが，井上靖の文学の何れにも共通した雰囲気ともいえるもので，人には分つてもらえない，従つて自分だけの胸にある，そして胸の中で次第に育つてゆく夢が孤独の感を増してゆくらしい。「風林火山」の主人公山本勘助もそのような人物である。

武田信玄の軍師山本勘助は50歳にして，当時23歳の武田晴信に召しかゝえられる。勘助は片眼で片足が悪く，それに性格か奇矯で人と相容れない。若い時から諸国を廻つて各国の地勢風俗に通じていると称しているが，それは信用できない。その醜い容姿と性格と強い自信のため人から敬遠され怖れられるが，晴信からは暖い信頼を寄せられ，勘助は生れて初めて人に好感を持つた。この気持が孤独の彼の唯一の夢を育てゆく。晴信を日本一の武将としようという夢である。晴信の軍師となつて諏訪を攻略し，北信の村上義清を征し，甲州に征め入らんとした上州の上杉氏を撃破し，更に木曽方面を平定し，次第に夢を実現してゆくのである。諏訪氏を亡ぼした時，その息女由布姫を救つた勘助は，この15歳の姫に不思議にひかれるものを感じ，晴信と結びつけたい思いにかられ，姫を説得して晴信の側室としてしまつた。勘助の夢はこの由布姫に拡がり，姫は彼にとつて偶像の如き存在となる。孤独な人間が一たん或る偶像にとらわれた時，その傾倒が人並以上のものとなることは当然である。山本勘助はその上に異状な才能と感覚の所有者であるから，由布姫に注いだ情熱というものは並外れて巨大なものであつた。この情熱は次第に生長し変貌して行き，それはまるで生き物のように勝手に生長してゆく。勘助が由布姫にひかれたのは何故なのか，それはこの小説を読んだ限りではよく分らない。それは一種の霊感とでもいうようなものであつたろう。確かに彼が晴信にひかれたようなはつきりした理由はないようである。この2人を結びつけたのは，2つに分れた夢の対象を一つにまとめたい欲望のためかも知れない。勿論表面の理由は政略的なものであつた。武田に亡ぼされた諏訪氏の血を，武田の血と混じて，その子供を諏訪城の領主とすれば諏訪地方の住民の気持も安まるだろうという勘助の説明であるが，これは単に表面の理由で，心のもつと深いところでは晴信と由布姫という2つの偶像を結ぶことがそれ自身目的であつた。やがてこの偶像崇拝は2人の間の結晶の勝頼が誕生すると，勝頼の初陣という大きい夢に移つてゆくわけである。この小説では勘助の抱いている夢とそれに捧げた情熱というものをタテ糸とし，それに近隣諸国への攻略をヨコ糸として織られた戦国絵巻となつている。然しその色調は割合に近代的な抒情味である。作者は元来詩人であるらしい。勘助の孤独な性格の描写，信州を中心とする高原地帯の風景の描写に詩人らしい鋭い洞察と観察が見られる。例えば上杉勢との戦いに従事している勘助の許へ由布姫死去の通知があり，驚愕した勘助は敵の重囲をついて南へ急行する。

姫が！

勘助が何十回目か何百回目かの同じ短い言葉を口に出した時，馬は大きくいなないて，前脚を折つて横倒しに倒れた。勘助は槍を抱えたまゝ地上に投げ出されると，ごろごろと雑草の中を

2，3回転がり灌木の根株のところで停まつた。姫が！

勘助は跳び起きるとあたりを見廻した。先刻由布姫の急逝を告げて来た使者の姿を捜した。がそこには誰も居る筈はなかつた。見はるかす広い原野のただ中に，勘助は自分以外のいかなる人間の姿も見なかつた。真昼の冬の陽が弱くあたりに散り，霜枯れた雑草の中に影しいすすきが銀色の穂を光らせているばかりである。風がないのかその銀色の旌旗はさゆるぎもしない。夢であり希望であつた高貴な姫を失つた勘助の絶望感が蕭条たる景物の中に描かれているところである。永禄四年の9月，例の信玄謙信の川中島決戦の最高潮の場面でこの小説は終つている。上杉謙信を中心とする騎馬隊が槍ぶすまを作つて信玄の本陣に殺倒する。勘助は手兵を率い真一文字にその中へ突入して戦死するところで終つているのだ。読者にとつては高潮した気分を打ち切られ，やり場のない気持でいろいろ考えさせるわけで，つまり余韻のある結び方といえよう。歴史的に云つて山本勘助は最上の死に場所を得たわけであるから，この孤独の精神が最も白熱した瞬間に終つたことは，一種の英雄的な印象を与える。作者としてはその効果を充分計算しているわけである。

私は先程我々は今日の文学に求めるというような事を云つた。然るに敢て戦国時代の小説を採り上げた所以は何であるか。井上靖の文学は主として現代のそれも戦後の時代と戦国時代を背景としている。これは多分現代が様々な点に於て戦国時代に似ているからであろうと思うが，山本勘助にしても由布姫にしても出て来る人物にはつきりと人間の本質的な悲劇がみられるからである。永遠の人間性が曇りのない鏡に映るようにはつきりとあらわれているからである。

「戦国無頼」という小説も天正元年の織田信長の浅井征伐から天正十年の秀吉の山崎合戦に至る10年間に於ける3人の武士——浅井家の家臣が落城後それぞれ数奇の道をたどる物語りである。中でも佐々孫風之介は浅井の家臣として敗戦に会い，武田勝頼方に仕えて長篠の戦に敗れ，更に丹波の国の波多野家に仕えて明智軍に亡ぼされ，最後には明智について秀吉軍の為に討たれるというあくまで悲運の戦国武士であるが，その心情は極めて冷静骨をさすような孤独の人である。この孤独の精神は山本勘助にも前にあげた偽作者の画家にも通ずるもので，いわばこれが村上文学のバックボーンとでも云うべきものであろう。「明日来る人」「黒い潮」「昨日と明日の間」などの井上文学の数々に登場する諸人物に共通のもの，それはこの孤独の精神である。浅井家のも一人の落武者鏡弥平次は落城後野武士の仲間に入り琵琶湖上の湖賊となつて追剝を職とする。3人目の立花十郎太は立身出世を求めて功名を立てようとして諸方の合戦に参加するがうまく行かない。この3人のたどる道——時代に反抗する者と悪の道を選ぶ者と就職難に悩む者と，これは何れも現代の人生行路と同じではないか。

昨年書き下しの長編として評判になつた「黒い蝶」の主人公の三田村伸作も一種の戦国武士であろう。この小説は先年来朝したソ連のバイオリニスト，オイストラフ招へいのいきさつを基にした現代小説である。彼は無一文の身で石鹸工場を買いこれを経営しようとする。或る人の善い財産家の一人娘が病気のため死んだ，その臨終にソ連のバイオリニストのムラビヨフの名をうわ言に云う。財産家は娘の遺志を実現したいと思う。三田村はその不可能なことを知りながら，その仕事を引き受け運動費として百万円を受取ることになり，その受取場所を売りに出ている石鹸工場とする。約束の日に彼は工場主と売買契約書を交し，金を渡すばかりにして，そこへやつて来た財産家には別室で会いこの工場は自分のものだと称して小切手を受取り，それを工場主に渡して契約を成立させる。こうしたやり方は明らかにペテン師のやる方法であるが，彼はそれを意識していながらこれがつまり事業というものだと思つている。そして百万円は儲けたら返せばいゝというわけである。

切取強盗は武士の習いという戦国武士のモラルと全く同じである。こういうモラルが大手を振つて通用する現代という時代はなるほど戦国時代と変りない。様々の企業や事業が起つては消える現代の資本主義社会は，合戦に明け暮れ少しの油断もできない戦国の世と同じで，従つて人間の生き方も変りはない。槍一筋から出世する武士も無一文の身で頭脳をしぼつて工場を取得するペテン師も，身体を張つてギリギリの危険な橋を渡る点では時代は異なつても同じである。人間の能力が最高度の線でふり起される時に，人間の美しさやきびしさが発揮される。平凡で単調な生活からは人を打つような感銘は与えられない。人間を異状な環境に置いて，限りある身の力を試させる時，その人の隠された能力も性格も発揮されるであろう。文学の主題としてはまことに絶好のものである。いわゆる波瀾万丈の物語りというものはこういう所から生ずるわけである。自然主義文学というものが出て以来，日本の文学には日常身辺雑事を描写して足れりとする気分がある。文学が少数の同好者の間にだけ通用して，大多数の大衆から離れてしまつたのは，このような事情も手伝つているのであろう。文学は面白さを取り戻さなければいけない。そして同時に人生の真実に触れて読者に感銘を与えるものでなければいけない。

井上靖がストーリーテラーとして優秀な才能を持つて居り，同時に詩人としても優れた素質を持つていることは文学を再び大衆のものとする上に大きい役割を果すであろう。彼は新聞記者出身であるからでもあろうか，好んで社会面の複雑な事象を達者に書き上げる。我々は新聞記事を読むような興味でひきつけられる。吉田内閣の政府という困難な時代に如何にしてソ連の芸術家を招へい出来たかということは誰しも興味をそゝられる。これが「黒い蝶」の魅力である。そして読むにつれて主人公三田村の逞ましい行動力と孤独な心情に触れて次第に文学的興味のトリコとなるという寸法である。下山国鉄総裁事件を扱つた「黒い潮」，カラコルム遠征を扱つた「明日来る人」，ダム建設を扱つた「満ちて来る潮」等何れも戦後の社会面に於て人々の注目を浴びた事件をとらえて，中に生きる人間の行動を描き文学の世界に人を引き入れる。好んでこういう事件を取り扱うのは人間の高度の緊張を示すためであるが，戦国時代の大合戦が同じような意味で彼の扱う対象になるというのも首肯できるわけで，現代の大ロマンの作家として私の愛読するところである。（総務部）



映画「カラコルム」雑感

平　　毅

待望の「カラコルム」が公開され先ずは予想以上の好評だつた。昨年の4月末から夏の間，中央アジヤの砂漠や氷河に各々学問上の空白地帯を求めて探検を続けて居た一群の日本人科学者があつた事は，他のよりセンセーショナルな事件の為にか当時はあまり世間の視聴を集めなかつた様である。世間一般の知識はせいぜい，京大が又ヒマラ

ヤへ出かけたが，目的は登山ではないらしいといつた程度のもので，映画によつて始めてそんな計画の有つた事に驚かされたり，微かな記憶の中に漸くはつきりした内容を詰めこむ事が出来て満足したという人の方が多いのであろう。併し文献や写真を渉猟して探検の内容は知り盡した様なつもりで居ても，矢張りカラーのスクリーンが動き始めると，蓄積した筈の知識が何と薄つぺらなものであつたかを痛感して居たのだから，どの通書物の知識などと云うものは他愛のないものである。

一見2時間のパノラマはまるで吾々自身歴史の上をたどつてのるのじやないかと疑う程歩みののろい文明の及ばぬ世界を次から次へと展開する。

荒莫不毛の砂漠，氷河の山を横断する隊商路，文明にとり残された中世古代の遺跡，数百年も同じ様に羊を追つて旅する遊牧民，バザールを往来する様々の人種……幼い時代から夢に追憧れた中アの風物が現われては消えるとアナウンスされる説明も耳に入らぬ程すつかり画面に酔わされ又別の回想にひき込まれて居た。中でもラクダの隊商がかのシルクロードを通つて，とぼとぼと夕闇の砂漠へ消えて行くカットはその巧まない抒情によつてよく中央アジヤの雰囲気を伝えていた。

この映画を観ながら幼年時代に唱つた「月の砂漠」を思い出してロマンテイックな幻想に馳られた方があるかも知れない。そんな人はきつとこの古い童謡にうたわれた抒情の適確さに感心されたに違いない。或いは，よくもこんな未開な不毛の地が地上に残つているものだと驚いた人，そんな僻遠の旅のどんなに心細く苦しいものだろうと想いやつた人も有る事だろう。

中国から印度へ或いはヨーロツパへ抜けるには今なら船や飛行機があるが昔は勿論歩く以外なかつた。世界地図を見れば瞭然であるが，中国西南は大ヒマラヤ山脈でネパールと境いし，西北はソ領との間に天山山脈が横わつている。勢い路は之等の山脈の低く切れるところ新疆省の西端とソビエト或いは印度との境にするところを通らねばならない。低いといつても4,000mから6,000m，重畳の山脈，荒涼たる砂漠の路である。この地帯を横切つて古くからこの路が東西をつないでいた。

一つは新疆北部ハーミー，ウルムチを通つて天山北路からソ領トルキスタンそしてアフガニスタンへ出るもの，古く三蔵法師が孫悟空達をしたがえて仏教修行に西下しマルコポーロが東方見聞の為に東したという例のシルクロード。

もう一つはウルムチから南下し，タクラマカン砂漠，崑崙山脈を横断し6,000m近いカラコルムパスなど幾つかの峠を越えて北印カシミールへ出る隊商路である。

西遊記で面白おかしく語られる孫悟空，八戒，沙悟浄達の妖怪変化との闘いというのは天山越えの難行をたとえた作者の洒落なのである。比較的容易な前者ですでにその様である。その昔後者の6,000m越えにどのようにして隊商が堪えて行つた事であろう。

部分的ではあるが京大の探検隊はあるものがシルクロードを通り，あるものはカラコルムロードを通つている。恐らくはその古い歴史をしのんで感慨にふけつたのではなかろうか。

×

「カラコルム」は歴史，自然，人の見えない繋がりの糸を描いて見事に成功して居る。美しい写真もいゝし，分り易い説明もいゝ，作為の無いところが尚感じが良かつた。

こうゆう種類の記録映画を今日あらしめた蔭にウオルト・デイズニーの功績は忘れられてならないものだろう。商策とともすれば相容れないとゝわれた記録映画を見るに堪えるものに引き上げて，一本立ちで充分採算のとれる迄に観客を教育した功績は一つや二つのアカデミー賞の持つ意義とは比較にならない大きなものである。兎も角大人も小供も一緒に楽しめる映画が各国で競つて作られるという事はその教育効果を除いても喜ばしいことである。

大体映画は情感の描写が苦手なものだといわれるが，大自然が俳優である様な記録映画には劇映画の遠く及ばない自然な抒情があつて，見るものに素直な共感を呼ぶものである。この様な大自然が自然のまゝにある姿に今迄何故人が目をつけなかつたのかとおかしい様にも思われる。そうゆうデイズニーも，もともと漫画から出発したせいか演出が多すぎて沢山見ている中には鼻につくという様なところもある。劇映画でも古くから山岳，原始林，砂漠或いは絶海の孤島という様なものは，しばしばメロドラマやスペクタル映画の舞台に選ばれるが，ストーリーが風物の情感をこわしてしまうので殆んど見るに堪えないものにしてしまう。且てアーノルド・フアンクやリーフエンシユタールの作品が世界の市場で好評を博したのは，そのストーリーや難しいヒユーマニズムの為ではなく雪と岩のアルプスの雰囲気を生き物の様にとらえて居た事やストーリーがそれをぶちこわす程愚劣でなかつた迄の事だと思う。

※　※

「砂漠と氷河の果てに」，「カラコルム」2つの題名のどちらがこの映画にふさわしいだろう。前者が最初の命名で後者が製作中の改名だという。はたして映画のポイントがカラコルム山脈だつたかどうかは大分疑はしいものである。

と言つて，慾深い話だが山好きの立場からはもつと沢山山を撮つて慾しかつたし，本当に「カラコルム」がピツタリする作品にしてくれたら……という慾みは多いのであるが……中でもバルトロ氷河から眺めるカラコルム山脈が殆んど重量感に欠けていたのは理由はわからぬが残念な事である。8,000mを越す筈のブロードピークが矢鱈小さく見えたし，ガツシヤブルムも駄目だつた。8,000mの山がどうしてこう置物の様に小さく見えるのだろうか？　もつと焦点距離の短いレンズで仰角をとらずに撮したらどうなつたろう。

最後近くコンコルデイアからの K_2 遠望だけは期待通り地上第2峰の貫禄を充分見せてくれた。仔細に山稜を観察しようと思つてたものだから数10秒のスクリーンがまるで一瞬の様に短く感じられる。アメリカが3度，イタリーが2度これらの挑戦者がひとしく辿つたアブルツチ山稜がピラミツドの右端にその恐しい峻しさで望まれる。一寸注意した方は記憶して居るかも知れないが，頂上附近で右端の稜線が一際急になるところがある。この当りが扇と呼ばれ各隊共最高キヤンプに選んだところである。こんなところで音速の5分の1に及ぶというモンスーンの中を10日間ねばつたハウストンや，雨期を通し2ケ月半に亘つて次々と新しいメンバーでこの絶崖を攻め立てゝ，遂に頂上をものしたと云うデシオ教授（イタリー）の業績に更めて頭を下げる思いがしたものである。映画「エベレスト征服」ではエベレストの南壁をウエスタンクームから数10秒かけてパンアツプして見せてくれたが，こんな方法で K_2 の壁や登路を拡大してもらえたら山好きはどんなに喜んだか知れない。

※　※

中央アジヤ探検やマナスル登山の様な大きな探検は，探検という行為が人類の文化的意慾の発露であつて見れば，一国文化のバロメーターになると言つても過言ではあるまい。そう考えても，ここ数年の吾国の遠征熱は心強い限りである。しかもこの様な純学術的な探検であればなほその感は深いのである。

京大は今度の探検で人類班，植物班共予期通りの成果を得て帰つて来たらしい。馬の旅の疲れも忘れムゴール族の発見に狂喜する人類班やはるばる探し求めた小麦の原種を手にして目を輝かす木原教授の喜びは，門外漢の吾々にも探検の好成績を思はせるに充分なものであつた。それにひきかえて今西さんが洩らして居たが，カラコルム地質班の探検が生彩を欠いたのは全く惜しいことだと思う。大体カラコルム山域はこゝ半世紀に亙つてイタリー等が抜渉し盡した感が深かつたのである。

ソ領南部，新疆省，蒙古西部，アフガニスタン，チベツトにかけての中央アジヤは古くマルコポー

川幅にみたぬ流れにカンテラをさげて矛つく子等のぼりゆく
芦刈の小船かたむけ鍾を研ぎ血路をひらく如く刈りゆく
岳裏は雲湧くこともなく澄めり屋根ふき換うる萱刈り急ぐ

夜勤明け　　本庁　渡辺進

機械室の冷防モーター絶え間なく床にひびきくる夜勤の仮寝
さえざえと夜警の鈴のひびくとき引継終えて仮眠に入りぬ
暑き陽の射し込む寮に帰り来て臥さねばならぬ夜勤明けの日
六畳間の見取図描き品々を置き換えみつつ今日も暮れたり

残業　　平営　駒塚破句

つぎつぎに消されゆく灯に残業を終えし机の列並びおり
残業の終る待ちつつ小使は机の間を掃き始めたり
糟糠の妻となりしか柴の煙りの中に秋刀魚焼きおり

選評　　扇畑忠雄

暗黒の運河の涯をつつむごと夕ぐるる街に煙たなびく　　斎藤久治郎

初句の「暗黒の」は言いすぎていて、却て一首を分らなくするおそれがある。三句の「つつむごと」も気分的で、的確とはいえない。そうした語句には問題はあるが、夕ぐれの街にたなびく煙と運河とは素材的にもよいし、一首の感じ方に「詩」があつて心ひかれる。

つづまりは淡きつながりとおもう汝ら褒へだてし寝息やすけし　　長谷部　高

この「汝ら」は前の歌をよめば具体的に分るがこの歌単独ではつかみにくい。「淡きつながりとおもうという」心理的な把握と下句の情況とがマッチしている。そう深い内容ではないが、作者の心に触れたものがある。

清潔に素直に生きてゆく友のまさきくあれよ東京の空　　薄　小枝子

原作では三句が「友に」であったが、「まさきくあれよ」（仕合わせでいて下さいよ）の主語は「友」であるから、「友の」とした方が順直である。この歌だけでは観念的で言葉が出すぎているけれども、直截で気息の徹った歌である。

熟れそめし草苺摘む両の掌により来る虻の愚かなしぐさ　　西岡　孝

（107頁へ）

高原種山ケ原　　岩支及川楽雲

谷に湧く霧は静かに上り来てわれを包めりしばしの間
種山の灼けたる石をてのひらに秋日傾く山下り居り
清水引くバンガローに人にぎはえり食事すませし後片付けに

あかつき　　一関営　大山篤

暁はいまだ遠しも入替の機関車の音に目ざめ居るかも
今宵また帰らぬ妻を思いけり冷き芋の皮をむきつつ
勤め了え娘等と入り来し花店に百合の香立ちて匂いほのけし

秋刀魚　　平営　浦島康

貧しさを人には恥じず家びとら夕餉のさんまうましと食いぬ
七輪の秋刀魚の脂燃え始め厨の妻の横顔照らす
かえりみて疼くものあり今ははや既に戦后の去りにしものを

ロによつて幾らかは紹介されたが，それが学術的に堀り下げられ神秘の多くを失つたのは19世紀後半からこの方アウレル・スタイン，スウエンヘディン，アンドリウスなどの生涯をかけた努力によるものである。そのアウレルスタインは80才でアフガニスタンに客死し，ヘデインの隊もヘニングハズルトを探検途上で失つている。京大の人達がカーブルで2人の墓に花束を捧げ先覚者をしのぶシーンが短く撮られていたが，偉大なリーダーや同僚を旅の地で失つた探検隊に思いを馳せて黒い血潮が脈うつのを覚えた事であろう。

そんなシーンによく昔カンチエンジエンガへ挑んだドイツの人達の事が思い出される。——彼等がカンチを去るぎわにその山行で失つた仲間ヘルマン・シヤラーの墓に並んで氷と高度で痛めつけられたカスレ声から "Gute Kameraden„ ——善等の素晴らしき仲間——を歌つたという感動である。

※　　※

岩村教授の人類班がフランスの遺跡発堀隊に敬意を表するシーンがあつた。彼等はたしか通して5，6年堀り続ける話しをして居た。

元来，吾々日本人は根気が少いと云はれる。2代以上かゝつて一つの仕事を完成すると云う途方もない計画なぞ滅多な事で聞かれない。それが日本の歴史や考古学の振はない原因ではなかろうか。ギリシヤ神話も日本の神話もフイクションの面白さでは甲乙ないかも知れないが，前者は動かし難い事実の根拠を持つている。この点後者は全く敵ではない。——ギリシヤ神話に出て来て吾々を楽しませた国々というのは殆んど遺跡として発堀された歴史の正確さが実証されている。日本の歴史はどうだろう。

※　　※

京都大学は戦前戦後を通じて朝鮮白頭山，西蒙古，北満大興安嶺，樺太，ボルネオ島，ヒマラヤ K_2 峰，マナスル峰，アンナプルナ峰，カラコルム・ヒンヅークシ山域……と数え上げると十指を越える探検計画を発表して居る。K_2 は戦争で潰れ，マナスルは日本山岳会にスライドされたがその飽く事を知らぬ探検への意慾には唯驚歎するのみである。これ等の探検で原動力になつて来たのは木原均，今西錦司，西堀栄三郎の諸氏であり何れも日本山岳会の重鎮で学者としても登山家としても高名な人々である。マナスルでは，西堀さんが日本人として始めてのネパール入りでこの地区の入国許可を獲得し，今西さんがマナスル山域最初の探検踏査を行つて日本山岳会の栄光にその礎石を与えた事は記憶に新しいところである。

常に地図上の空白地帯，歴史の中の空白時代或いは自然科学に於ける未踏の分野を追つて止らぬ京都のパイオニヤースピリツトは我国アカデミーの中で一際異色の光彩を放つものである。特に探検の世界では全く京都，独壇場の感さえ戴かせている。

だが不可解なのは京大をして20年来斯道でリードを続けさせたパイオニヤーワークが，祖国で知られる古い都のどこにひそんで居たのかという事である。

この底力は到底一人や二人の学者だけのものではない。それが遠くし——遥える夢は崑崙の高嶺の此方ゴビの原」と歌はれた旧三高時代の夢に負うものだと言う人もある。朝鮮，満州とその翼を伸しつつあつた時代の風潮を考えれば，昔の高校生が放歌した逍遥歌の一節にそんな力が無かつたとも言い切れまい。それがやがて日本をリードする京大学士山岳会となり京大自然史研究会となり素粒子論グループの胚種となつたのかも知れない。兎も角忘れてはならないのは此のピラミツドの底には未踏への憧れ，野心と冒険に溢れる若い力が限りなく続いている事である。

夢と冒険のないところには前進はない。よろしく若い世代は京都を範とすべきではなかろうか。

（青森支店）　1956.9.20

前号，今号と続けて投稿された筆者平氏は，去る9月30日八甲田山井戸岳でロッククライミング訓練中，誤つて噴火口に転落死去されました。こゝに謹んで哀とうの意を表します。（編集室）

短歌

扇畑忠雄選

青を多く使い描きいる姪たちの部屋いでて来て暮れしわが窓
つづまりは淡きつながりとおもう汝ら襖へだてし寝息やすけし

白き手紙　山郷発　薄　小枝子

共に勤めし友より白き便り来ぬ十年(とせ)過ぎつつ未亡人のきみ
再びを学びて職に就きしというけなげなる過程に涙ぐまれつ
喜びをよろこぶ心素直さを今に持ちつつ変らぬ友か
清潔に素直に生きてゆく友のまさきくあれよ東京の空

草苺　会電事　西岡　孝

熟れそめし草苺摘む両の掌により来る虹の愚かなしぐさ
ふとみれば色移りたる紫陽花の暗き葉かげに細き雨降る
勤め路の橋の欄干今朝触りてかくも冷たし秋深みしか
コスモスのとんぼ取らんと爪立ちでよろめく吾子のつぶら瞳よ

霧　秋支　田代儀輝

むなしさに佇ちつくしおりこの高処(たかど)かぎりなき霧岩ぬらし吹く
夏雪の中に湧き居て粗き霧かなしくなりし吾が煩に降る
今日越えむ山の一つさえ見えざるにうつつなく深き霧に踏み出づ
夜の闇に焚火を消して横たわるこの山にわれはけもののごとく

月見草　秋田営　田中安太郎

千拓の始まる湖辺ゆくバスに砂丘に見えて月見草咲く

感謝したい気もちになる。

仮橋や水禍の跡の石焼くる　比護　翠池

台風が大雨をもたらし、山から押し出した水が、堤防を切り、石を流した。いまは烈しい秋日が、ごろ〳〵と転つている石を灼いて眩しいほどである。その石を渡つて、人がわづかに通るほどの仮橋が細く乗つている。台風にあらされた跡の何か白々しい風光がよく出ている。

納税証明書役場で貰う蟬時雨　佐藤　茗黙

どことういうことなしに蟬時雨という感じがぴたりとして来るのが面白い。硝子窓はめている

(105頁より)

草苺をつむ両の手（これは「両の」とことわらなくてもよいだろう）に虻がよつて来るという情景はおもしろい。ただ結句の「愚かなしぐさ」は余分な説明であつて、せつかくの一首の感銘を拘束してしまつている。

夏雪の中に湧き居て粗き霧かなしくなりし吾が頬に降る　田代　儀輝

夏の雪の中に粗い霧の湧いているところはなかなかよい把握だが、この歌は下句で功を逸しているのではないか。「かなしくなりし」もあいまいで甘いし、「頬に」とまでいうのもこまかすぎる。

岳裏は雲湧くこともなく澄めり屋根ふき換うる萱刈り急ぐ　田中　安太郎

屋根ふきかえ用の萱を刈つているところだ。その場から見た情景が上句だろうが、上句と下句とがやや分離しているようだし、作者の場所と語裏との関係も一寸あいまいだ。

機械室の冷房モーター絶え間なく床にひびきくる夜勤の仮寝　渡辺　進

四句までは事実そのままの描写だが、ひねくつて表現しないのがよい。「床にひびきくる」は実感がある。結句は少し無造作だろう。

つぎつぎに消されゆく灯に残業を終えし机の列並びおり　駒塚　破句

何でもないような素材だが、この歌は印象的なところがある。ただ「……灯に」机の列が並んでいるというのはきわどい表現だ。終業を終えて次々に灯が消されてゆく、机の並んでいる室に、と、いうような表現の方が素直であろう。

種山の灼けたる石をてのひらに秋日傾く山下りにて　及川　棠雲

そつのない、ととのつた歌と思う。「てのひらに」で、ややわざとらしくなつた。

勤め終え娘等と入り来し花店に百合の香立ちて匂いほのけし　大山　篤

勤めを終えて花店に入つた感じはいいと思うが「娘等と」は不要ではあるまいか。「娘等と」という所に感情を託さなくてもよい。

七輪の秋刀魚の脂燃え始め厨の妻の横顔照らす　浦島　康

生活の一面をとらえておもしろい歌だが、「七輪に燃ゆる秋刀魚の炎立ち妻の横顔をしばらく照らす」位で「厨の」とことわる必要もなかろう。

今月あつまつた作品はとりどりにおもしろいが出詠者の少ないのはいささか物足りなかつた。秋の好季節、作歌につとめられて次号への積極的な出詠をのぞみたい。作らないで居れば、そのままで済んでしまうものであるから、心に感動の生起した折々、一首でも二首でも書きとどめていただきたいものである。

水上世帯　本店　斉藤久治郎

貼り替えし障子あかるき部屋なかに軒辺に乾せる梅の香匂う
年老いし母は日向にこごみつつ庭一面に梅を乾しおり
大方は戸面を暗くとざしいて水上世帯の人ら静けし
暗黒の運河の涯をつつむごと夕ぐるる街に煙たなびく
何をせむ人らの船か昼もなお静かに群れて岸をはなれず

姪たちと　本店長　谷部　高

亡き姉に似し眼ざしにためらわず時にわれにも抗(あらが)いくれよ
分教場の先生になりたしという京子長きスカートを気にし学校に行く

黒沢尻電　浅田哲伸

月見草朝の陽こばむかの如し

作並温泉にて

宿ゆかたテレビの部屋は静かなり　白石営　八島株郎

学校林の下草刈りに袋菓子　白石営　片岡健吉

かなかなや高蔵寺前石だたみ　福島営　吉田幸三郎

軒深く無月を祀り大薬家　福島営　土谷よし美

山の温泉の自家発電の秋ともし　福島営　菅野青丘

高原の草露光り月はるか　平営　鯨岡樵夫

病みて聞くひぐらしの声座敷越し　平営　伊関直治

蜩や為すこともなき借住居　平営　白浜舞子

入替の貨車長々と炎天下　平営　若松長春

平営　伊勢木尚春

七夕や袋小路も色めきて　大川発　渡辺権三郎

ミス流行郷土の夏の狂ほしく　新支　渋谷よしい

温泉の昼は退屈蟬しぐれ　長岡営　関川疎雨

紫の露したたらす茄子の花　長岡営　山村悦子

療後の身に残暑じりじりと堪へ難く　長岡営　梶山昇一

立秋や送電塔の雲悠々　長岡営　高野清竿子

西日中古き妬心に悩まさる　佐渡給　石黒慕光

明け易き街角犬の二三匹　能代営　佐々木朴丘

福支　鈴木一睡

丸き石積みて垣とす梨の花

雨降つてゐて明るしや花馬酔木

礦煙の低くただよう畦を塗る　秋田営　田中天里郷

日覆のはしゆるめ驟雨を流しだす

胸に水かけて少女は泳ぎ出す　秋支　吉田行太路

びくの中沙魚はくりごと言つている

沙魚釣りにへらへらさよりばかりつく　秋支　斉藤莫愁

台風前水張りし甕灯の奥に

蟷螂を宿題の鉛筆もてつつく　秋支　伏見一穂

河骨の黄をゆすりて鷹翔てり　秋支　大平胡洞子

夏蟻の地蔵の眉の情濃ゆし　能代営　佐々木朴丘

能代営　佐々木利男

種馬の繋がれていて秋暑し　大曲営　竹内雄三

句会近し書棚に徽びし辞書を繰る　大曲営　竹谷豊太郎

言荒らく倉庫の人々汗匂う　大曲営　神宮子予句

凝視つづく配電盤に雷とどろき

選後に

遠藤梧逸

雷神の地を駈けめぐる豪雨かな　西岡孝

神話的なところが面白い。雷を雷神と言つたことも、ただ強いとか烈しいといはないで地を駈けめぐると言つたことも、神話的ユーモアを盛りあげることに成功してゐる。

硯洗ふ日を待つごとく汚れたり　及川有哉

七夕の前日に常用の硯や机を洗ひ浄めることが昔からの行事になつている。その七夕の日も間近になつたので、毎日用ひ乍ら、あまり気にならないでいた硯に気がついて見ると、硯の四ツ角や縁に沿つてずい分と墨の垢がたまつている。これは是非洗つてやらなければならぬと今更思ふのも、恰も「母の日」に今更乍ら荒れた妻の手などを見直すのと同じ心である。

大曲営　浅野朗々

蝸の力すべてをつくし灯をめぐる　大曲営　草薙留之助

鉄橋を汽車響かす初秋かな　大曲営　渡辺孝雄

金魚屋は子ばかり集め地蔵盆　大曲営　維田茶梅

大曲営　小林猪太郎

「水爆の反対」のビラ蟬が鳴く

石鹸の香を波立たせ妻の秋　遠藤まさし

健康な明るい妻の秋である。石鹸の香がするということも、その香が波立つようにするということも如何にも真実感にあふれている。波立つといふことから、石鹸の泡までも想像することはよけいなことであろう。

梅雨晴のくすり湯母をよろこばす　久保乙秋

母の為にたて湯が、くすり湯だということは、梅雨晴れの感じを真実にする。また同時に、もう中年になつた息子の落着いた、しかも深い愛情をも感じさせる。

夏林檎盗ればとらるゝ径をゆく　鈴木たかし

細い径である。左右から青林檎が沢山なつた枝を肩すれすれに垂れている。通りかゝると一寸一つ失敬したいような心になる。そういふ悪戯心をおこさせる小悪魔が人の心に住むようになつたのは、アダムが林檎を食べてから以来のことだろうか。林檎が夏林檎であることも、そんな心の誘惑をよけい強くするであろう。

稲光親子の血汐あたたかき　佐々木おさむ

電灯を消して親子枕を並べている室の窓も間をおいては稲妻が青く染めるのである。寝ては見たものゝ親も子も眠つてはいない。こんな異常な光景に身をおくと、いまさら分けた血のつながりが思われる。子は親の、親は子の身内を流れている血を、あたたかく感じあうのである。

二百十日事なく済みしシヤツ取込む　福士野生

二百十日が無事だということは随分と詠い古るされたところであるが、シヤツを取込むという現実の場面が添へられると、その何が生きて読者にはたらきかける。一誦、作者とともに何か天地に

古川営　佐藤須磨子

山寺にて

蟬しぐれ寺苑に古りし磨崖仏
大岩におどろき立てり黒揚羽
みくじ凶水引草の蔭に捨つ

古川営　駒板かよ

露草や老女ぬかづく磨崖仏
杣人の肩にもつれて秋の蝶
梳る間も飛び交へる岩つばめ

白石営　森　外志夫

粟飯の飯のみ先に食ふ子かな
アパートの一年古りてカンナ咲く
鬼灯を作り含みし妻の艶

福　支　鈴木一睡

隠棲の大藁廂秋の風
秋の風部屋通り過ぎゆきにけり
きりぎりす部屋のどこかに天井に

福島営　佐藤北泉

諾へばうべなへば飛び道をしへ
天を占む火星地に満つ虫の声
風芒怒濤田園交響曲

福　支　湊　礼子

青胡桃純潔は尚つづくなり
青胡桃ひとりのゆあみたのしまず
青胡桃燃ゆるがごとき恋欲しや

原町営　鈴木たかし

修道女無花果の実を隠れ食ぶ
夏林檎盗ればとらるるこみちゆく
颱風後虫は夜となく昼となく

新　支　高木桐舎

一対の庭の燈籠灯りたる
病友の案外元気蟬しぐれ
昼寝子の畳の上に覚めにけり

佐渡麥　菊地大地露

牛洗ふ女盛りの肌焼けて
空乳房のぞかせ女工昼寝する
颱風予報夜の引継ぎ懇切に

柏崎営　紫野村童

蜩に下山を急ぐ尼僧かな
誰れも来ぬ気休さ妻も子も裸
雷去つて乾草強く匂ひけり

柏崎営　村山春灯

理髪屋もして小百姓麦を刈る
この頃は床やも閑や麦の秋
ラジオ聞く一灯残し台風圏

青　支　小山内凍蝶

踏切がおりしコスモス白と赤
三階のアパートに住み秋の雲

青　支　佐々木おさむ

魚釣る子の欠伸して晩夏光
稲光親子の血汐あたたかき

青　支　昆　ひろし

厄日去り茜の雲の流れけり
リヤカーの枝豆塀をすりて行く

青　支　福士野生

二百十日事無く済みしシャツ取込む
三振の打者大振りや秋暑し

一ノ関営　大山清雲

稲架（イナカケ）を背にして借りぬ煙草の火
水を汲む桶に百合活け分教場

水沢営　及川酒童

稲のつゆしとど硯にうけにけり
時雨忌やげんばくのきようるていめいす

本　店　加藤温流

枕木の重ねてありぬ月見草
世話役の往来し踊始まらず
踊見る朝よく出会ふ人そばに

新潟営　石田文子

夜光虫つきしと水着みせあひぬ
花火見て明日は入院するといふ

古川営　川島栄三

宿とりて瀬音はげしや流れ星

柏崎営　小関政英

石菩薩高く位置して虫しぐれ

山　寺

ことぎれしごと炎天の貨車止る
病者みなしづかな睡り白照草

白石営　金沢庚生

学問の手を休めけり遠花火
薬包紙数枚重ね蛾を捨てぬ

福　支　伊具利　たかし

黄塵のたちこむ中の農具市
苗代のさざ波のすぐ消ゆる日よ

福島営　菅野昭一

山の温泉の一軒宿の月高し
月更けて山の温泉宿を沈めたる

須賀川電　国分甲二

パフ弱くたたいて白き鳳仙花
コスモスと囁くような少女の目

平　営　伊関太郎

軽便の時々通る月見草

青　支　敦賀晴川

天高し地には地の息虫の息

青　支　斉藤胡晃

墓千基同じ膚して秋陽中

青　支　徳本芝静

病窓に向日葵首をもたぐ朝

青　支　佐藤茗黙

納税証明役場に貰う蟬時雨

青　支　山内柑滋

パトミントン合歓に上がれる昼休み

青　支　千葉鬼仏

鉄を断つアーク台風の雲を衝く

青　支　片谷智子

家計簿終へ稲光のカーテン引く

青　支　高橋たけし

病む妻へトマトジユースの赤き色

青　支　中村柳子

叱言より逃げくれば稲妻しきりなり

岩　支　高松邦

村貧し蛙抛げ打ち児等遊ぶ

青　支　尾崎泉想

秋晴の妻の掌にふれれば堅し

俳句



遠藤梧逸選

七夕の露けき竹を伐りにけり　平営　小松里草
星祭る人ゐて夜の髪にほう
鯛や妻へ短き便り書く
子供等が牛ひいて来る月見草

刑務所の片蔭にして埃道　会電事　西岡孝
雷神の地を駈けめぐる豪雨かな
社宅みな同じ影持ちあきざくら

垣間見る獄舎の芝生秋陽濃し　岩支　黒沼ひろ子

黒揚羽とび去り原の草いきれ　福島営　松崎美智子
たそがるる野に千草の山つらね
湖のホテル真近の蕎麦の花
渓流にそいて外湯へ月の道

兜虫玻璃戸に二度もつき当り　岩支　及川有哉
硯洗ふ目を待つごとく汚れたり
修証義の一章読みて魂祭る
青柿の落ちるは落ちて秋立ちぬ

葡萄出て梨出て会議了るなり　山支　井上正路

眼に近々活字が語る秋灯下　青支　遠藤ふさし
石蟻の香を波立たせ妻の秋
秋陽降る会釈のえくぼ童貞尼

海霧襲ふ雄牛の瞋恚眼にけわし　岩支　佐藤棘矢
馬市の近き旅籠の馬の額
猫の子の濡れたる命月見草

旧南部邸にて　岩支　黒沼ひろ子

凌霄花や大名屋敷身売りして
御手植の松は大樹に草いばり
芝生刈る園丁につき秋の蝶

祭時測量行　一ノ関営　千葉卯坪子

老鶯の吾が立つなべに来鳴くかな
鉈鎌や葬も萩も刈り進む
峡の夜の石油ランプに蚋がくる

大年寺山NHKテレビ受像所と野草園　宮支境野青葉

受像所の鉄脚白く萩盛り
鹿というは宮城野萩のこぼれしこと
萩の道すすきの道とそれぞれに

母七十才なりた だ一人訪ね来ぬ　古川営　久保乙秋

母来る日梅雨の畳を拭ききしらせ
梅雨晴のくすり湯母をよろこばす
カンナ咲き窓掛の色朝貧し

応募写真

（入　選）

阿部秀陽選



屋　根　　鶴岡変　吉川東一郎

煙突からは生活が感じられるが，瓦の配列が綺麗すぎて内容的にちぐはぐな感をいだかせる。美しいパターン効果を上げるならば煙突はアクセントとして大きすぎる。**良**

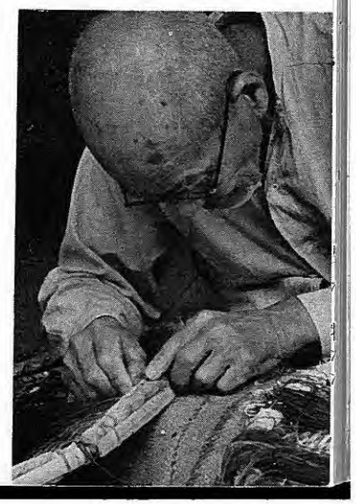
コニレツト　F 11　1/100



老　婆　　弘前営　工藤鉄児

トーンに美しい魅力を感じるが，カメラを意識してるのが残念。上部が少し窮屈。**良**

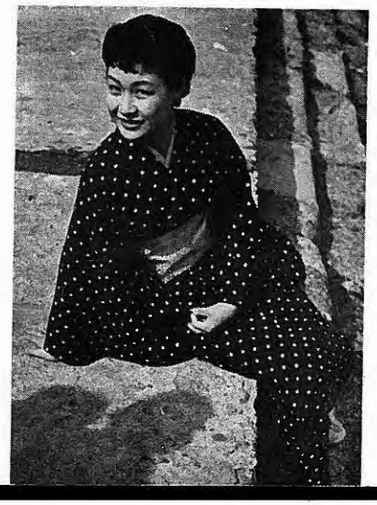
キヤノン IVSB　F 11　1/250



老漁夫　本店　石川信

トリミングがすぎて窮屈である。**可**

ミノルタレフ　F 5.6　1/250



ポートレート　宮支　大橋勇

ポーズもよく綺麗な写真。**可**

スーパーフジカシックス　F 8　1/100



汽車を待つ人

梵字川発
斎藤留造

画に動きがあり生活が感じられるが，カメラを意識した女が缺点。可

エルモレフ Fs 1/100



好奇心

柏崎営
田辺光一

綺麗な仕上でまとめているが，写真的には面白くない。可

ペールII Fs 1/250



カメラマンとモデル

四倉変
佐々木清

対象が面白いが構図がまづい。

可

プリモレフ Fs 1/100



河原

鶴岡変
吉川東一郎

美しい写真だが昔の風景写真の図柄で迫力が少い。可

オリンパスワイド Fs 1/250



母と子供

梵字川発
斎藤鉄雄

いゝ被写体だが余りにカメラを意識している。

可

キヤノン IIS F4 1/250



ひとゝき

梵字川発
斎藤留造

仕上げは立派だが内容がない。

可

エルモレフ F5.6 1/1

応募写真

（選外）

阿部秀陽選



船員

青支
工藤国夫

雑然としている。船員の表情も悪い。

F22 1/50



渓流

本店
石川信

トリミングがすぎて自然の大きさが感じられない。

ミノルタレフ F11 1/500



競馬場にて

川俣電
杉妻甲子

画をひきしめる中心人物がいない。応募作品を通じて，センスはいゝが，まだ画をまとめる力がたりない。後を期待する。

オリンパスワイド F8 1/50



競馬場にて

川俣電
杉妻甲子

たつた1人の表情をねらつたにしてはものたりない。

オリンパスワイド FS 1/50



若い世代

大曲営
麻木信

力が強い，カラの位置が左だとよかつた思う。

ペールII F16 1/1



漁港にて

梵字川発
斎藤鉄雄

バツクと子供の仕草につながりがなく，作画意図がわからない。

キヤノンIIS Fs 1/25



喜憂

川俣電
杉妻甲

仕上げが悪く内容も平凡。

オリンパスワイド FS 1/100

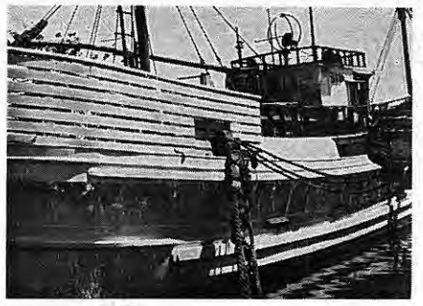


夕ぐれの堤川河畔

青支
工藤国夫

画を引きしめるアクセントがなく，夕暮としての特別の美しさが感じられない。

F5.6 1/50



漁港風影

四倉変
佐々木

どこに写意を…じたのか不明。

ノリモレフ FS 1/1



ミキサー

柏崎営
田辺光一

大切な主役が動き遅ぎている。

ペールII F3.5 1/5



ひとやすみ

弘前営
工藤鉄…

つツこみがたず，構図がまい。

キヤノン IVSB FS 1/125

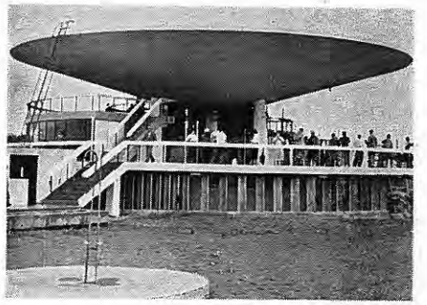


小休止

小出発
佐藤正男

よく写つてはいるが平凡。

オリンパスシツクス FS 1/200



小田急ビーチハウス

東京事
河田和…

写真的な意図がなければ，いらモダンな建物を写しても単なる記録写真にする。

マミヤシツクス F5.6 1/…



ポートレート

宮支　妹尾　博

きれいに写つています。

キヤノンIVSB　F5.6　1/60



S　さ　ん

石巻営　鈴木徳郎

表情，構図はいゝが，空の調子が飛んでいる。曇つてはやむを得ないが，首のうしろの木も邪魔。

ニツカ　F8　1/200



波と子供

秋支　千葉満治

カメラの位置が高く，子供の形が奇異に感じられる。

アイレス35HA　F8　1/250



街頭寸景

川俣電　杉妻甲子

つツこみがたりない。平凡。

オリンパスワイド　F8　1/100



子供と犬

宮支　大橋　勇

茶目つけな子供の表情はいゝが，構図が散漫。

スーパーフジカシツクス　F11　1/100

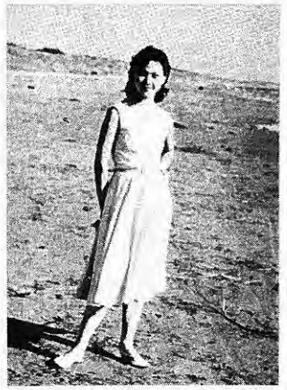


風の日に

弘前営　工藤鉄児

バツクとの釣合いが悪く，おいろけが感じられない。

ミノルクレフJJB　F8　1/100



ポートレート

秋支　千葉満治

凡作。

アイレス35HA　F11　1/200



ポートレート

東京事　河田和男

手が不自然，背景がまずい。

マミヤシツクス　F5.6　1/50



七夕まつり

石巻営　鈴木徳郎

七夕が雄然として美しさが感じられない。

ニツカ　F8　1/100



午　後

梵字川発　斎藤留造

背景がまずい。

エルモレフ　F8　1/500



酔つたSさん

小出発　佐藤正男

道具立てがたりない。酒瓶がほしい。

オリンパスシツクス　F5.6　1/100



子　供

東京事　河田和男

きれいな写真だが，ものたりない。

マミヤシツクス　F5.6　1/50



社誌原稿募集

次号32号の原稿を募集します。

応募の方は，各部，支店編集委員まで御送附下さい。（締切11月15日）

業務報告・論文等		8,000字まで
創作・随筆等		6,000字まで
短歌	（扇畑忠雄選）	1人5首
俳句	（遠藤梧逸選）	1人5首
詩	（扇畑忠雄選）	1人2枚
写真	（阿部秀陽選）	キヤビネ1人2枚

☆なお，応募原稿は特別の場合を除き，掲載，非掲載に拘らず返却いたしません。

研究季報第7号原稿募集

業務に関係ある研究論文・創意工夫・実験報告等を募集します。

原稿枚数　1篇に付30枚以内（400字詰）
原稿締切　昭和32年2月15日
発行日　昭和32年5月1日
投稿先　社長室企画課内研究季報編集係

支店社誌編集委員

青森支店		山形	陽一
岩手	〃	中村	盛
秋田	〃	太平	陸治
宮城	〃	満田	良
山形	〃	真田	昌紀
福島	〃	浜島	崇
新潟	〃	高木	茂夫
会津電力事務所		西岡	孝
東京事務所		連山	仁一郎
電気試験所		吉山	健次

本店社誌編集委員

社長室		三浦	英三
総務部		江川	泰
労務部		永井	公一
経理部		東	正男
資材部		二瓶	喜雄
営業部		横山	文夫
給電部		村山	浩
電気部		三瓶	久利
土木部		江口	栄蔵
水力建設部		山屋	正雄
火力建設部		加々見	房夫

社誌編集幹事

鈴木	秀俊	斎藤	武義
高橋	勇治	菅	雄吉

あとがき

今仙台で原子力平和利用博覧会が開かれ，毎日何千という参観者があるということである。新しいエネルギー源原子力が最初に使用されたのが，人類の幸福のためではなく，悲しい戦争のためであり，その犠牲者がわれわれの同胞であつたという悲惨な思い出が，平和利用への希望となつて人々をひきつけるのかも知れない。既に英国では原子力発電による電力が一般家庭に供給されるようになつた。この東北にも原子力発電所が建設され，東北の隅々まで明るい電力が流れる日の一日も早からんことを期待したい。

現在本店では，毎週定例的に原子力についての解説講座が開かれているが，これを基としてしばらくの間「原子力への案内」を掲載することゝした。

日一日と秋も深まり，朝夕の爽かな空気が心地よく感じられる今日この頃，巻頭社長の比島視察談を掲載させていたゞくことが出来た。巧まざるユーモアのうちにも鋭い観察があり，灯下親しむ秋の夜にふさわしいものと云える。切に御一読を御勧めする。（S）





昭和31年10月10日発行
（隔月発行）
発行所　仙台市大町五丁目197
東北電力株式会社
発行者　鈴木秀俊
印刷所　今野印刷所